

基本計画書

基本計画								
事項	記入欄						備考	
計画の区分	大学の収容定員に係る学則変更							
フリガナ設置者	ガッコウホクワン スズカイヨウカガクダイガク 学校法人 鈴鹿医療科学大学							
フリガナ大学の名称	スズカイヨウカガク 鈴鹿医療科学大学 (Suzuka University of Medical Science)							
大学本部の位置	三重県鈴鹿市岸岡町1001番地1							
大学の目的	本学は、教育基本法及び学校教育法に基づき、医療科学に関する専門の学理と技術の教授・研究を行い、併せて科学、技術の進歩を、真に人類の福祉と健康の向上に役立たせうる有能な人材を育成することを目的とする。							
新設学部等の目的	医療を支える看護専門職は救急医療や地域医療において量・質とも不十分な状態が続いているため、看護学部看護学科の入学定員を現行の80名から100名に変更することとし、収容定員に係る学則変更を行う。大学全体の収容定員は2,640名から2,720名へ増員する。							
新設学部等の概要	新設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	開設時期及び開設年次	所在地
	保健衛生学部	年	人	年次人	人		年 月 第 年次	(全学部全学科の1年次) 三重県鈴鹿市南玉垣町 3500番地3
	放射線技術科学科	4	100	-	400	学士(診療放射線学) 【Bachelor of Medical Radiation Science】	平成3年4月 第1年次	(2年次以降) 三重県鈴鹿市岸岡町1001番地1
	医療栄養学科						平成3年4月 第1年次	同上
	管理栄養学専攻	4	40	-	160	学士(栄養学) 【Bachelor of Nutrition】	平成23年4月 第1年次	同上
	臨床検査学専攻	4	50	-	200	学士(臨床検査学) 【Bachelor of Medical Laboratory Science】	平成23年4月 第1年次	同上
	リハビリテーション学科						平成31年4月 第1年次	同上
	理学療法学専攻	4	40	-	160	学士(理学療法学) 【Bachelor of Physical Therapy】	平成31年4月 第1年次	同上
	作業療法学専攻	4	40	-	160	学士(作業療法学) 【Bachelor of Occupational Therapy】	平成31年4月 第1年次	同上
	医療福祉学科						平成16年4月 第1年次	同上
	医療福祉学専攻	4	30	-	120	学士(医療福祉学) 【Bachelor of Medical Welfare】	平成25年4月 第1年次	同上
	臨床心理学専攻	4	30	-	120	学士(心理学) 【Bachelor of Clinical Psychology】	平成25年4月 第1年次	同上
	鍼灸サイエンス学科	4	30	-	120	学士(鍼灸学) 【Bachelor of Acupuncture and Moxibustion Medicine】	平成25年4月 第1年次	同上

医用工学部								
臨床工学科	4	40	-	160	学士(臨床工学) 【Bachelor of Clinical Engineering】	平成3年4月 第1年次	同上	
医用情報工学科	4	30	-	120	学士(医療情報工学) 【Bachelor of Medical Information Science】	平成3年4月 第1年次	同上	
薬学部								
薬学科	6	100	-	600	学士(薬学) 【Bachelor of Pharmaceutical Sciences】	平成20年4月 第1年次	三重県鈴鹿市南玉垣町 3500番地3	
看護学部								
看護学科	4	100 (80)	-	400 (320)	学士(看護学) 【Bachelor of Nursing】	令和2年4月 第1年次	同上	
計		630 (610)	-	2,720 (2,640)				

同一設置者内における 変更状況 (定員の移行, 名称の変更等)		保健衛生学部理学療法学科(入学定員40)は、平成31年4月学生募集停止。							
教育 課程	新設学部等の名称	開設する授業科目の総数				卒業要件単位数			
		講義	演習	実験・実習	計				
	-	-科目	-科目	-科目	-科目	-単位			
教 員 組 織 の 概 要	学部等の名称		専任教員等					兼 任 教 員 等	
			教授	准教授	講師	助教	計	助手	
			人	人	人	人	人	人	
	保健衛生学部	放射線技術科学科	7 (7)	4 (4)	0 (0)	2 (2)	13 (13)	0 (0)	130 (130)
		医療栄養学科	12 (12)	7 (7)	1 (1)	1 (1)	21 (21)	6 (6)	126 (126)
		リハビリテーション学科	6 (3)	5 (5)	0 (0)	8 (7)	19 (15)	1 (1)	151 (151)
		医療福祉学科	9 (9)	4 (4)	0 (0)	4 (4)	17 (17)	1 (1)	155 (155)
		鍼灸サイエンス学科	5 (5)	3 (3)	2 (2)	3 (3)	13 (13)	0 (0)	130 (130)
	医工学部	臨床工学科	7 (7)	4 (4)	0 (0)	3 (3)	14 (14)	0 (0)	138 (138)
		医用情報工学科	4 (4)	3 (3)	3 (3)	0 (0)	10 (10)	0 (0)	137 (137)
	薬学部 薬学科	23 (23)	8 (8)	0 (0)	12 (12)	43 (43)	6 (6)	108 (108)	
	看護学部 看護学科	11 (11)	5 (5)	0 (0)	13 (13)	29 (29)	4 (4)	97 (97)	
	計	84 (81)	43 (43)	6 (6)	46 (45)	179 (175)	18 (18)	- (-)	
	東洋医学研究所	0 (0)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	
	大学付	1 (1)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	2 (2)	0 (0)	0 (0)	
	計	1 (1)	2 (2)	0 (0)	0 (0)	3 (3)	0 (0)	- (-)	
	合計	85 (82)	45 (45)	6 (6)	46 (45)	182 (178)	18 (18)	- (-)	
教員以外の 職員の 概要	職 種		専 任		兼 任		計		
	事 務 職 員		59 (59)	人	31 (31)		90 (90)	人	
	技 術 職 員		0 (0)		0 (0)		0 (0)		
	図 書 館 専 門 職 員		1 (1)		0 (0)		1 (1)		
	そ の 他 の 職 員		0 (0)		11 (11)		11 (11)		
	計		60 (60)		42 (42)		102 (102)		

校 地 等	区 分		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計			
	校 舎 敷 地		152,229.94㎡	0㎡	0㎡	152,229.94㎡			
	運 動 場 用 地		21,630㎡	0㎡	0㎡	21,630㎡			
	小 計		173,859.94㎡	0㎡	0㎡	173,859.94㎡			
	そ の 他		21,344.54㎡	0㎡	0㎡	21,344.54㎡			
	合 計		195,204.48㎡	0㎡	0㎡	195,204.48㎡			
校 舎			専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計			
			64,697.95㎡ (64,697.95㎡)	0㎡ (0㎡)	0㎡ (0㎡)	64,697.95㎡ (64,697.95㎡)			
教室等	講義室		演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設			
	48室		56室	180室	4室 (補助職員 0人)	4室 (補助職員 0人)			
専 任 教 員 研 究 室			新設学部等の名称		室 数				
			大学全体		185 室				
図 書 ・ 設 備	新設学部等の名称	図書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕 種	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標本 点		
								大学全体	162,692 [19,120]
	計		162,692 [19,120]	797 [291]	43 [42]	2,156	4,604	122	
			162,692 [19,120]	797 [291]	43 [42]	2,156	(4,604)	(122)	
図書館		面積		閲覧座席数		収 納 可 能 冊 数			
		3,872.89㎡		514		193,300			
体育館		面積		体育館以外のスポーツ施設の概要					
		1,888.73㎡		テニスコート5面		卓球ルーム			
経 費 の 見 積 り 及 び 維 持 方 法 の 概 要	経費の見積り	区 分	開設前年度	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次
		教員1人当り研究費等		400千円	400千円	400千円	400千円	400千円	400千円
		共同研究費等		0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円
		図書購入費	62,253千円	62,253千円	61,253千円	61,253千円	60,253千円	60,253千円	60,253千円
	設備購入費	322,372千円	291,700千円	291,700千円	291,700千円	291,700千円	291,700千円	291,700千円	
	学生1人当り 納付金	第1年次		第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
		1,610千円		1,510千円	1,510千円	1,510千円	-千円	-千円	
		1,250千円		1,350千円	1,350千円	1,350千円	-千円	-千円	
		1,600千円		1,500千円	1,500千円	1,500千円	-千円	-千円	
		1,700千円		1,600千円	1,600千円	1,600千円	-千円	-千円	
1,150千円		1,050千円	1,050千円	1,050千円	-千円	-千円			
1,400千円		1,700千円	1,700千円	1,700千円	-千円	-千円			
2,060千円		2,040千円	2,040千円	2,040千円	2,040千円	2,040千円			
学生納付金以外の維持方法の概要			私立大学等経常経費補助金、資産運用収入、雑収入 等						
大 学 の 名 称		鈴鹿医療科学大学							
学 部 等 の 名 称		修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	定員 超過率	開設 年度	所 在 地
保健衛生学部		年	人	年次 人	人		倍		三重県鈴鹿市南玉垣 町3500番地3 (全学部 全学科の1年次)
放射線技術科学科		4	100	-	400	学士 (診療放射線 学)	1.18	平成3年度	(2年次以降) 三重県鈴鹿市岸岡町 1001番地1
医療栄養学科		4	90	-	340		1.11	平成3年度	同上
管理栄養学専攻		4	40	-	160	学士 (栄養学)	1.07	平成23年度	同上
臨床検査学専攻		4	50	-	180	学士 (臨床検査学)	1.17	平成23年度	同上
理学療法学科		4	-	-	-	学士 (理学療法学)	-	平成14年度	同上
リハビリテーション学科		4	80	-	80		1.10	平成31年度	同上
理学療法学専攻		4	40	-	40	学士 (理学療法学)	1.12	平成31年度	同上
作業療法学専攻		4	40	-	40	学士 (作業療法学)	1.07	平成31年度	同上
医療福祉学科		4	60	-	240		0.82	平成16年度	同上

※平成30年度入学生定員増(10名)
(臨床検査学専攻)
※平成31年度より学生募集停止
(理学療法学科)

既設大学等の状況	医療福祉学専攻	4	30	-	120	学士 (医療福祉学)	0.76	平成25年度	同上	※平成30年度より編入学廃止 (臨床工学科)
	臨床心理学専攻	4	30	-	120	学士 (心理学)	0.88	平成25年度	同上	
	鍼灸サイエンス学科	4	30	-	120	学士 (鍼灸学)	0.77	平成25年度	同上	
	医用工学部				282		1.12			
	臨床工学科	4	40	-	162	学士 (臨床工学)	1.25	平成3年度	同上	
	医用情報工学科	4	30	-	120	学士 (医療情報工学)	0.96	平成3年度	同上	
	薬学部						1.09			
	薬学科	6	100	-	600	学士 (薬学)	1.09	平成20年度	三重県鈴鹿市南玉垣町3500番地3	
	看護学部						1.10			
	看護学科	4	80	-	320	学士 (看護学)	1.10	平成26年度	同上	
大 学 の 名 称 鈴鹿医療科学大学大学院										
医療科学研究科										
	医療科学専攻 (修士課程)	2	30	-	60	修士 (医療科学)	0.83	平成22年度	三重県鈴鹿市岸岡町1001番地1	
	医療科学専攻 (博士後期課程)	3	5	-	15	博士 (医療科学)	0.73	平成22年度	同上	
薬学研究科										
	医療薬学専攻 (博士課程)	4	2	-	8	博士 (薬学)	1.12	平成26年度	三重県鈴鹿市南玉垣町3500番地3	
附属施設の概要	<p>1. 名称：鈴鹿医療科学大学東洋医学研究所 目的：本学の研究施設・設備・装置の一つとして大学全体の研究活動に利用 所在地：三重県鈴鹿市岸岡町1275番地3 設置年月：平成11年7月 規模等：建物2,330.68㎡</p> <p>2. 名称：鈴鹿医療科学大学附属こころの相談センター 目的：学生の臨床実習教育及び教員の研究に資するため 所在地：三重県鈴鹿市岸岡町1001番地1 設置年月：平成29年4月 規模等：建物379.79㎡</p> <p>3. 名称：鈴鹿医療科学大学附属こころのクリニック 目的：学生の臨床実習教育及び教員の研究に資するため 所在地：三重県鈴鹿市岸岡町1001番地1 設置年月：平成29年4月 規模等：建物151.19㎡</p> <p>4. 名称：薬草園 目的：薬用植物に関する知識の習得 所在地：三重県鈴鹿市南玉垣町3500番地3 設置年月：平成20年4月 規模等：939㎡</p>									

(注)

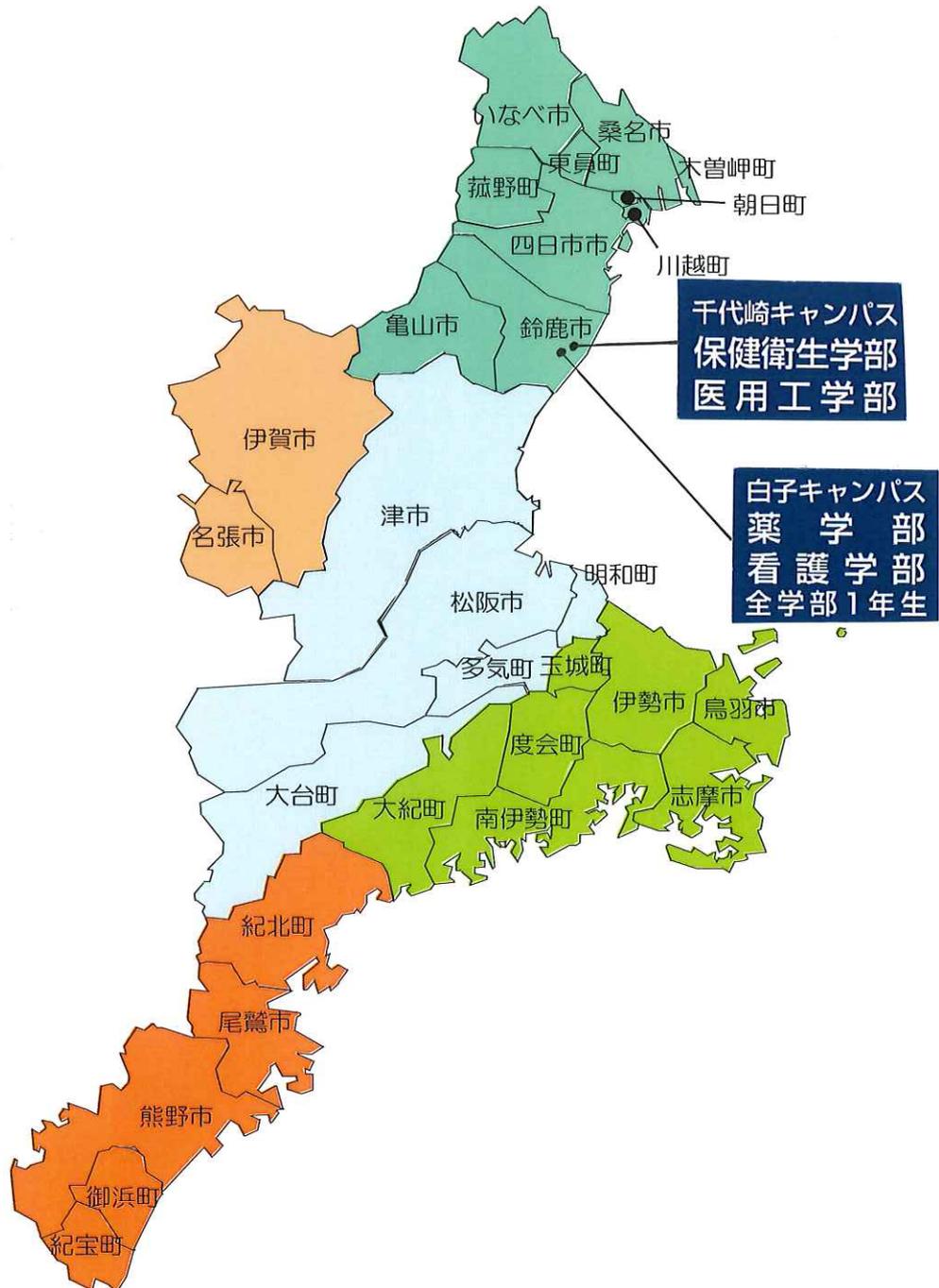
- 1 共同学科等の認可の申請及び届出の場合、「計画の区分」、「新設学部等の目的」、「新設学部等の概要」、「教育課程」及び「教員組織の概要」の「新設分」の欄に記入せず、斜線を引くこと。
- 2 「教員組織の概要」の「既設分」については、共同学科等に係る数を除いたものとする。
- 3 私立の大学又は高等専門学校等の収容定員に係る学則の変更の届出を行おうとする場合は、「教育課程」、「教室等」、「専任教員研究室」、「図書・設備」、「図書館」及び「体育館」の欄に記入せず、斜線を引くこと。
- 4 大学等の廃止の認可の申請又は届出を行おうとする場合は、「教育課程」、「校地等」、「校舎」、「教室等」、「専任教員研究室」、「図書・設備」、「図書館」、「体育館」及び「経費の見積もり及び維持方法の概要」の欄に記入せず、斜線を引くこと。
- 5 「教育課程」の欄の「実験・実習」には、実技も含むこと。
- 6 空欄には、「-」又は「該当なし」と記入すること。

学校法人 鈴鹿医療科学大学 設置認可等に関わる組織の移行表

平成31年度	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	令和2年度	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	変更の事由
鈴鹿医療科学大学				鈴鹿医療科学大学				
保健衛生学部				保健衛生学部				
放射線技術科学科	100	-	400	放射線技術科学科	100	-	400	
医療栄養学科				医療栄養学科				
管理栄養学専攻	40	-	160	管理栄養学専攻	40	-	160	
臨床検査学専攻	50	-	200	臨床検査学専攻	50	-	200	
リハビリテーション学科				リハビリテーション学科				
理学療法学専攻	40	-	160	理学療法学専攻	40	-	160	
作業療法学専攻	40	-	160	作業療法学専攻	40	-	160	
医療福祉学科				医療福祉学科				
医療福祉学専攻	30	-	120	医療福祉学専攻	30	-	120	
臨床心理学専攻	30	-	120	臨床心理学専攻	30	-	120	
鍼灸サイエンス学科	30	-	120	鍼灸サイエンス学科	30	-	120	
医用工学部				医用工学部				
臨床工学科	40	-	160	臨床工学科	40	-	160	
医用情報工学科	30	-	120	医用情報工学科	30	-	120	
薬学部				薬学部				
薬学科(6年制)	100	-	600	薬学科(6年制)	100	-	600	
看護学部				看護学部				
看護学科	80	-	320	看護学科	<u>100</u>	-	<u>400</u>	定員変更(20)
計	610	-	2,640	計	<u>630</u>	-	<u>2,720</u>	
鈴鹿医療科学大学大学院				鈴鹿医療科学大学大学院				
医療科学研究科				医療科学研究科				
医療科学専攻(M)	30	-	60	医療科学専攻(M)	30	-	60	
医療科学専攻(D)	5	-	15	医療科学専攻(D)	5	-	15	
薬学研究科				薬学研究科				
医療薬学専攻(4年制D)	2	-	8	医療薬学専攻(4年制D)	2	-	8	
計	37	-	83	計	37	-	83	

三重県の市町区分地図

●三重県の市町:29市町(14市、15町)



最寄り駅からの距離や交通機関



【白子キャンパス】

近鉄名古屋線 白子駅～白子キャンパス約 2,100m (徒歩約 26 分)

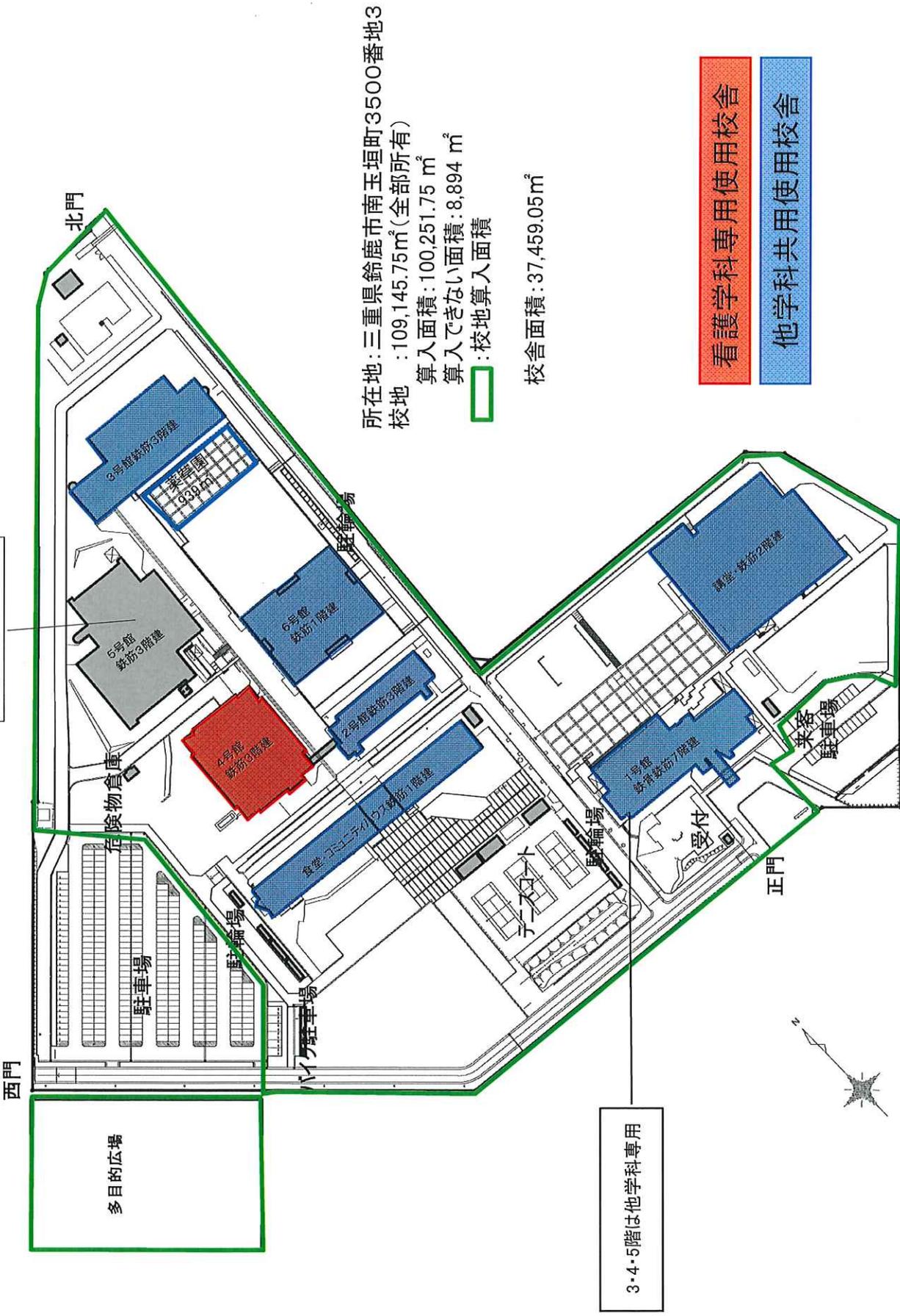
三重交通バス 5 分

【千代崎キャンパス】

近鉄名古屋線 千代崎駅～千代崎キャンパス約 1,100m (徒歩約 13 分)

【キャンパス間移動】

約 2,000m (徒歩約 25 分)



白子キャンパス配置図

鈴鹿医療科学大学学則

第1章 総 則

第1条 本学は、教育基本法及び学校教育法に基づき、医療科学に関する専門の学理と技術の教授・研究を行い、併せて科学、技術の進歩を、真に人類の福祉と健康の向上に役立たせうる有能な人材を育成することを目的とする。

第1条の2 本学は、前条の目的及び社会的使命を達成するため、教育研究活動の状況を点検し評価を行い、その結果を公表する。

2 前項の点検、評価及び結果の公表の方法並びに組織については、別に定める。

第2章 学部、学科及び学生定員

第2条 本学に保健衛生学部、医用工学部、薬学部及び看護学部を置く。

2 保健衛生学部に放射線技術科学科、医療栄養学科、リハビリテーション学科、医療福祉学科及び鍼灸サイエンス学科、医用工学部に臨床工学科及び医用情報工学科、薬学部に薬学科、看護学部に看護学科を置く。

3 各学科の学生定員は次のとおりとする。

学部	学科	入学定員	収容定員
保健衛生学部	放射線技術科学科	100	400
	医療栄養学科		
	管理栄養学専攻	40	160
	臨床検査学専攻	50	200
	リハビリテーション学科		
	理学療法学専攻	40	160
	作業療法学専攻	40	160
	医療福祉学科		
	医療福祉学専攻	30	120
	臨床心理学専攻	30	120
	鍼灸サイエンス学科	30	120
医用工学部	臨床工学科	40	160
	医用情報工学科	30	120
薬学部	薬学科	100	600
看護学部	看護学科	100	400

第2条の2 前条第2項に定める学部及び学科の教育研究目的は次のとおりである。

(保健衛生学部)

本学建学の精神及び教育の理念に基づき、保健衛生学部は、放射線技術科学科、医療栄養学科、リハビリテーション学科、医療福祉学科、鍼灸サイエンス学科を設置し、放射線、磁気共鳴等を使う医療、健康と栄養、臨床検査、理学療法、作業療法、介護・福祉、臨床心理、鍼灸医療等に関する諸科学及び医学について最新で高度な教育・研究を行うことにより、優れた専門知識と技術、医療人にふさわしい教養と人間性を身につけた人材を育成することを目的とする。

ア 放射線技術科学科

放射線技術科学科は、保健衛生学部の教育研究目的に基づき、放射線技術に関する諸科学、医学及び高度医療機器・設備等に精通し、チーム医療に貢献するとともに、教育、行政、医療機器関係の企業等の諸分野において活躍できる診療放射線技師を養成することを目的とする。

イ 医療栄養学科

医療栄養学科は、保健衛生学部の教育研究目的に基づき、医学検査の知識を基礎に、栄養および健康科学に精通し、栄養管理、臨床検査学等の知識を身につけて病院等医療機関、食品業界、医療食を含む健康食品業界、医療機器業界、教育、行政等の分野において活躍できる管理栄養士および臨床検査技師を養成することを目的とする。

ウ リハビリテーション学科

リハビリテーション学科は、保健衛生学部の教育研究目的に基づき、リハビリテーション諸科学、医学等に精通し、社会人、職業人、国際人として生涯にわたって自己研鑽できる理学療法士および作業療法士を養成することを目的とする。

エ 医療福祉学科

医療福祉学科は、保健衛生学部の教育研究目的に基づき、福祉に関する諸科学及び医療科学等に精通し、社会福祉、精神福祉、医療福祉、臨床心理等の分野において活躍できる、社会福祉士、精神保健福祉士、公認心理師、認定心理士等を養成することを目的とする。

オ 鍼灸サイエンス学科

鍼灸サイエンス学科は、保健衛生学部の教育研究目的に基づき、鍼灸医療に関する諸科学および医学等に精通し、地域医療、病院等医療機関、スポーツ業界、美容業界、教育等の分野において活躍できる鍼灸師、鍼灸師の資格を持つスポーツトレーナーを養成することを目的とする。

(医用工学部)

本学建学の精神及び教育の理念に基づき、医用工学部に臨床工学科と医用情報工学科を設置し、医学と工学分野の最先端科学技術を積極的に医療に活用できる学際的な教育・研究をとおして、高度な専門知識と技術及び医療人にふさわしい教養と人間性を身につけた人材を育成することを目的とする。

ア 臨床工学科

臨床工学科は、医用工学部の教育研究目的に基づき、臨床工学分野の諸科学、医学、生命維持装置などの医療機器・設備等に精通し、生涯にわたって最新の知識・技術の修得、人間性の向上等について、学び続ける能力と態度を身につけた、高度な職業人としての臨床工学技士を養成することを目的とする。

イ 医用情報工学科

医用情報工学科は、医用工学部の教育研究目的に基づき、医学・医療の内容と特質ならびに情報科学・工学の優れた知識と技術を修得し、保健・医療・福祉の分野での先駆的、創造的に活躍できる医療情報技術者・研究者を養成することを目的とする。

(薬学部)

本学建学の精神及び教育の理念に基づき、薬学部薬学科を設置し、薬学諸科学について高度で最新の理論・技術、医学、医療科学等の教育・研究及び教養教育を行うことによって、優れた人間性と高い倫理観を持ち医療に貢献でき、幅広く質の高い教養と国際性を身につけるとともに、科学的根拠に基づく論理的思考、問題解決能力、新しい医療技術とライフサイエンスの発展に貢献できる薬剤師を育成することを目的とする。

ア 薬学科

薬学科は、薬学部の教育研究目的に基づき、優れた専門知識・技術、医療人としてふさわしい人間性を身につけ、先進の医薬・医療情報に精通し、医薬品の適正な使用と患者中心の医療の維持やセルフメディケーションの支援・指導等の健康教育、及び創薬等に貢献できる薬剤師を養成することを目的とする。

(看護学部)

本学建学の精神及び教育の理念に基づき、看護学部看護学科を設置し、確固たる医療人としての職業意識をもち、豊かな人間性と倫理観を培い、チーム医療の一員として地域・在宅医療に貢献できる専門的に高い資質をもった看護専門職者を育成することを目的とする。

ア 看護学科

看護学科は、看護学部の教育研究目的に基づき、ケアリングマインドを基本に、看護の対象である人間、健康、環境、看護実践を広く理解できる基礎的能力と問題解決能力を備え、少子高齢化社会における地域医療を中心に、倫理観に基づいた看護実践ができる看護師、保健師を育成することを目的とする。

第3章 大学院

第3条 本学に大学院を置く。

2 前項に関する学則は別に定める。

第4章 学年、学期及び休業日

第4条 本学の学年は、4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

第5条 学年を次の2期に分ける。ただし、学長は授業の開始終了について変更することができる。

前期 4月1日から9月30日まで

後期 10月1日から翌年3月31日まで

第6条 休業日を次のように定める。

- (1) 日曜日及び土曜日
- (2) 国民の祝日に関する法律（昭和23年7月20日法律第178号）に定める休日
- (3) 本学創立記念日 5月6日
- (4) 春季休業 3月21日から4月10日まで
- (5) 夏季休業 7月21日から8月31日まで
- (6) 冬季休業 12月21日から翌年1月10日まで

2 学長は、前項の休業日を都合により変更し、又は授業、実験、実習を課することができる。

3 第1項に定めるもののほか、学長は、臨時の休業日を定めることができる。

第5章 修業年限及び在学年限

第7条 保健衛生学部、医用工学部、看護学部の修業年限は、4年とする。

2 薬学部の修業年限は6年とする。

第8条 同一学科・専攻の同一学年における在学年限は3年以内とし、これを超えて在学することができない。

第6章 入学

第9条 入学の時期は、学年の始めとする。ただし、再入学、転入学及び次条第3号に規定する者については、学年の途中において入学させることができる。

第10条 本学に入学することのできる者は、次の各号の一に該当する者とする。

- (1) 高等学校を卒業した者
- (2) 通常の課程により12年の学校教育を修了した者、又は通常の課程以外の課程により、これに相当する学校教育を修了した者
- (3) 外国において学校教育における12年の課程を修了した者、又はこれに準ずるもので文部科学大臣の指定した者
- (4) 文部科学大臣が、高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
- (5) 文部科学大臣の指定した者
- (6) 高等学校卒業程度認定試験規則により、文部科学大臣の行う高等学校卒業程度認定試験に合格した者（旧規程による大学入学資格検定に合格した者を含む。）
- (7) その他大学において、相当の年令に達し、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者

第11条 本学への入学を志願する者は、所定の書類に入学検定料を添えて、指定の期日までに願出しなければならない。

第12条 前条の入学志願者について、別に定めるところにより選考を行う。

第13条 前条の選考に合格した者は、指定の期日までに所定の納付金を納め、誓約書その他指定の書類を提出しなければならない。

第14条 学長は、前条の入学手続きを完了した者に入学を許可する。

第15条 学長は、次の各号の一に該当する者で、本学への入学を志願する者があるときは、各学科毎に欠員のある場合に限り、選考の上、教授会の議を経て、相当年次に入学を許可することがある。

- (1) 大学を卒業した者、及び卒業見込みの者
- (2) 短期大学又は高等専門学校を卒業した者及び卒業見込みの者
- (3) 大学に2年以上在学して、62単位以上修得した者及び修得見込みの者
- (4) 専修学校の専門課程のうち、文部科学大臣の定める基準を満たすものを修了した者（ただし学校教育法第90条に規定する大学入学資格を有するものに限る）

2 前項の規定により入学を許可された者は既に履修した授業科目及び単位数の取扱い並びに在学すべき年数については、教授会の議を経て学長が決定する。

第16条 再入学を願い出た者があるときは、教授会の議を経て学長は、入学を許可することがある。ただし、第34条の規定により除籍された者は、再入学を願い出ることができない。

第7章 教育課程及び履修方法等

第17条 授業科目を分けて、基礎分野及び専門基礎分野、専門分野とする。

第18条 教育課程は、各授業科目を必修科目、選択科目等に分け、これを各年次に配当して編成するものとする。学生は所属学科の科目を履修することを原則とする。

第19条 授業科目の名称及び単位数は、別表Ⅰのとおりとする。

第20条 授業科目の単位計算方法は、1単位の履修時間を教室内及び教室外をあわせて45時間とし、次の基準によるものとする。

(1) 講義及び演習については、15時間から30時間の範囲の教室内の授業時間数をもって1単位とする。

(2) 実験、実習及び実技については、30時間から45時間の範囲の教室内の授業時間数をもって1単位とする。

第21条 一年間の授業日数は、定期試験等の日数を含め、35週にわたることを原則とする。

第22条 授業科目を履修し、その試験に合格した者には、所定の単位を与える。

第23条 学生が、所属学科の授業科目以外に、他学科の又は他学部の授業科目の履修又は聴講を希望するときは、当該授業科目を管轄する学部の学部長、学科長の許可及び所属学部の教授会の承認を得なければならない。

2 前項の授業科目及び修得単位は、所属教授会が適当と認めた場合は、選択科目として取り扱うことができる。なお、これらの単位を卒業に必要な単位に含めることはできない。

第24条 授業科目の試験の成績は、秀、優、良、可、不可の5段階をもって表示し、秀、優、良、可を合格とする。

2 実験、実習並びに卒業研究は研究発表、報告書等の審査により可否を判定する。

3 成績の基準は別表Ⅱのとおりとする。

4 進級要件については、別に定める。

第25条 教育上有益と認めるときは、他の大学（外国の大学を含む）との協議に基づき、学生に当該他大学の授業科目を履修させることができる。

2 前項の規定により履修した授業科目について修得した単位については、教授会の議を経て60単位を限度として、卒業の要件となる単位として認めることができる。

第26条 大学（外国の大学を含む）又は短期大学を卒業、又は中途退学し、新たに本学の第一年次に入学した学生の既修単位については、教育上有益と認めるときは、本学において修得したものととして認定することができる。

2 前項の単位の認定は、編入学、転学等の場合を除き、本学において修得した単位以外のものについては、前条第1項および第2項により修得した単位と合わせて60単位を超えない範囲内で行うことができる。ただし、修学年限の短縮は行うことができない。

第27条 卒業に必要な単位は、放射線技術科学科は128単位以上、医療栄養学科は管理栄養学専攻135単位以上、臨床検査学専攻124単位以上、リハビリテーション学科は理学療法学専攻130単位以上、作業療法学専攻126単位以上、医療福祉学科は医療福祉学専攻124単位以上、臨床心理学専攻124単位以上、鍼灸サイエンス学科は134単位以上、臨床工学科は138単位以上、医用情報工学科は126単位以上、薬学科は188単位以上、看護学科は125単位以

上を修得しなければならない。

第8章 休学・転学・転学部等・留学及び退学

第28条 疾病その他やむを得ない理由により2カ月以上修学することができない者は、学長の許可を得て休学することができる。

2 疾病のため修学することが適当でないと認められる者については、学長は休学を命ずることができる。

第29条 休学期間は、1年以内とする。ただし、特別の理由がある場合は、1年を限度として休学期間の延長を認めることができる。

2 休学期間は、通算して4年を超えることができない。

3 休学期間は、第8条の在学期間には算入しない。

第30条 休学期間中にその理由が消滅した時は、学長の許可を得て復学することができる。

第31条 他の大学への入学又は転入学を志願しようとする者は、学長の許可を受けなければならない。

2 転学部等に関する規程は、別に定める。

第32条 外国の大学で学修することを志願する者は、学長の許可を得て留学することができる。

2 前項の許可を得て留学した期間は、第35条に定める在学期間に含めることができる。

3 第25条の規定は、外国の大学へ留学する場合に準用する。

第33条 退学しようとする者は、学長の許可を受けなければならない。

第34条 次の各号の一に該当する者は、教授会の議を経て学長が除籍する。

- (1) 納付金の納付を怠り、督促してもなお納付しない者
- (2) 第8条に定める在学年限を超えた者
- (3) 第29条第2項に定める休学期間を超えてなお修学できない者
- (4) 長期間にわたり行方不明の者

第9章 卒業及び学位

第35条 保健衛生学部、医用工学部、看護学部には4年（第15条第1項により入学した者については、同条第2項により定められた在学をすべき年数）以上、薬学部には6年以上在学し、第27条に定める単位数を修得した者については、教授会の議を経て、学長が卒業を認定する。

第36条 卒業した者には、次の学位を授与する。

保健衛生学部	放射線技術科学科	学士（診療放射線学）
	医療栄養学科	
	管理栄養学専攻	学士（栄養学）
	臨床検査学専攻	学士（臨床検査学）
	リハビリテーション学科	
	理学療法学専攻	学士（理学療法学）
	作業療法学専攻	学士（作業療法学）
	医療福祉学科	
	医療福祉学専攻	学士（医療福祉学）
	臨床心理学専攻	学士（心理学）
医用工学部	鍼灸サイエンス学科	学士（鍼灸学）
	臨床工学科	学士（臨床工学）
	医用情報工学科	学士（医療情報工学）
薬学部	薬学科	学士（薬学）
看護学部	看護学科	学士（看護学）

第10章 賞 罰

第37条 学生として表彰に価する行為があった者は、教授会の議を経て、学長が表彰することができる。

第38条 学則に違反し、又は学生としての本分に反する行為をした者は、鈴鹿医療科学大学学生懲戒規程に則り、学長が懲戒する。

2 懲戒は、退学、停学及び訓告とする。

3 退学は、次の各号の一に該当する者に対して行う。

(1) 性行不良で改善の見込みがない者

(2) 学業を怠り、成業の見込みがないと認められる者

(3) 正当な理由がなくて出席常でない者

(4) 本学の秩序を乱し、その他学生としての本分に著しく反した者

4 停学期間は、在学年数に算入する。ただし、その期間が3カ月以上にわたるときは、修業年限から除く。

第11章 研究生、委託研究生、科目等履修生、特別聴講学生及び外国人留学生

第39条 本学において、特定の課題について研究することを志願する者がいるときは、本学の教育研究に支障のない場合に限り、選考の上、研究生として入学を許可することができる。

2 研究生を志願することのできる者は、大学を卒業した者、又はこれと同等以上の学力があると認められた者とする。

3 研究期間は、1年とする。ただし、特別の理由がある場合は、その期間を更新することができる。

第40条 削除

第41条 本学において特定の授業科目を聴講し、単位を取得することを志願する者がいるときは、本学の教育に支障のない場合に限り、選考の上、科目等履修生又は特別聴講学生として入学を許可することができる。

2 科目等履修生は学期毎に許可する。

3 特別聴講学生は1か年毎に許可する。

第42条 外国人で、大学において教育を受ける目的をもって入国し、本学に入学を志願する者がいるときは、選考の上、外国人留学生として入学を許可することができる。

2 外国人留学生は、定員内とする。

第43条 研究生、委託研究生、科目等履修生、特別聴講学生及び外国人留学生に関する規則は別に定める。

第12章 検定料、入学金、授業料等及び奨学制度

第44条 検定料、入学金及び授業料等は、別表Ⅲのとおりとする。ただし、大学間相互単位互換協定に基づき締結された大学等の特別聴講学生については、原則徴収しない。

第45条 検定料、入学金及び授業料並びに手数料等については、学費等納入規程の定めるところにより所定の期日までに納入しなければならない。

第46条 前期又は後期中途において、復学又は入学した者は、復学又は入学した月から当該期末までの授業料を、復学又は入学した月に納付しなければならない。

第47条 学年の途中で卒業する見込みの者は、卒業する見込みの月までの授業料を納付するものとする。

第48条 前期又は後期の途中で退学し、又は除籍された者の当該学期分の授業料は徴収する。ただし、退学の許可又は除籍の決定が、前期は5月末日、後期は11月末日までの場合は、当該学期の授業料の2分の1を免除する。

第49条 休学を許可され又は命ぜられた者については、休学が許可された期の翌期からの授業料を免除する。ただし、別表Ⅲ-④に定める休学在籍料を授業料免除の当該学期から納入しなければならない。

第50条 納付した検定料、入学金、授業料、休学在籍料並びに手数料等については、返還しない。ただし、学費等納入規程に定めのある場合は、この限りではない。

2 本学に、奨学制度を設ける。

3 奨学制度に関する規程は、別に定める。

第13章 職員組織等

第51条 本学に次の職員を置く。

学長、教授、准教授、講師、助教、助手、事務職員、技術職員、労務職員、医療職員

2 職員の職制並びに服務に関する規程は、別に定める。

第52条 本学の各学部重要事項を審議するため教授会を置く。

2 教授会は、専任の教授をもって組織する。

3 教授会は、学校教育法第93条第2項の規定に基づき学長が次に掲げる事項について決定を行うに当たり意見を述べるものとする。

(1) 学生の入学、卒業に関すること。

(2) 学位の授与に関すること。

(3) その他教育研究に関する重要事項で教授会の意見を聴くことが必要なものとして学長が定めるもの。

4 教授会は、学校教育法第93条第3項の規定に基づき学長及び学部長その他の教授会が置かれる組織の長（以下この項において「学長等」という。）がつかさどる教育研究に関する事項について審議し、及び学長等の求めに応じ、意見を述べることができる。

5 本条に定めるもののほか、教授会に関する規程は別に定める。

第53条 本学に学長の諮問機関として大学協議会を置く。

2 大学協議会は、次の各号に掲げる協議員をもって組織する。

(1) 学長

(2) 各副学長

(3) 各研究科長

(4) 各学部長

(5) 各学科長

(6) 図書館長

(7) ICT教育センター長

(8) 大学事務局長

(9) その他学長が必要と認めた者

- 3 大学協議会は、学長の諮問に応じて次の事項を審議する。
- (1) 学部その他の機関の連絡調整に関する事項
 - (2) 大学の自己評価に関する事項
 - (3) 学則その他重要な規則の制定改廃に関する事項
 - (4) 学部・学科その他重要な施設設備の設置廃止に関する事項
 - (5) 学事に関する重要事項
 - (6) その他教学に関する重要事項
- 4 本条に定めるもののほか、大学協議会に関する規程は、別に定める。

第14章 公開講座

第54条 本学に公開講座を開設することができる。

- 2 公開講座に関する事項は、その都度定める。

第15章 附属施設

第55条 本学に次の附属施設を置く。

- (1) 大学附属図書館
- (2) 大学附属こころのクリニック
- (3) 大学附属こころの相談センター
- (4) 大学附属鍼灸治療センター

- 2 附属施設に関する必要な事項は別に定める。

第16章 体育館及びその他の施設

第56条 本学に体育館及び学生寮を置く。

- 2 体育館及び学生寮に関する必要な事項は別に定める。

第16章の2 東洋医学研究所

第56条の2 本学に東洋医学研究所を置く。

- 2 東洋医学研究所に関する必要な事項は別に定める。

第17章 学則の改正

第57条 本学則の改正等は、理事会の承認を得なければならない。

附則 本学則は、平成2年12月21日から施行し、平成3年度入学生から適用する。

附則 本学則は、平成5年2月25日に改正し、平成5年4月1日から適用する。

附則 本学則は、平成5年9月8日に改正、施行する。

附則 本学則は、平成6年5月25日に改正、施行する。

附則 本学則は、平成8年4月1日に改正、施行し、平成8年度入学生から適用する。

なお、平成7年度以前の入学生については本改正にかかわらず従前の規程による。

附則 本学則は、平成8年12月19日に改正し、平成9年4月1日から適用する。

ただし、第27条については、平成9年度入学生から適用し、平成8年度以前の入学生は

本改正にかかわらず従前の規程による。

附則 本学則は、平成9年12月18日改正し、平成10年4月1日から施行する。

附則 本学則は、平成11年10月22日改正し、平成12年4月1日から適用する。

附則 本学則は、平成13年3月27日に改正し、平成13年4月1日から施行する。ただし、平成12年度以前の入学生には、なお従前の規定（別表2000-TI-省略）を適用し、第27条に規定する卒業単位は130単位以上とする。

附則 本学則は、平成13年5月29日に改正し、平成14年度入学生から適用する。ただし、平成13年度以前の入学生には、なお従前の規定（別表2001-学納金-省略-）を適用する。

附則 1 本学則は、平成14年4月1日に改正、施行する。ただし、平成13年度以前に入学した医療栄養学科及び医用情報工学科の学生については、なお従前の規定（医療栄養学科については別表2001-HN-省略-、医用情報工学科については別表2001-TI-省略-）を適用する。また、平成13年度以前に入学した医療栄養学科の学生についての、第27条に規定する卒業単位数は135単位以上とする。

2 第36条の規定に拘らず、平成13年度以前に入学した医用電子工学科の学生には、学士（工学）を授与する。

附則 本学則は、平成15年4月1日に改正、施行する。ただし、平成14年度に入学した医療栄養学科、臨床工学科及び医用情報工学科の学生については、なお従前の規定（医療栄養学科については別表2002-HN-省略-、臨床工学科については別表2002-TC-省略-、医用情報工学科については別表2002-TI-省略-）を適用する。また、平成14年度に入学した医療栄養学科、臨床工学科及び医用情報工学科の学生についての、第27条に規定する卒業単位は、医療栄養学科129単位以上、臨床工学科153単位以上及び医用情報工学科124単位以上とする。

附則 1 本学則は、平成16年4月1日に改正、施行する。

2 第2条第3項の規定に拘らず、平成16年度から平成18年度までの収容定員は、次のとおりとする。（平成18年度収容定員は、平成18年4月1日より、学則附則のとおり変更を行う。）

学部	学科	平成16年度	平成17年度	平成18年度
保健衛生学部	放射線技術科学科	410	410	410
	医療栄養学科	166	166	166
	理学療法学科	120	160	160
	医療福祉学科	100	200	310
医用工学部	臨床工学科	210	170	170
	医用情報工学科	166	166	166
鍼灸学部	鍼灸学科	60	120	185

3 第49条については、平成15年度以前の入学生についても適用する。

4 別表Ⅲ-②については、平成15年度以前の入学生についても適用する。

附則 1 本学則は、平成17年4月1日に改正、施行する。

なお、第26条第2項については、平成16年度以前に入学した学生にも適用する。

2 平成15、16年度に入学した、臨床工学科、医用情報工学科の学生については、なお従

前の規定（臨床工学科については、別表2003-TC-省略、医用情報工学科については別表2003-TI-省略）を適用する。

また平成15、16年度に入学した臨床工学科、医用情報工学科の学生についての第27条に規定する卒業単位は臨床工学科156単位以上、医用情報工学科128単位以上とする。

3 別表Ⅲ-〔備考〕について、平成16年度以前に入学した学生にも適用する。

附則 1 本学則は、平成18年4月1日に改正、施行する。

2 第2条第3項の規定に拘らず、平成18年度から平成20年度までの収容定員は、次のとおりとする。

学部	学科	平成18年度	平成19年度	平成20年度
保健衛生	放射線技術科	412	410	410
	医療栄養	166	166	166
	理学療法	160	160	160
	医療福祉	310	420	420
医用工	臨床工	170	169	172
	医用情報工	165	164	164
鍼灸	鍼灸	185	250	250

3 平成12年度以前に入学した放射線技術科学科の学生については、従前の規定（別表1997-HR-省略）を、平成13年度から平成17年度の入学生については、従前の規定（別表2001-HR-省略）を適用する。また、第27条に規定する卒業単位数は、平成12年度以前の入学生は164単位以上、平成13年度から平成17年度の入学生については、129単位以上とする。

4 別表Ⅲ-②については、理学療法学科は平成18年度入学生から適用し、平成17年度以前の入学生には、なお従前の規定（別表2005-学納金-省略）を適用する。また、鍼灸学科は、平成17年度以前の入学生についても適用する。

5 第48条、第49条及び第50条については、平成17年度以前の入学生についても適用する。

附則 1 本学則は、平成18年9月25日に改正し、平成19年4月1日から施行する。

2 平成16年に入学した医療栄養学科の学生については、従前の規定（別表2003-HN-省略）を適用する。平成17、18年度以前に入学した臨床工学科の学生については、従前の規定（別表2005-TC-省略）を適用する。

附則 1 本学則は、薬学科および医療福祉学科保育士養成課程設置について、平成20年3月24日に改正し、平成20年4月1日から施行する。

2 平成19年度以前に入学した医療福祉学科の学生については、従前の規定（別表2004-HW-省略）を適用する。

3 別表Ⅲ-②については平成20年度入学生から適用し、平成19年度以前の入学生には、従前の規定（別表2007-学納金-省略）を適用する。また理学療法学科の平成17年度以前の入学生には、従前の規定（別表2005-学納金-省略）を適用する。

附則 1 本学則は、医療福祉学科の入学定員変更について、平成20年9月16日に改正し、平成21年4月1日から施行する。

2 第2条第3項の規定に拘らず、平成21年度から平成23年度までの収容定員は、次のと

おりとする。

学部	学科	平成21年度	平成22年度	平成23年度
保健衛生	放射線技術科	410	410	410
	医療栄養	166	166	166
	理学療法	160	160	160
	医療福祉	380	340	300
医用工	臨床工	172	172	172
	医用情報工	164	164	164
鍼灸	鍼灸	250	250	250
薬	薬	200	300	400

- 3 平成20年度以前に入学した医療福祉学科の学生については、なお従前の規定を適用する。但し、平成21年4月1日以降の転編入学生については、当規定（別表2008 医療福祉学科）を適用する。

附則 1 本学則は、平成21年4月1日に改正し、施行する。

- 2 平成20年度以前に入学した鍼灸学科の学生については、なお従前の規程を適用する。

附則 1 本学則は、医療福祉学科の別表Iに科目を定める省令と本学教育課程との対比表追加について、平成21年3月26日に改正し、平成21年4月1日から施行する。

附則 1 本学則は、薬学部の授業料変更について、平成21年5月25日に改正し、平成22年4月1日から施行する。

附則 1 本学則は、医療栄養学科の改組に伴う入学定員と編入学定員の変更および授業料変更について、平成22年5月26日に改正し、平成23年4月1日から施行する。

- 2 第2条第3項の規定に拘らず、平成23年度から平成25年度までの収容定員は、次のとおりとする。

学部	学科	平成23年度	平成24年度	平成25年度
保健衛生	放射線技術科	410	410	410
	医療栄養 管理栄養コース	166	166	166
	臨床検査コース	40	80	120
	理学療法	160	160	160
	医療福祉	293	246	246
医用工	臨床工	172	172	172
	医用情報工	144	124	104
鍼灸	鍼灸	227	204	184
薬	薬	400	500	600

附則 1 本学則は、医療栄養学科管理栄養コースの教育課程変更について、平成22年8月23日に改正し、平成23年4月1日から施行する。

附則 1 本学則は、医療福祉学科の教育課程変更および授業料変更について、平成22年9月24日に改正し、平成23年4月1日から施行する。

- 2 平成22年度以前に入学した医療福祉学科の学生については、なお従前の規定を適用する。但し、平成23年4月1日以降の転編入学生については、当規定（別表2009 医療福祉学科）を適用する。

附則 1 本学則は、臨床工学科・医用情報工学科の教育課程変更および成績の基準変更、奨学制度の設置について、平成22年12月17日に改正し、平成23年4月1日から施行する。

なお、第24条および第50条2・3項については平成23年度入学生から適用する。

- 附則 1 本学則は、医用情報工学科と鍼灸学科の入学定員変更および授業料変更について、平成23年5月27日に改正し、平成24年4月1日から施行する。
- 2 第2条第3項の規定に拘らず、平成24年度から平成26年度までの収容定員は、次のとおりとする。

学部	学科	平成24年度	平成25年度	平成26年度
保健衛生	放射線技術科	410	410	410
	医療栄養 管理栄養コース	166	166	166
	臨床検査コース	80	120	160
	理学療法	160	160	160
	医療福祉	246	246	246
医用工	臨床工	172	172	172
	医用情報工	134	124	114
鍼灸	鍼灸	194	164	134
薬	薬	500	600	600

- 附則 1 本学則は、精神保健福祉士法第7条第1号に規定する精神障がい者の保健及び福祉に関する指定科目の変更に伴い、＜別表I＞医療福祉学科の教育課程を変更することについて、平成23年9月29日に改正し、平成24年4月1日から施行する。

- 附則 1 本学則は、医用情報工学科と薬学科の教育課程変更について、平成23年12月21日に改正し、平成24年4月1日から施行する。

- 附則 1 本学則は、学生定員等について、平成24年3月22日に改正し、平成25年4月1日から適用する。

- 附則 1 本学則は、改組に伴い授業料等の（別表Ⅲ）について、平成24年5月25日に改正し、平成25年4月1日から施行する。

- 附則 1 本学則は、平成24年8月20日に改正し、平成25年4月1日から施行する。

- 2 鍼灸学部鍼灸学科は、平成25年4月1日から学生募集を停止し、当該学生の在籍しなくなった年度をもって廃止する。なお、在籍する鍼灸学部鍼灸学科の学生は、第2章第2条、第2条の2、第5章第7条、8条、第7章第27条、第9章第35条、36条、別表Iについては従前の規定を適用する。

- 3 第2条第3項の規定に拘らず、平成25年度から平成27年度までの収容定員は次のとおりとする。

学部	学科	平成25年度	平成26年度	平成27年度
保健衛生	放射線技術科	410	410	410
	医療栄養	43		
	管理栄養コース	123	166	166
	臨床検査コース	120	160	160
	理学療法	160	160	160
	医療福祉	186	126	63
	医療福祉コース	30	60	93
	臨床心理コース	30	60	90
	鍼灸	30	60	92
医用工	臨床工	174	173	172

	医用情報工	1 2 4	1 1 4	1 2 4
鍼灸	鍼灸	1 3 4	7 4	3 2
薬	薬	6 0 0	6 0 0	6 0 0

附則 1 本学則は、授業料等の〈別表Ⅲ〉について、平成25年5月28日に改正し、平成25年4月1日から適用する。

附則 1 本学則は、教育改革に伴う教育課程変更等について、平成25年5月28日に改正し、平成26年4月1日から施行する。

附則 1 本学則は、教育改革に伴う教育課程変更等について、平成25年9月20日に改正し、平成26年4月1日から施行する。

附則 1 本学則は、看護学部設置に伴う変更について、平成25年9月20日に改正し、平成26年4月1日から施行する。

2 平成26年度から平成28年度までの収容定員は次のとおりとする。

学部	学科	平成26年度	平成27年度	平成28年度
保健衛生	放射線技術科	4 1 0	4 1 0	4 1 0
	医療栄養			
	管理栄養コース	1 6 6	1 6 6	1 6 6
	臨床検査コース	1 6 0	1 6 0	1 6 0
	理学療法	1 6 0	1 6 0	1 6 0
	医療福祉	1 2 6	6 3	0
	医療福祉コース	6 0	9 3	1 2 6
	臨床心理コース	6 0	9 0	1 2 0
	鍼灸	6 0	9 2	9 2
医用工	臨床工	1 7 3	1 7 2	1 7 2
	医用情報工	1 1 4	1 2 4	1 2 4
鍼灸	鍼灸	7 4	3 2	0
薬	薬	6 0 0	6 0 0	6 0 0
看護	看護	8 0	1 6 0	2 4 0

附則 1 本学則は、転学部等に関する規程の制定に伴う変更等について、平成25年12月20日に改正し、施行する。

附則 1 本学則は、特別聴講学生（放送大学）の追加に伴う変更等について、平成25年12月20日に改正し、平成26年4月1日から施行する。

附則 1 本学則は、平成26年5月30日に改正し、平成27年4月1日から施行する。

附則 1 本学則は、平成26年12月17日に改正し、平成27年4月1日から施行する。ただし、平成26年度以前に入学した学生について、第36条、第48条第2項および別表Ⅰは従前の規定を適用する。

附則 1 本学則は、平成27年3月24日に改正し、平成27年4月1日から施行する。ただし、第53条については、平成26年4月1日に遡って適用する。

2 平成27年度から平成29年度までの収容定員は次のとおりとする。

学部	学科	平成27年度	平成28年度	平成29年度
保健衛生	放射線技術科	410	410	410
	医療栄養 管理栄養コース	166	166	166
	臨床検査コース	160	160	160
	理学療法	160	160	160
	医療福祉 医療福祉コース	63	0	0
	臨床心理コース	93	126	126
	鍼灸	90	120	120
医用工	臨床工	92	124	124
	医用情報工	172	172	172
鍼灸	鍼灸	124	124	124
薬	薬	32	0	0
看護	看護	600	600	600
		160	240	320

附則 1 本学則は、〈別表Ⅰ〉について、平成27年9月28日に改正し、平成28年4月1日から施行する。ただし、薬学科については、平成26年4月1日入学者から適用する。

附則 1 本学則は、〈別表Ⅰ〉について、平成27年12月16日に改正し、平成28年4月1日から施行する。なお、理学療法学科については平成26年度以降入学者に、医療福祉学科については平成25、26年度入学者に適用する。

附則 1 本学則は、平成28年3月30日に改正し、平成28年4月1日から施行する。

附則 1 本学則は、〈別表Ⅰ（医療福祉学科臨床心理コースを除く）〉について、平成28年5月30日に改正し、平成29年4月1日から施行する。

2 〈別表Ⅰ〉臨床工学科教育課程「臨床工学演習Ⅰ～Ⅴ」の時間数について、平成28年5月30日に改正し、平成28年度入学生の教育課程については平成28年4月1日に、平成26～27年度入学生の教育課程については平成26年4月1日に遡って適用する。

3 〈別表Ⅲ〉検定料（センター利用方式）について、平成28年5月30日に改正し、平成28年4月1日から適用する。

附則 1 本学則は、〈別表Ⅰ〉について、平成28年9月28日に改正し、平成29年4月1日から施行する。ただし、薬学科については、平成26年4月1日入学者から適用する。

附則 1 本学則は、特別聴講学生の変更等について、平成28年12月16日に改正、施行する。

附則 1 本学則は、附属施設追加に伴い、平成29年3月30日に改正し、平成29年4月1日から施行する。

附則 1 本学則は、平成29年5月29日に改正し、平成30年4月1日から施行する。

2 医療栄養学科および医療福祉学科各コースの名称変更については、各コースの開設日に遡って適用する。

3 鍼灸学科の名称変更については、平成30年度在学学生から適用する。

4 編入学定員の廃止、医療栄養学科臨床検査コースの入学定員変更に伴う平成30年度から平成32年度までの収容定員は次のとおりとする。

学部	学科・専攻	平成30年度	平成31年度	平成32年度
保健衛生	放射線技術科	403	400	400
	医療栄養			
	管理栄養学専攻	163	160	160
	臨床検査学専攻	170	180	190
	理学療法	160	160	160
	医療福祉			
	医療福祉学専攻	123	120	120
	臨床心理学専攻	120	120	120
	鍼灸サイエンス	122	120	120
医用工	臨床工	165	162	160
	医用情報工	122	120	120
薬	薬	600	600	600
看護	看護	320	320	320

附則 1 本学則は、〈別表 I（医療福祉学科）〉について、平成 29 年 9 月 29 日に改正し、平成 30 年 4 月 1 日から施行する。

附則 1 本学則は、第 8 条について、平成 29 年 12 月 15 日に改正し、平成 30 年 4 月 1 日から施行する。

2 本学則は、〈別表 I〉薬学科教育課程について、平成 29 年 12 月 15 日に改正し、平成 30 年 4 月 1 日から施行する。なお、平成 27 年 4 月 1 日入学者から適用する。

附則 1 本学則は、〈別表 I（医療福祉学科医療福祉学専攻）〉について、平成 30 年 3 月 29 日に改正し、平成 30 年 4 月 1 日から施行する。

附則 1 本学則は、平成 30 年 5 月 30 日に改正し、平成 31 年 4 月 1 日から施行する。ただし、第 15 条については平成 30 年 4 月 1 日に遡って適用する。

2 リハビリテーション学科の設置に伴う 2019 年度から 2021 年度までの収容定員は次のとおりとする。

学部	学科・専攻	2019年度	2020年度	2021年度
保健衛生学部	放射線技術科学科	400	400	400
	医療栄養学科			
	管理栄養学専攻	160	160	160
	臨床検査学専攻	180	190	200
	リハビリテーション学科			
	理学療法学専攻	40	80	120
	作業療法学専攻	40	80	120
	理学療法学科	120	80	40
	医療福祉学科			
	医療福祉学専攻	120	120	120
	臨床心理学専攻	120	120	120
鍼灸サイエンス学科	120	120	120	
医用工学部	臨床工学科	162	160	160
	医用情報工学科	120	120	120
薬学部	薬学科	600	600	600
看護学部	看護学科	320	320	320

- 附則 1 本学則は、〈別表 I (リハビリテーション学科)〉について、平成30年9月26日に改正し、平成31年4月1日から施行する。
- 附則 1 本学則は、第55条および〈別表 I (鍼灸サイエンス学科)〉について、平成31年3月28日に改正し、平成31年4月1日から施行する。
- 2 本学則は、〈別表 I〉について、平成31年3月28日に改正し、平成32年4月1日から施行する。
- 附則 1 本学則は、看護学科の入学定員等の変更について、令和元年5月30日に改正し、令和2年4月1日から施行する。
- 2 令和2年度から令和4年度までの収容定員は次のとおりとする。

学部	学科・専攻	令和2年度	令和3年度	令和4年度
保健衛生学部	放射線技術科学科	400	400	400
	医療栄養学科			
	管理栄養学専攻	160	160	160
	臨床検査学専攻	190	200	200
	リハビリテーション学科			
	理学療法学専攻	80	120	160
	作業療法学専攻	80	120	160
	理学療法学科	80	40	-
	医療福祉学科			
	医療福祉学専攻	120	120	120
	臨床心理学専攻	120	120	120
鍼灸サイエンス学科	120	120	120	
医用工学部	臨床工学科	160	160	160
	医用情報工学科	120	120	120
薬学部	薬学科	600	600	600
看護学部	看護学科	340	360	380

- 3 本学則は、〈別表 I (鍼灸サイエンス学科)〉について、令和元年5月30日に改正し、令和2年4月1日から施行する。
- 4 本学則は、〈別表 III〉授業料等について、令和元年5月30日に改正し、令和2年4月1日から施行する。

<別表 I>

放射線技術科学科

授業科目の名称		開講年次				単位数(時間数)		備考	
		1	2	3	4	必修	選択		
基礎分野	医療人の基礎知識	いのちの倫理学	1				1 (15)	選択科目から2単位以上を修得すること	
		医療の倫理学	1				1 (15)		
		医学の基礎入門	1				1 (15)		
		臨床医学への招待	1				1 (15)		
		医療・福祉の変遷と制度	1				1 (15)		
		人々の生活と医療	1				1 (15)		
	医療人の技能と資質	医療人底力実践Ⅰ(学科プログラム)	1				1 (30)	選択科目から6単位以上を修得すること	
		医療人底力実践Ⅱ(体験プログラム)	1				1 (30)		
		医療人底力実践Ⅲ(発展プログラム)	1				1 (30)		
	医療人底力教育	多職種連携	多職種連携の基礎		1				1 (30)
			事例で学ぶ多職種連携			1			1 (30)
			実践で学ぶ多職種連携				1		1 (30)
			慢性疼痛で学ぶチーム医療(基礎)	1					1 (30)
			慢性疼痛で学ぶチーム医療(実践)		1				1 (30)
	医療人の教養と常識	医学医療最近の進歩	1				1 (15)		
		食と健康	1				1 (15)		
		医療における安全と安心	1				1 (15)		
		東洋医学と統合医療	1				1 (15)		
		現代医療と看護・介護	1				1 (15)		
		薬の役割・薬のできるまで	1				1 (15)		
		情報時代と医療	1				1 (15)		
		医療とコミュニケーション	1				1 (15)		
	科学健康	スポーツと健康	1				1 (15)		
		スポーツの科学	1				1 (15)		
		スポーツ科学実習		1			1 (30)		
	人間と生活	人間と文化と社会	哲学と死生観	1					1 (15)
			病と文化	1					1 (15)
			人類の疾病と医療	1					1 (15)
			心と医療	1					1 (15)
			法と医療	1					1 (15)
			経済と医療	1					1 (15)
			医療・福祉と財政	1					1 (15)
			社会病理と人の病	1					1 (15)
		コミュニケーション	英語Ⅰ	1					1 (30)
			英語Ⅱ	1					1 (30)
	自然科学的思考の基礎	医療英語の基礎A		1			1 (30)		選択科目から1単位以上を修得すること
医療英語の基礎B			1			1 (30)			
英語コミュニケーションA		1				1 (30)	選択科目から1単位以上を修得すること		
英語コミュニケーションB		1				1 (30)			
中国語Ⅰ		1				1 (30)			
中国語Ⅱ		1				1 (30)			
数学Ⅰ		2				2 (30)			選択科目から4単位以上を修得すること
数学Ⅱ	2				2 (30)				
物理学Ⅰ	2				2 (30)				
物理学Ⅱ	2				2 (30)				
化学Ⅰ	2				2 (30)				
化学Ⅱ	2				2 (30)				
生物学Ⅰ	2				2 (30)				
生物学Ⅱ	2				2 (30)				
情報リテラシー	2				2 (30)				
基礎分野計		52	5	1	1	17 (345)	42 (795)		

<別表 I>

放射線技術科学科

授業科目の名称		開講年次				単位数(時間数)		備考
		1	2	3	4	必修	選択	
専門基礎分野	人体の構造と機能及び疾病の成り立ち	臨床医学概論			2		2 (30)	
		解剖学	2				2 (30)	
		解剖学演習	1				1 (30)	
		生理学	2				2 (30)	
		生化学	2				2 (30)	
		病理学		2			2 (30)	
		救急医学概論			2		2 (30)	
		臨床薬理学			2		2 (30)	
	保健医療福祉における理工学的基礎並びに放射線の科学及び技術	応用数学		2			2 (30)	
		電気・電子工学基礎	2				2 (30)	
		応用電子工学演習		1			1 (30)	
		医用工学演習			1		1 (30)	
		放射線生物学		2			2 (30)	
		医用物理学基礎	2					2 (30)
		放射線物理学 I	2				2 (30)	
		放射線物理学 II		2			2 (30)	
		放射化学		2			2 (30)	
		放射化学実験		1			1 (45)	
		放射線計測学 I		2			2 (30)	
		放射線計測学 II		2			2 (30)	
放射線計測学実験			1		1 (45)			
専門基礎分野計		13	16	8	0	35 (630)	2 (30)	
専門分野	診療画像技術学	放射線科学技術論	2				2 (30)	
		画像解剖学		2			2 (30)	
		画像診断学			2		2 (30)	
		X線画像機器工学 I	2				2 (30)	
		X線画像機器工学 II		2			2 (30)	
		医用画像機器工学		2			2 (30)	
		診療画像機器学演習			1		1 (30)	
		医用画像機器実習			1		1 (45)	
		X線画像技術学 I	2				2 (30)	
		X線画像技術学 II		2			2 (30)	
		画像検査学		2			2 (30)	
		診療画像技術実習			1		1 (45)	
		核医学検査技術学	核医学機器工学		2			2 (30)
	核医学検査技術学 I				2		2 (30)	
	核医学検査技術学 II				2		2 (30)	
	放射線治療技術学	放射線治療機器工学		2			2 (30)	
		放射線治療技術学 I			2		2 (30)	
		放射線治療技術学 II			2		2 (30)	
	医用画像情報学	画像情報工学 I		2			2 (30)	
		画像情報工学実習		1			1 (45)	
画像情報工学 II				2		2 (30)		
画像情報工学演習				1		1 (30)		

<別表 I >

放射線技術科学科

授業科目の名称			開講年次				単位数(時間数)		備考
			1	2	3	4	必修	選択	
専門分野	放射線安全管理学	放射線安全管理学			2		2 (30)		
		放射線安全管理学実習			1		1 (45)		
		医療関係法規			2		2 (30)		
		放射線関係法規		1			1 (15)		
	※1	医療安全管理学			1		1 (15)		
	※2	臨床実習				10	10 (450)		
	総合	診療放射線学総合演習				2	2 (60)		
		卒業研究				4	4 (180)		
専門分野計			6	18	22	16	62 (1530)	0 (0)	
合計			71	39	31	17	114 (2505)	44 (825)	

※1 医療安全管理学

※2 臨床実習

卒業必要単位数

基礎分野		専門基礎分野	専門分野	合計		総合計
必修	選択	必修	必修	必修	選択	
17	14	35	62	114	14	128以上

医療栄養学科 管理栄養学専攻

授業科目の名称		開講年次				単位数(時間数)		備考	
		1	2	3	4	必修	選択		
基礎分野	医療人の基礎知識	いのちの倫理学	1				1 (15)	選択科目から2単位以上を修得すること	
		医療の倫理学	1				1 (15)		
		医学の基礎入門	1				1 (15)		
		臨床医学への招待	1				1 (15)		
		医療・福祉の変遷と制度	1				1 (15)		
		人々の生活と医療	1				1 (15)		
	医療人の技能と資質	医療人底力実践Ⅰ(学科プログラム)	1				1 (30)	選択科目から6単位以上を修得すること	
		医療人底力実践Ⅱ(体験プログラム)	1				1 (30)		
		医療人底力実践Ⅲ(発展プログラム)	1				1 (30)		
	医療人底力教育	多職種連携	多職種連携の基礎		1				1 (30)
			事例で学ぶ多職種連携			1			1 (30)
			実践で学ぶ多職種連携				1		1 (30)
			慢性疼痛で学ぶチーム医療(基礎)	1					1 (30)
			慢性疼痛で学ぶチーム医療(実践)		1				1 (30)
	医療人の教養と常識	医学医療最近の進歩	1				1 (15)		
		食と健康	1				1 (15)		
		医療における安全と安心	1				1 (15)		
		東洋医学と統合医療	1				1 (15)		
		現代医療と看護・介護	1				1 (15)		
		薬の役割・薬のできるまで	1				1 (15)		
		情報時代と医療	1				1 (15)		
		医療とコミュニケーション	1				1 (15)		
	科学	スポーツと健康	1				1 (15)		
		スポーツの科学	1				1 (15)		
		スポーツ科学実習	1				1 (30)		
	人間と生活	人間と文化と社会	哲学と死生観	1					1 (15)
			病と文化	1					1 (15)
			人類の疾病と医療	1					1 (15)
			心と医療	1					1 (15)
			法と医療	1					1 (15)
			経済と医療	1					1 (15)
			医療・福祉と財政	1					1 (15)
			社会病理と人の病	1					1 (15)
コミュニケーション		英語Ⅰ	1				1 (30)		
		英語Ⅱ	1				1 (30)		
科学的思考の基盤	言葉とコミュニケーション	医療英語の基礎A		1			1 (30)		
		医療英語の基礎B		1			1 (30)		
	英語コミュニケーションA	1				1 (30)			
	英語コミュニケーションB	1				1 (30)			
	中国語Ⅰ	1				1 (30)			
	中国語Ⅱ	1				1 (30)			
	への誘い	環境科学	環境科学	1				1 (15)	
			地球科学・宇宙科学	1				1 (15)	
科学史・科学哲学			1				1 (15)		
自然科学の基盤		数学Ⅰ	2				2 (30)		
		数学Ⅱ	2				2 (30)		
		物理学	2				2 (30)		
		化学Ⅰ	2				2 (30)		
		化学Ⅱ	2				2 (30)		
生物学Ⅰ	2				2 (30)				
生物学Ⅱ	2				2 (30)				
情報リテラシー	※	2				2 (30)			
基礎分野計			54	4	1	1	23 (435)	37 (720)	

医療栄養学科 管理栄養学専攻

授業科目の名称		開講年次				単位数(時間数)		備考
		1	2	3	4	必修	選択	
公衆衛生学Ⅰ	※		2			2 (30)		
公衆衛生学Ⅱ	※		2			2 (30)		
健康管理学	※	1				1 (15)		
公衆衛生学実習	※			1		1 (45)		
解剖学	※	2				2 (30)		
生理学	※		2			2 (30)		
運動生理学	※		2			2 (30)		
生化学Ⅰ	※		2			2 (30)		
生化学Ⅱ	※		2			2 (30)		
臨床検査医学総論			1			1 (15)		
臨床医学	※			2		2 (30)		
微生物学	※		2			2 (30)		
生物有機化学	※	2				2 (30)		
免疫学			2			2 (30)		
薬理学				2			2 (30)	
化学実験			1			1 (45)		
生物学実験			1			1 (45)		
解剖生理学実習	※		2			2 (90)		
生化学実験	※			2		2 (90)		
微生物学実験	※		1			1 (45)		
食品分析学	※		2			2 (30)		
食品学総論	※		2			2 (30)		
食品加工学	※		2			2 (30)		
食品学各論	※		2			2 (30)		
調理学	※	2				2 (30)		
食品衛生学	※			2		2 (30)		
食料経済学	※		2			2 (30)		
食品学実験(食品加工学を含む)	※		2			2 (90)		
調理学実習	※		2			2 (90)		
応用調理学実習				1			1 (45)	
食品衛生学実習	※			1		1 (45)		
基礎栄養学	※		2			2 (30)		
基礎栄養学実習	※			1		1 (45)		
応用栄養学Ⅰ	※		2			2 (30)		
応用栄養学Ⅱ	※			2		2 (30)		
応用栄養学Ⅲ	※			2		2 (30)		
応用栄養学実習	※			1		1 (45)		
栄養教育論Ⅰ	※		2			2 (30)		
栄養教育論Ⅱ	※			2		2 (30)		
栄養教育論Ⅲ	※			2		2 (30)		
栄養教育論実習	※			2		2 (90)		
臨床栄養学Ⅰ	※		2			2 (30)		
臨床栄養学Ⅱ	※			2		2 (30)		
臨床栄養学Ⅲ	※			2		2 (30)		
臨床栄養学Ⅳ	※			2		2 (30)		
臨床栄養学実習	※			2		2 (90)		
公衆栄養学Ⅰ	※			2		2 (30)		
公衆栄養学Ⅱ	※			2		2 (30)		
公衆栄養学実習	※				1	1 (45)		
給食経営管理論Ⅰ	※			2		2 (30)		
給食経営管理論Ⅱ	※			2		2 (30)		

専門分野

専門分野の
選択科目から
1単位以上を
修得すること

医療栄養学科 管理栄養学専攻

授業科目の名称		開講年次				単位数(時間数)		備考
		1	2	3	4	必修	選択	
専門分野	給食経営管理論実習 ※			1		1 (45)		専門分野の 選択科目から 1単位以上を 修得すること
	総合演習Ⅰ ※			1		1 (30)		
	総合演習Ⅱ ※				1	1 (30)		
	臨地実習Ⅰ(給食の運営) ※			1		1 (45)		
	臨地実習Ⅱ ※			2		2 (90)		
	臨地実習Ⅲ ※				1	1 (45)		
	チーム医療			1			1 (30)	
	医療栄養学特別演習				1	1 (30)		
	卒業研究				4	4 (180)		
	専門分野計	7	44	45	8	100 (2415)	4 (105)	
合計	61	48	46	9	123 (2850)	41 (825)		

☆ 専門分野の選択科目から1単位以上を履修すること。

※ 管理栄養士国家試験受験資格要件は、専門分野より※印の科目90単位を修得し、本課程の卒業要件を満たすこと。

卒業必要単位数

基礎分野		専門分野		合計		総合計
必修	選択	必修	選択	必修	選択	
23	11	100	1	123	12	135以上

自由科目(卒業要件外科目)

授業科目の名称	開講年次				単位数	時間数	備考
	1	2	3	4			
東洋医学基礎理論Ⅰ		2			2	30	医療栄養師認定試験受験資格取得要件科目
東洋医学基礎理論Ⅱ		2			2	30	
中医薬膳学			2		2	30	

※自由科目は卒業単位として認定されない。

医療栄養学科 臨床検査学専攻

授業科目の名称		開講年次				単位数(時間数)		備考	
		1	2	3	4	必修	選択		
基礎分野	医療人の基礎知識	いのちの倫理学	1				1 (15)	選択科目から2単位以上を修得すること	
		医療の倫理学	1				1 (15)		
		医学の基礎入門	1				1 (15)		
		臨床医学への招待	1				1 (15)		
		医療・福祉の変遷と制度	1				1 (15)		
		人々の生活と医療	1				1 (15)		
	医療人の技能と資質	医療人底力実践Ⅰ(学科プログラム)	1				1 (30)	選択科目から6単位以上を修得すること	
		医療人底力実践Ⅱ(体験プログラム)	1				1 (30)		
		医療人底力実践Ⅲ(発展プログラム)	1				1 (30)		
	医療人底力教育	多職種連携	多職種連携の基礎		1				1 (30)
			事例で学ぶ多職種連携			1			1 (30)
			実践で学ぶ多職種連携				1		1 (30)
			慢性疼痛で学ぶチーム医療(基礎)	1					1 (30)
			慢性疼痛で学ぶチーム医療(実践)		1				1 (30)
	医療人の教養と常識	医学医療最近の進歩	1				1 (15)		
		食と健康	1				1 (15)		
		医療における安全と安心	1				1 (15)		
		東洋医学と統合医療	1				1 (15)		
		現代医療と看護・介護	1				1 (15)		
		薬の役割・薬のできるまで	1				1 (15)		
		情報時代と医療	1				1 (15)		
		医療とコミュニケーション	1				1 (15)		
	科学	スポーツと健康	1				1 (15)		
		スポーツの科学	1				1 (15)		
		スポーツ科学実習	1				1 (30)		
	人間と生活	人間と文化と社会	哲学と死生観	1					1 (15)
			病と文化	1					1 (15)
			人類の疾病と医療	1					1 (15)
			心と医療	1					1 (15)
			法と医療	1					1 (15)
			経済と医療	1					1 (15)
			医療・福祉と財政	1					1 (15)
			社会病理と人の病	1					1 (15)
コミュニケーション		英語Ⅰ	1				1 (30)		
		英語Ⅱ	1				1 (30)		
		医療英語の基礎A		1			1 (30)		
		医療英語の基礎B		1			1 (30)		
		英語コミュニケーションA	1				1 (30)		
		英語コミュニケーションB	1				1 (30)		
科学的思考の基礎	自然科学への誘い	物理学の世界	1				1 (15)		
		環境科学	1				1 (15)		
		地球科学・宇宙科学	1				1 (15)		
		科学史・科学哲学	1				1 (15)		
	自然科学の基礎	数学Ⅰ	2				2 (30)		
		数学Ⅱ	2				2 (30)		
		化学Ⅰ	2				2 (30)		
		化学Ⅱ	2				2 (30)		
		生物学Ⅰ	2				2 (30)		
		生物学Ⅱ	2				2 (30)		
情報リテラシー	2				2 (30)				
基礎分野計		53	4	1	1	21 (405)	38 (735)		

医療栄養学科 臨床検査学専攻

授業科目の名称		開講年次				単位数(時間数)		備考
		1	2	3	4	必修	選択	
専門分野	人と体の機能構造	解剖組織学	2				2 (30)	
		解剖組織学実習		1			1 (45)	
		生化学	2				2 (30)	
		生化学実験		1			1 (45)	
		免疫学	2				2 (30)	
	☆1	病理組織学		2			2 (30)	
		臨床検査医学総論		2			2 (30)	
		臨床検査医学演習(R-CPC等)			1		1 (30)	
	☆2	公衆衛生学		1			1 (15)	
		公衆衛生学実習		1			1 (45)	
	☆3	医用工学 ※		2			2 (30)	
		医用工学実習 ※		1			1 (45)	
	臨床病理学	内科学 I			2		2 (30)	
		内科学 II (産婦人科学・小児科学他)			2		2 (30)	
		薬理学(薬物動態を含む)			2		2 (30)	
	形態検査学	動物学		2			2 (30)	
		動物学実習		1			1 (45)	
		血液検査学 I		1			1 (30)	
		血液検査学 II		1			1 (30)	
		血液検査学実習			2		2 (90)	
		病理検査学(細胞診を含む)		2			2 (30)	
		病理検査学実習(細胞診を含む) ※			2		2 (90)	
	検査学	機器分析学		1			1 (15)	
		機器分析学実習		1			1 (45)	
		臨床化学 I ※		1			1 (30)	
		臨床化学 II ※		1			1 (30)	
		臨床化学実習 ※			2		2 (90)	
放射性同位元素検査技術学 ※			1			1 (30)		
防衛因検査学	微生物学	2				2 (30)		
	臨床微生物学		2			2 (30)		
	臨床微生物学実習 ※			2		2 (90)		
	免疫検査学		2			2 (30)		
	免疫検査学実習 ※			2		2 (90)		
生理機能検査学	生理学	2				2 (30)		
	生理学実習		1			1 (45)		
	画像生理検査学 ※			2		2 (30)		
	生理機能検査学実習 ※			2		2 (90)		
	生理機能検査学 I ※		1			1 (30)		
	生理機能検査学 II ※		1			1 (30)		
	画像解析学(X線・CT・MR等)			2		2 (30)		

専門分野の
選択科目から
2単位以上を
修得すること

医療栄養学科 臨床検査学専攻

授業科目の名称		開講年次				単位数(時間数)		備考	
		1	2	3	4	必修	選択		
検査総合管理学	臨床検査学総論(精度管理を含む)Ⅰ	※	1			1 (30)		専門分野の 選択科目から 2単位以上を 修得すること	
	臨床検査学総論(精度管理を含む)Ⅱ	※	1			1 (30)			
	臨床検査学総論実習	※	2			2 (90)			
	医療安全管理学	※		1		1 (15)			
	チーム医療			1		1 (30)			
	総合臨床検査学演習Ⅰ				1	1 (30)			
	総合臨床検査学演習Ⅱ				1	1 (30)			
	臨床実習	※		4		4 (180)			
	医療栄養学	食品学			2		2 (30)		
		健康食品総論		2			2 (30)		
食品衛生学				2		2 (30)			
栄養学(応用栄養学を含む)			2			2 (30)			
臨床栄養学				2		2 (30)			
先端医療学	遺伝子検査学		2			2 (30)			
	遺伝子検査学実験			2		2 (90)			
	再生医療技術学			1		1 (15)			
	再生医療技術学実習				1	1 (45)			
卒業研究				4	4 (180)				
専門分野計		10	40	38	7	90 (2475)	5 (105)		
合計		63	44	39	8	111 (2880)	43 (840)		

☆1 医学検査の基礎とその疾病との関連

☆2 保健医療福祉と医学検査

☆3 医療工学及び情報科学

☆ 専門分野選択科目から2単位以上を修得すること。

※ 臨床検査技師国家試験受験資格要件は、専門分野より※印の科目29単位を修得し、本課程の卒業要件を満たした者

卒業必要単位数

基礎分野		専門分野		合計		総合計
必修	選択	必修	選択	必修	選択	
21	11	90	2	111	13	124以上

自由科目(卒業要件外科目)

授業科目の名称	開講年次				単位数	時間	備考
	1	2	3	4			
東洋医学基礎理論Ⅰ		2			2	30	医療薬膳師認定 試験受験資格取 得要件科目
東洋医学基礎理論Ⅱ		2			2	30	
生薬学			2		2	30	
中医薬膳学			2		2	30	
自由科目合計	0	4	4	0	8	120	

★自由科目は卒業単位として認定されない。

栄養士免許取得に係る栄養士法施行規則と本学履修科目との対比表

管理栄養士学校指定規則の教育内容・単位数に対比した本学履修科目・単位数について

栄養士法施行規則(第9条関係)		医療栄養学科 管理栄養学専攻						
施行規則 教育内容	単位数		科目名	単位数				
	講義 又は 演習	実験 又は 実習		講義 又は 演習	実験 又は 実習			
社会生活 と健康	4	4	情報リテラシー	2				
			公衆衛生学Ⅰ	2				
公衆衛生学Ⅱ			2					
健康管理学			1					
食料経済学			2					
公衆衛生学実習				1				
社会生活と健康の小計	9	1						
人体の構造と機能	8	4	解剖学	2				
			生理学	2				
			運動生理学	2				
			生化学Ⅰ	2				
			生化学Ⅱ	2				
			臨床医学	2				
			微生物学	2				
			生物有機化学	2				
			解剖生理学実習		2			
			生化学実験		2			
			微生物学実験		1			
			人体の構造と機能の小計	16	5			
			食品と衛生	6	6	食品分析学	2	
食品学総論	2							
食品加工学	2							
食品学各論	2							
食品衛生学	2							
食品学実験(食品加工学を含む)		2						
食品衛生学実習		1						
食品の衛生の小計	10	3						
栄養と健康	8	8				基礎栄養学	2	
						基礎栄養学実習		1
			応用栄養学Ⅰ	2				
			応用栄養学Ⅱ	2				
			応用栄養学Ⅲ	2				
			応用栄養学実習		1			
			臨床栄養学Ⅰ	2				
			臨床栄養学Ⅱ	2				
			臨床栄養学Ⅲ	2				
			臨床栄養学Ⅳ	2				
			臨床栄養学実習		2			
			栄養と健康の小計	16	4			
			栄養の指導	6	10	栄養教育論Ⅰ	2	
						栄養教育論Ⅱ	2	
栄養教育論Ⅲ	2							
栄養教育論実習		2						
公衆栄養学Ⅰ	2							
公衆栄養学Ⅱ	2							
公衆栄養学実習		1						
栄養の指導の小計	10	3						
給食の運営	4	4				給食経営管理論Ⅰ	2	
						給食経営管理論Ⅱ	2	
			給食経営管理論実習		1			
			調理学	2				
			調理学実習		2			
			臨地実習Ⅰ(給食の運営)		1			
給食の運営の小計	6	4						
合計	36	14	合計	67	20			
	50			87				

管理栄養士学校指定規則		医療栄養学科 管理栄養学専攻			
指定規則 教育内容	単位数		科目名	単位数	
	講義 又は 演習	実験 又は 実習		講義 又は 演習	実験 又は 実習
社会・健康 と環境	6	6	情報リテラシー	2	
			公衆衛生学Ⅰ	2	
公衆衛生学Ⅱ			2		
健康管理学			1		
公衆衛生学実習				1	
解剖学			2		
人体の構造と機能 及び疾病の 成り立ち	14	10	生理学	2	
			運動生理学	2	
			生化学Ⅰ	2	
			生化学Ⅱ	2	
			臨床医学	2	
			微生物学	2	
			生物有機化学	2	
			解剖生理学実習		2
			生化学実験		2
			微生物学実験		1
食べ物と健康	8	8	食品分析学	2	
			食品学総論	2	
			食品加工学	2	
			食品学各論	2	
			調理学	2	
			食品衛生学	2	
			食料経済学	2	
			食品学実験(食品加工学を含む)		2
			調理学実習		2
			食品衛生学実習		1
基礎分野	8	8	基礎栄養学	2	
			基礎栄養学実習		1
			応用栄養学Ⅰ	2	
			応用栄養学Ⅱ	2	
			応用栄養学Ⅲ	2	
			応用栄養学実習		1
			栄養教育論Ⅰ	2	
			栄養教育論Ⅱ	2	
			栄養教育論Ⅲ	2	
			栄養教育論実習		2
専門分野	8	8	臨床栄養学Ⅰ	2	
			臨床栄養学Ⅱ	2	
			臨床栄養学Ⅲ	2	
			臨床栄養学Ⅳ	2	
			臨床栄養学実習		2
			公衆栄養学Ⅰ	2	
			公衆栄養学Ⅱ	2	
			公衆栄養学実習		1
			給食経営管理論Ⅰ	2	
			給食経営管理論Ⅱ	2	
給食経営 管理論 実習	4	4	給食経営管理論実習		1
			総合演習Ⅰ	1	
			総合演習Ⅱ	1	
臨地 実習	4	4	臨地実習Ⅰ(給食の運営)		1
			臨地実習Ⅱ		2
			臨地実習Ⅲ		1
合計	60	22	合計	69	23
	82			92	

〈資料〉 臨床検査技師指定規則審査基準の対比表

科 目	講 義									実 習									
	開講科目①			開講科目②			合計	指定規則	審査基準	開講科目①			開講科目②			合計	指定規則	審査基準	
	科目名	単位	時間	科目名	単位	時間				科目名	単位	時間	科目名	単位	時間				
臨床検査技師指定科目	医用工学概論	医用工学	2	30				30	30	30	医用工学実習	1	45				45	30	30
	臨床検査総論	臨床検査学総論 (精度管理を含む) I・II	2	60				60	60	60	臨床検査学総論実習	2	90				90	90	90
	臨床生理学	生理機能検査学 I・II	2	60	画像生理検査学	2	30	90	60	60	生理機能検査学実習	2	90	臨床実習	1	45	135	135	90
	臨床化学	臨床化学 I・II	2	60				60	60	60	臨床化学実習	2	90				90	90	90
	放射性同位元素検査技術学	放射性同位元素 検査技術学	1	30				30	30	30									
	医療安全管理学	医療安全管理学	1	15				15	15	15	病理検査学実習 (細胞診を含む)	0.1	5	臨床微生物学実習 免疫検査学実習	0.1	5	15	15	15

リハビリテーション学科 理学療法学専攻

授業科目の名称		開講年次				単位数(時間数)		備考	
		1	2	3	4	必修	選択		
基礎分野	医療人の基礎知識	いのちの倫理学	1				1 (15)		
		医療の倫理学	1				1 (15)		
		医学の基礎入門	1				1 (15)		
		臨床医学への招待	1				1 (15)		
		医療・福祉の変遷と制度	1				1 (15)		
		人々の生活と医療	1				1 (15)		
	医療人の技能と資質	医療人底力実践Ⅰ(学科プログラム)	1				1 (30)		
		医療人底力実践Ⅱ(体験プログラム)	1				1 (30)		
		医療人底力実践Ⅲ(発展プログラム)	1				1 (30)		
	医療人底力教育	多職種連携	多職種連携の基礎		1			1 (30)	
			事例で学ぶ多職種連携			1		1 (30)	
			実践で学ぶ多職種連携				1	1 (30)	
			慢性疼痛で学ぶチーム医療(基礎)	1				1 (30)	
			慢性疼痛で学ぶチーム医療(実践)		1			1 (30)	
	医療人の教養と常識	医学医療最近の進歩	1				1 (15)		
		食と健康	1				1 (15)		
		医療における安全と安心	1				1 (15)		
		東洋医学と統合医療	1				1 (15)		
		現代医療と看護・介護	1				1 (15)		
		薬の役割・薬のできるまで	1				1 (15)		
		情報時代と医療	1				1 (15)		
		医療とコミュニケーション	1				1 (15)		
	科学	スポーツと健康	1				1 (15)		
		スポーツの科学	1				1 (15)		
		スポーツ科学実習	1				1 (30)		
	人間と生活	人間と文化と社会	哲学と死生観	1				1 (15)	
			病と文化	1				1 (15)	
			人類の疾病と医療	1				1 (15)	
			心と医療	1				1 (15)	
			法と医療	1				1 (15)	
			経済と医療	1				1 (15)	
			医療・福祉と財政	1				1 (15)	
			社会病理と人の病	1				1 (15)	
コミュニケーション		英語Ⅰ	1				1 (30)		
		英語Ⅱ	1				1 (30)		
		医療英語の基礎A		1			1 (30)		
		医療英語の基礎B		1			1 (30)		
		英語コミュニケーションA	1				1 (30)		
		英語コミュニケーションB	1				1 (30)		
科学的思考の基礎	自然科学への誘い	環境科学	1				1 (15)		
		地球科学・宇宙科学	1				1 (15)		
		科学史・科学哲学	1				1 (15)		
	自然科学の基礎	数学Ⅰ	2				2 (30)		
		数学Ⅱ	2				2 (30)		
		物理学Ⅰ	2				2 (30)		
		物理学Ⅱ	2				2 (30)		
		化学Ⅰ	2				2 (30)		
		化学Ⅱ	2				2 (30)		
		生物学Ⅰ	2				2 (30)		
		生物学Ⅱ	2				2 (30)		
情報リテラシー	2				2 (30)				
基礎分野計		56	4	1	1	14 (300)	48 (885)		

選択科目から5単位以上を修得すること

選択科目から2単位以上を修得すること

選択科目から8単位以上を修得すること

リハビリテーション学科 理学療法学専攻

授業科目の名称		開講年次				単位数(時間数)		備考
		1	2	3	4	必修	選択	
専門基礎分野	専門基礎科目	解剖学	2				2 (30)	
		応用解剖学	2				2 (30)	
		解剖学実習	1				1 (45)	
		生理学	2				2 (30)	
		応用生理学	2				2 (30)	
		生理学実習	1				1 (45)	
		病理学概論		1			1 (30)	
		臨床心理学		1			1 (30)	
		発達学		2			2 (30)	
		リハビリテーション概論	1				1 (30)	
		リハビリテーション医学	1				1 (30)	
		内科学総論		1			1 (30)	
		内科学各論		1			1 (30)	
		整形外科学総論		1			1 (30)	
		整形外科学各論		1			1 (30)	
		神経内科学総論		1			1 (30)	
		神経内科学各論		1			1 (30)	
		小児科学		1			1 (30)	
		一般臨床医学			1		1 (30)	
		精神医学				1	1 (30)	
		医学英語		1			1 (30)	
		リハビリテーション工学				2	2 (30)	
		救急医学概論				2	2 (30)	
		画像評価学				1	1 (15)	
		臨床栄養学		2			2 (30)	
		薬理学				2	2 (30)	
専門基礎分野計		12	14	1	8	35 (795)		
専門分野	基礎療法学	基礎運動学	2				2 (30)	
		応用運動学		2			2 (30)	
		運動学実習		1			1 (45)	
		臨床運動学				1	1 (30)	
	理学療法評価学	運動器系評価学		2			2 (30)	
		神経系評価学		2			2 (30)	
		理学療法評価学実習			1		1 (45)	
		臨床評価法実習			1		1 (45)	
	理学療法治療学	物理療法学		2			2 (30)	
		物理療法学実習			1		1 (45)	
運動療法学総論			2			2 (30)		
運動器系理学療法学				1		1 (30)		
				1		1 (45)		

リハビリテーション学科 理学療法学専攻

授業科目の名称		開講年次				単位数(時間数)		備考
		1	2	3	4	必修	選択	
専門分野	理学療法治療学	脊髄損傷理学療法学		1			1 (30)	
		神経系理学療法学			1		1 (30)	
		神経系理学療法学実習			1		1 (45)	
		神経筋系理学療法学実習			1		1 (45)	
		発達障害系理学療法学		1			1 (15)	
		発達障害系理学療法学実習			1		1 (45)	
		循環呼吸系理学療法学		2			2 (30)	
		循環呼吸系理学療法学実習			1		1 (45)	
		生活技術学		2			2 (30)	
		生活技術学実習			1		1 (45)	
		義肢装具学		1			1 (30)	
		義肢装具学実習			1		1 (45)	
		理学療法特論				1	1 (30)	
		スポーツ医学			2		2 (30)	
		理学療法技術論演習			1		1 (30)	
	ロボットリハビリテーション演習			1		1 (30)		
	理学療法管理理学				1	1 (15)		
	地域理学療法学	生活環境学			2		2 (30)	
		老年期障害学演習				1	1 (30)	
		地域理学療法学			1		1 (15)	
臨床実習	初期臨床実習		2			2 (90)		
	臨床評価実習			3		3 (135)		
	総合臨床実習				15	15 (675)		
卒業研究	卒業研究の基礎			2		2 (30)		
	卒業研究				1	1 (45)		
専門分野計		2	20	24	20	66 (2085)	0 (0)	
合計		70	38	26	29	115 (3180)	48 (885)	

卒業必要単位数

基礎分野		専門基礎分野	専門分野	合計		総合計
必修	選択	必修	必修	必修	選択	
14	15	35	66	115	15	130以上

リハビリテーション学科 作業療法学専攻

授業科目の名称		開講年次				単位数(時間数)		備考	
		1	2	3	4	必修	選択		
基礎分野	医療人の基礎知識	いのちの倫理学	1				1 (15)	選択科目から6単位以上を修得すること	
		医療の倫理学	1				1 (15)		
		医学の基礎入門	1				1 (15)		
		臨床医学への招待	1				1 (15)		
		医療・福祉の変遷と制度	1				1 (15)		
		人々の生活と医療	1				1 (15)		
	医療人の技能と資質	医療人底力実践Ⅰ(学科プログラム)	1				1 (30)		
		医療人底力実践Ⅱ(体験プログラム)	1				1 (30)		
		医療人底力実践Ⅲ(発展プログラム)	1				1 (30)		
	医療人底力教育	多職種連携	多職種連携の基礎		1				1 (30)
			事例で学ぶ多職種連携			1			1 (30)
			実践で学ぶ多職種連携				1		1 (30)
			慢性疼痛で学ぶチーム医療(基礎)	1					1 (30)
			慢性疼痛で学ぶチーム医療(実践)		1				1 (30)
	医療人の教養と常識	医学医療最近の進歩	1				1 (15)		
		食と健康	1				1 (15)		
		医療における安全と安心	1				1 (15)		
		東洋医学と統合医療	1				1 (15)		
		現代医療と看護・介護	1				1 (15)		
		薬の役割・薬のできるまで	1				1 (15)		
		情報時代と医療	1				1 (15)		
		医療とコミュニケーション	1				1 (15)		
	科学	スポーツと健康	1				1 (15)		
		スポーツの科学	1				1 (15)		
		スポーツ科学実習		1			1 (30)		
	人間と生活	人間と文化と社会	哲学と死生観	1					1 (15)
			病と文化	1					1 (15)
			人類の疾病と医療	1					1 (15)
			心と医療	1					1 (15)
			法と医療	1					1 (15)
経済と医療			1				1 (15)		
医療・福祉と財政			1				1 (15)		
社会病理と人の病			1				1 (15)		
コミュニケーション		英語Ⅰ	1				1 (30)		
		英語Ⅱ	1				1 (30)		
		医療英語の基礎A		1			1 (30)		
		医療英語の基礎B		1			1 (30)		
		英語コミュニケーションA	1				1 (30)		
		英語コミュニケーションB	1				1 (30)		
自然科学の基礎	自然科学への誘い	環境科学	1				1 (15)		
		地球科学・宇宙科学	1				1 (15)		
		科学史・科学哲学	1				1 (15)		
	自然科学の基礎	数学Ⅰ	2				2 (30)		
		数学Ⅱ	2				2 (30)		
		物理学Ⅰ	2				2 (30)		
		物理学Ⅱ	2				2 (30)		
		化学Ⅰ	2				2 (30)		
		化学Ⅱ	2				2 (30)		
		生物学Ⅰ	2				2 (30)		
生物学Ⅱ	2				2 (30)				
情報リテラシー	2				2 (30)				
基礎分野計		55	5	1	1	14 (300)	48 (885)		

授業科目の名称		開講年次				単位数(時間数)		備考
		1	2	3	4	必修	選択	
専門基礎分野	専門基礎科目	解剖学	2				2 (30)	
		応用解剖学	2				2 (30)	
		解剖学実習	1				1 (45)	
		生理学	2				2 (30)	
		応用生理学	2				2 (30)	
		生理学実習	1				1 (45)	
		病理学概論		1			1 (30)	
		臨床心理学		1			1 (30)	
		発達学		2			2 (30)	
		リハビリテーション概論	1				1 (30)	
		リハビリテーション医学	1				1 (30)	
		内科学総論		1			1 (30)	
		内科学各論		1			1 (30)	
		整形外科総論		1			1 (30)	
		整形外科各論		1			1 (30)	
		神経内科学総論		1			1 (30)	
		神経内科学各論		1			1 (30)	
		小児科学		1			1 (30)	
		一般臨床医学		1			1 (30)	
		精神医学		1			1 (30)	
		医学英語		1			1 (30)	
		リハビリテーション工学				2	2 (30)	
		ロボットリハビリテーション演習			1		1 (30)	
		救急医学概論				2	2 (30)	
		画像評価学				1	1 (15)	
		臨床栄養学		2			2 (30)	
薬理学				2	2 (30)			
専門基礎分野計		12	16	1	7	36 (825)		
専門分野	療法学	基礎作業	運動学	1			1 (15)	
			運動学実習		1		1 (30)	
			作業療法概論		1		1 (15)	
			基礎作業学		1		1 (15)	
			基礎作業学実習		1		1 (30)	
			作業療法研究法		1		1 (15)	
	評価学	作業療法	検査測定実習		1		1 (30)	
			身体障害評価学		1		1 (15)	
			精神障害評価学		1		1 (15)	
			発達障害評価学			1	1 (15)	
	治療学	作業療法	老年期障害評価学			1	1 (15)	
			身体障害作業治療学 I		1		1 (15)	
			身体障害作業治療学 I 実習			1	1 (30)	
		身体障害作業治療学 II			1	1 (15)		
		身体障害作業治療学 II 実習			1	1 (30)		

授業科目の名称		開講年次				単位数(時間数)		備考
		1	2	3	4	必修	選択	
専門分野	作業療法治療学	精神障害作業治療学			1		1 (15)	
		精神障害作業治療学実習			1		1 (30)	
		発達障害作業治療学		1			1 (15)	
		発達障害作業治療学実習			1		1 (30)	
		老年期障害作業治療学			1		1 (15)	
		老年期障害作業治療学実習			1		1 (30)	
		日常生活活動支援学		1			1 (15)	
		日常生活活動支援学実習			1		1 (30)	
		高次脳機能障害作業治療学		1			1 (15)	
		高次脳機能障害作業治療学実習			1		1 (30)	
		義肢装具作業療法学		1			1 (15)	
		義肢装具作業療法学実習			1		1 (30)	
		職業関連作業療法学		1			1 (15)	
		ハンドセラピー学				1	1 (15)	
	感覚統合療法学				1	1 (15)		
	急性期作業療法学			1		1 (15)		
	総合演習				1	1 (15)		
	作業療法管理学	職業倫理学				1	1 (15)	
		職場管理学				1	1 (15)	
	地域作業療法学	地域作業療法学		1			1 (15)	
		地域作業療法学実習			1		1 (30)	
		生活環境論			1		1 (15)	
		訪問作業療法学				1	1 (15)	
臨床実習	臨床実習Ⅰ		2			2 (90)		
	臨床実習Ⅱ			4		4 (180)		
	臨床実習Ⅲ				8	8 (360)		
	臨床実習Ⅳ				8	8 (360)		
卒業研究				1	1 (45)			
専門分野計		1	17	20	23	61 (1785)		
合計		68	38	22	31	111 (2910)	48 (885)	

卒業必要単位数

基礎分野		専門基礎分野	専門分野	合計		総合計
必修	選択	必修	必修	必修	選択	
14	16	36	61	111	16	127以上

医療福祉学科 医療福祉学専攻

		授業科目の名称	開講年次				単位数(時間数)		備考	
			1	2	3	4	必修	選択		
基礎分野	医療人の基礎知識	いのちの倫理学	1				1 (15)		選択科目から2単位以上を修得すること	
		医療の倫理学	1					1 (15)		
		医学の基礎入門	1				1 (15)			
		臨床医学への招待	1					1 (15)		
		医療・福祉の変遷と制度	1				1 (15)			
		人々の生活と医療	1					1 (15)		
	医療人の技能と資質	医療人底力実践Ⅰ(学科プログラム)	1				1 (30)		選択科目から6単位以上を修得すること ※を推奨	
		医療人底力実践Ⅱ(体験プログラム)	1				1 (30)			
		医療人底力実践Ⅲ(発展プログラム)	1				1 (30)			
	医療人底力教育	多職種連携の基礎		1			1 (30)			
		事例で学ぶ多職種連携			1			1 (30)		
		実践で学ぶ多職種連携				1		1 (30)		
		慢性疼痛で学ぶチーム医療(基礎)	1				1 (30)			
		慢性疼痛で学ぶチーム医療(実践)		1			1 (30)			
		医学医療最近の進歩	1				1 (15)			
	医療人の教養と常識	食と健康	1				1 (15)			
		医療における安全と安心	1				1 (15)			
		東洋医学と統合医療	1				1 (15)			
		現代医療と看護・介護	1				1 (15)			
		薬の役割・薬のできるまで	1				1 (15)			
		情報時代と医療	1				1 (15)			
		医療とコミュニケーション	1				1 (15)			
		科学健康	スポーツと健康	1				1 (15)		
	スポーツの科学		1				1 (15)			
	スポーツ科学実習			1			1 (30)			
	人間と生活	人間と文化と社会	哲学と死生観 ※	1				1 (15)		選択科目から2単位以上を修得すること
			病と文化 ※	1				1 (15)		
			人類の疾病と医療 ※	1				1 (15)		
			心と医療	1				1 (15)		
			法と医療	1				1 (15)		
			経済と医療 ※	1				1 (15)		
			医療・福祉と財政	1				1 (15)		
			社会病理と人の病	1				1 (15)		
		コミュニケーション	英語Ⅰ	1				1 (30)		
			英語Ⅱ	1				1 (30)		
	科学的思考の基盤	自然科学への誘い(いざな)	医療英語の基礎A		1			1 (30)		
			医療英語の基礎B		1			1 (30)		
			英語コミュニケーションA	1				1 (30)		
			英語コミュニケーションB	1				1 (30)		
			中国語Ⅰ	1				1 (30)		
中国語Ⅱ			1				1 (30)			
※1 情報リテラシー			2				2 (30)			
基礎分野計			44	5	1	1	11 (255)	40 (765)		

授業科目の名称		開講年次				単位数(時間数)		備考
		1	2	3	4	必修	選択	
専門基礎分野	医療	人体の構造・機能と疾病	2				2 (30)	
		認知症の理解と援助		2			2 (30)	
		小児と医療			2			2 (30)
		精神疾患とその治療Ⅰ		2				2 (30)
		精神疾患とその治療Ⅱ		2				2 (30)
		看護学			2			2 (30)
		精神保健福祉の理論と相談援助の展開Ⅰ		2				2 (30)
		精神保健福祉の理論と相談援助の展開Ⅱ		2				2 (30)
	保健	保健医療サービス			2		2 (30)	
		精神保健の課題と支援Ⅰ		2				2 (30)
		精神保健の課題と支援Ⅱ		2				2 (30)
	福祉	医療福祉の基礎	2				2 (30)	
		社会理論と社会システムⅠ	2				2 (30)	
		社会理論と社会システムⅡ		2				2 (30)
		ソーシャルワーク法学		2				2 (30)
		社会福祉概論Ⅰ	2				2 (30)	
		社会福祉概論Ⅱ(社会福祉史)	2				2 (30)	
		相談援助の基盤と専門職Ⅰ		2				2 (30)
		相談援助の基盤と専門職Ⅱ		2				2 (30)
		精神保健福祉相談援助の基盤(専門)		2				2 (30)
		低所得者に対する支援と生活保護制度		2				2 (30)
		高齢者に対する支援と介護保険制度Ⅰ		2				2 (30)
		障害者に対する支援と障害者自立支援制度Ⅰ		2				2 (30)
		児童・家庭福祉制度Ⅰ		2				2 (30)
	心理	心理学概論	2				2 (30)	
		発達心理学	2					2 (30)
		臨床心理学概論	2					2 (30)
		学習・言語心理学		2				2 (30)
		深層心理学		2				2 (30)
		心理学実験		2				2 (60)
	専門基礎分野計		16	38	6	0	28 (420)	32 (510)
	専門分野	医療福祉	現代社会と福祉Ⅰ			2		2 (30)
現代社会と福祉Ⅱ					2			2 (30)
高齢者に対する支援と介護保険制度Ⅱ				2				2 (30)
障害者に対する支援と障害者自立支援制度Ⅱ					2			2 (30)
児童・家庭福祉制度Ⅱ					2			2 (30)
地域福祉の理論と方法Ⅰ				2				2 (30)
地域福祉の理論と方法Ⅱ				2				2 (30)
社会調査の基礎					2			2 (30)
福祉行財政と福祉計画					2			2 (30)
福祉サービスの組織と経営						2		2 (30)
社会保障Ⅰ				2				2 (30)
社会保障Ⅱ				2				2 (30)
就労支援サービス						2		2 (30)
権利擁護と成年後見制度						2		2 (30)
更生保護制度						2		2 (30)
介護概論			2					2 (30)
家族援助論					2			2 (30)

専門基礎分野の
選択科目から
12単位以上を
修得すること

専門分野の
選択科目から
45単位以上を
修得すること

授業科目の名称		開講年次				単位数(時間数)		備考		
		1	2	3	4	必修	選択			
専門分野	医療福祉	教育原理		2				2 (30)	専門分野の 選択科目から 45単位以上を 修得すること	
		相談援助の理論と方法Ⅰ	2					2 (30)		
		相談援助の理論と方法Ⅱ		2						2 (30)
		相談援助の理論と方法Ⅲ		2						2 (30)
		相談援助の理論と方法Ⅳ			2					2 (30)
		相談援助演習Ⅰ		1						1 (30)
		相談援助演習Ⅱ		1						1 (30)
		相談援助演習Ⅲ			1					1 (30)
		相談援助演習Ⅳ			1					1 (30)
		相談援助演習Ⅴ			1					1 (30)
		相談援助実習指導Ⅰ		1						1 (30)
		相談援助実習指導Ⅱ			1					1 (30)
		相談援助実習指導Ⅲ			1					1 (30)
		相談援助実習			6					6 (180)
		医療ソーシャルワーク論			2					2 (30)
		医療ソーシャルワーク実習指導			1					1 (30)
		医療ソーシャルワーク実習				2				2 (60)
		スクールソーシャルワーク論			2					2 (30)
	スクールソーシャルワーク演習			1				1 (30)		
	スクールソーシャルワーク実習指導			1				1 (30)		
	スクールソーシャルワーク実習				2			2 (80)		
	精神保健福祉	精神保健福祉に関する制度とサービスⅠ		2						2 (30)
		精神保健福祉に関する制度とサービスⅡ		2						2 (30)
		精神障害者の生活支援システム				2				2 (30)
		精神保健福祉の理論と相談援助の展開Ⅲ			2					2 (30)
		精神保健福祉の理論と相談援助の展開Ⅳ			2					2 (30)
		精神保健福祉援助演習(専門)Ⅰ			1					1 (30)
		精神保健福祉援助演習(専門)Ⅱ				1				1 (30)
精神保健福祉援助実習指導Ⅰ				1				1 (30)		
精神保健福祉援助実習指導Ⅱ				1				1 (30)		
精神保健福祉援助実習指導Ⅲ					1			1 (30)		
精神保健福祉援助実習			5				5 (150)			

授業科目の名称		開講年次				単位数(時間数)		備考
		1	2	3	4	必修	選択	
専門分野	臨床心理	知覚・認知心理学		2			2 (30)	専門分野の 選択科目から 45単位以上を 修得すること
		福祉心理学			2		2 (30)	
		心理学研究法			2		2 (30)	
		心理学統計法	2				2 (30)	
		心理的アセスメント I			2		2 (30)	
		心理的アセスメント II			2		2 (60)	
		障害者(児)心理学		2			2 (30)	
		社会・集団・家族心理学 I	2				2 (30)	
		社会・集団・家族心理学 II				2	2 (30)	
		司法・犯罪心理学				2	2 (30)	
		心理学的支援法		2			2 (30)	
	総合	医療福祉演習 I			1		1 (30)	
		医療福祉演習 II			1		1 (30)	
		医療福祉演習 III				1	1 (30)	
		医療福祉演習 IV				1	1 (30)	
		社会福祉特講 I			1		1 (30)	
		社会福祉特講 II			1		1 (30)	
		社会福祉特講 III				1	1 (30)	
		社会福祉特講 IV				1	1 (30)	
		精神保健福祉特講 I			1		1 (30)	
		精神保健福祉特講 II			1		1 (30)	
		精神保健福祉特講 III				1	1 (30)	
		精神保健福祉特講 IV				1	1 (30)	
		卒業研究				4	4 (180)	
専門分野計	8	29	60	30	18 (450)	109 (2270)		
合計	68	72	67	31	57 (1125)	181 (3545)		

※1 自然科学の基礎

卒業必要単位数

基礎分野		専門基礎分野		専門分野		合計		総合計
必修	選択	必修	選択	必修	選択	必修	選択	
11	12	28	12	18	45	57	69	126以上

<参考>

社会福祉士国家試験受験資格に係る社会福祉に関する科目を定める省令と履修科目との対比表

社会福祉士及び介護福祉士法 第7条第1号に定める大学に関する規定の指定基準と本学履修科目との対比について

指定科目	時間数	左に対応して開設されている科目	単位	時間数
人体の構造と機能及び疾病	30	人体の構造・機能と疾病	2	30
心理学理論と心理的支援	30	心理学概論	2	30
社会理論と社会システム	30	社会理論と社会システムⅠ	2	30
		社会理論と社会システムⅡ	2	30
現代社会と福祉	60	現代社会と福祉Ⅰ	2	30
		現代社会と福祉Ⅱ	2	30
社会調査の基礎	30	社会調査の基礎	2	30
相談援助の基盤と専門職	60	相談援助の基盤と専門職Ⅰ	2	30
		相談援助の基盤と専門職Ⅱ	2	30
相談援助の理論と方法	120	相談援助の理論と方法Ⅰ	2	30
		相談援助の理論と方法Ⅱ	2	30
		相談援助の理論と方法Ⅲ	2	30
		相談援助の理論と方法Ⅳ	2	30
地域福祉の理論と方法	60	地域福祉の理論と方法Ⅰ	2	30
		地域福祉の理論と方法Ⅱ	2	30
福祉行財政と福祉計画	30	福祉行財政と福祉計画	2	30
福祉サービスの組織と経営	30	福祉サービスの組織と経営	2	30
社会保障	60	社会保障Ⅰ	2	30
		社会保障Ⅱ	2	30
高齢者に対する支援と介護保険制度	60	高齢者に対する支援と介護保険制度Ⅰ	2	30
		高齢者に対する支援と介護保険制度Ⅱ	2	30
障害者に対する支援と障害者自立支援制度	30	障害者に対する支援と障害者自立支援制度Ⅰ	2	30
		障害者に対する支援と障害者自立支援制度Ⅱ	2	30
児童や家庭に対する支援と児童・家庭福祉制度	30	児童・家庭福祉制度Ⅰ	2	30
		児童・家庭福祉制度Ⅱ	2	30
低所得者に対する支援と生活保護制度	30	低所得者に対する支援と生活保護制度	2	30
保健医療サービス	30	保健医療サービス	2	30
就労支援サービス	15	就労支援サービス	2	30
権利擁護と成年後見制度	30	権利擁護と成年後見制度	2	30
更生保護制度	15	更生保護制度	2	30
相談援助演習	150	相談援助演習Ⅰ	1	30
		相談援助演習Ⅱ	1	30
		相談援助演習Ⅲ	1	30
		相談援助演習Ⅳ	1	30
		相談援助演習Ⅴ	1	30
相談援助実習指導	90	相談援助実習指導Ⅰ	1	30
		相談援助実習指導Ⅱ	1	30
		相談援助実習指導Ⅲ	1	30
相談援助実習	180	相談援助実習	6	180

<参考>

精神保健福祉士国家試験受験資格に係る精神保健福祉士の規定に基づく精神障害者の保健及び福祉に関する科目と本学履修科目との対比表

精神保健福祉士法第7条第1号の規定に基づく精神障害者の保健及び福祉に関する科目と本学履修科目との対比について

指定科目	時間数	左に対応して開設されている科目	単位	時間数
人体の構造と機能及び疾病	30	人体の構造・機能と疾病	2	30
心理学理論と心理的支援	30	心理学概論	2	30
社会理論と社会システム	30	社会理論と社会システムⅠ	2	30
		社会理論と社会システムⅡ	2	30
現代社会と福祉	60	現代社会と福祉Ⅰ	2	30
		現代社会と福祉Ⅱ	2	30
地域福祉の理論と方法	60	地域福祉の理論と方法Ⅰ	2	30
		地域福祉の理論と方法Ⅱ	2	30
社会保障	60	社会保障Ⅰ	2	30
		社会保障Ⅱ	2	30
低所得者に対する支援と生活保護制度	30	低所得者に対する支援と生活保護制度	2	30
福祉行財政と福祉計画	30	福祉行財政と福祉計画	2	30
保健医療サービス	30	保健医療サービス	2	30
権利擁護と成年後見制度	30	権利擁護と成年後見制度	2	30
障害者に対する支援と障害者自立支援制度	30	障害者に対する支援と障害者自立支援制度Ⅰ	2	30
		障害者に対する支援と障害者自立支援制度Ⅱ	2	30
精神疾患とその治療	60	精神疾患とその治療Ⅰ	2	30
		精神疾患とその治療Ⅱ	2	30
精神保健の課題と支援	60	精神保健の課題と支援Ⅰ	2	30
		精神保健の課題と支援Ⅱ	2	30
精神保健福祉相談援助の基盤(基礎)	30	相談援助の基盤と専門職Ⅰ	2	30
精神保健福祉相談援助の基盤(専門)	30	精神保健福祉相談援助の基盤(専門)	2	30
精神保健福祉の理論と相談援助の展開	120	精神保健福祉の理論と相談援助の展開Ⅰ	2	30
		精神保健福祉の理論と相談援助の展開Ⅱ	2	30
		精神保健福祉の理論と相談援助の展開Ⅲ	2	30
		精神保健福祉の理論と相談援助の展開Ⅳ	2	30
精神保健福祉に関する制度とサービス	60	精神保健福祉に関する制度とサービスⅠ	2	30
		精神保健福祉に関する制度とサービスⅡ	2	30
精神障害者の生活支援システム	30	精神障害者の生活支援システム	2	30
精神保健福祉援助演習(基礎)	30	相談援助演習Ⅰ	1	30
		相談援助演習Ⅱ	1	30
精神保健福祉援助演習(専門)	60	精神保健福祉援助演習(専門)Ⅰ	1	30
		精神保健福祉援助演習(専門)Ⅱ	1	30
精神保健福祉援助実習指導	90	精神保健福祉援助実習指導Ⅰ	1	30
		精神保健福祉援助実習指導Ⅱ	1	30
		精神保健福祉援助実習指導Ⅲ	1	30
精神保健福祉援助実習	210	精神保健福祉援助実習	5	150
		相談援助実習	6	180

〈参考〉

認定心理士単位認定基準(平成26年度以降入学生 医療福祉学専攻)

この単位認定基準は、2014年度改訂版日本心理学会認定心理士資格細則別表に準拠

資格取得に必要な科目および単位と本学履修科目との対比について

指定領域	単位	左に対応して開設されている科目	単位	時間数	修得条件	
① 基礎科目	a 心理学概論(基本主題)	心理学概論Ⅰ	2	30	4単位以上修得すること(基本主題を2単位以上含むこと)	
		心理学概論Ⅱ	2	30		
	a 心理学概論(副次主題)	臨床心理学概論Ⅰ	1(※)	30		
		臨床心理学概論Ⅱ	1(※)	30		
	b 心理学研究法(基本主題)	心理学研究法	2	30		8単位以上修得すること(最低4単位分はc心理学実験・実習の単位であること)
		心理学統計法	2	30		
		心理検査法	2	30		
	c 心理学実験・実習(基本主題)	心理学基礎実験	2	60		
		心理検査法実習	2	60		
	上記3領域の合計12単位以上					
② 選択科目	d 知覚心理学・学習心理学(基本主題)	認知・学習心理学	2	30	4単位以上修得すること	
	f 教育心理学・発達心理学(基本主題)	子どもと家族の心理学	2	30		
		発達心理学	2	30		
		青年心理学	2	30		
		福祉心理学	2	30		
	g 臨床心理学・人格心理学(基本主題)	非行と犯罪の心理学	2	30		
		カウンセリングⅠ	2	30		
		カウンセリングⅡ	2	30		
		身体心理学	1(※)	30		
	g 臨床心理学・人格心理学(副次主題)	精神疾患とその治療Ⅰ	1(※)	30		
		精神疾患とその治療Ⅱ	1(※)	30		
		精神保健の課題と支援Ⅰ	1(※)	30		
		精神保健の課題と支援Ⅱ	1(※)	30		
	h 社会心理学・産業心理学(基本主題)	社会心理学Ⅰ	2	30		
社会心理学Ⅱ		2	30			
コミュニティ心理学		2	30			
上記3領域の12単位以上(必ず基本主題を含むこと)、5領域で合計16単位以上						
修得条件及び上記科目より 総計36単位以上 修得すること。						
※副次主題は原則として修得単位数の2分の1が認定の対象となることに注意						

医療福祉学科 臨床心理学専攻

授業科目の名称		開講年次				単位数(時間数)		備考	
		1	2	3	4	必修	選択		
基礎分野	医療人の基礎知識	いのちの倫理学	1				1 (15)	選択科目から2単位以上を修得すること	
		医療の倫理学	1				1 (15)		
		医学の基礎入門	1				1 (15)		
		臨床医学への招待	1				1 (15)		
		医療・福祉の変遷と制度	1				1 (15)		
		人々の生活と医療	1				1 (15)		
	医療人の技能と資質	医療人底力実践Ⅰ(学科プログラム)	1				1 (30)	選択科目から6単位以上を修得すること	
		医療人底力実践Ⅱ(体験プログラム)	1				1 (30)		
		医療人底力実践Ⅲ(発展プログラム)	1				1 (30)		
	多職種連携教育	多職種連携の基礎		1			1 (30)		
		事例で学ぶ多職種連携			1		1 (30)		
		実践で学ぶ多職種連携				1	1 (30)		
		慢性疼痛で学ぶチーム医療(基礎)	1				1 (30)		
		慢性疼痛で学ぶチーム医療(実践)		1			1 (30)		
	医療人の教養と常識	医学医療最近の進歩	1				1 (15)		
		食と健康	1				1 (15)		
		医療における安全と安心	1				1 (15)		
		東洋医学と統合医療	1				1 (15)		
		現代医療と看護・介護	1				1 (15)		
		薬の役割・薬のできるまで	1				1 (15)		
		情報時代と医療	1				1 (15)		
		医療とコミュニケーション	1				1 (15)		
	科学	スポーツと健康	1				1 (15)		
		スポーツの科学	1				1 (15)		
		スポーツ科学実習		1			1 (30)		
	人間と生活	人間と文化と社会	哲学と死生観	1				1 (15)	選択科目から2単位以上を修得すること
			病と文化	1				1 (15)	
			人類の疾病と医療	1				1 (15)	
			心と医療	1				1 (15)	
			法と医療	1				1 (15)	
			経済と医療	1				1 (15)	
			医療・福祉と財政	1				1 (15)	
			社会病理と人の病	1				1 (15)	
言葉とコミュニケーション		英語Ⅰ	1				1 (30)		
	英語Ⅱ	1				1 (30)			
	医療英語の基礎A		1			1 (30)			
	医療英語の基礎B		1			1 (30)			
	英語コミュニケーションA	1				1 (30)			
	英語コミュニケーションB	1				1 (30)			
	中国語Ⅰ	1				1 (30)			
中国語Ⅱ	1				1 (30)				
科学的思考の基盤	誘(自然科学へのいざない)	数学の世界	1				1 (15)	選択科目から2単位以上を修得すること	
		物理学の世界	1				1 (15)		
		化学の世界	1				1 (15)		
		生物学の世界	1				1 (15)		
		統計学の初歩	1				1 (15)		
		環境科学	1				1 (15)		
		地球科学・宇宙科学	1				1 (15)		
		科学史・科学哲学	1				1 (15)		
	*1 情報リテラシー	2				2 (30)			
基礎分野計		44	5	1	1	11 (255)	40 (765)		

医療福祉学科 臨床心理学専攻

授業科目の名称		開講年次				単位数(時間数)		備考
		1	2	3	4	必修	選択	
専門基礎分野	臨床心理	臨床心理学の基礎	2				2 (30)	専門基礎分野の 選択科目から 16単位以上を 修得すること
		心理学概論※	2				2 (30)	
		臨床心理学概論※	2				2 (30)	
		発達心理学Ⅰ※	2				2 (30)	
		発達心理学Ⅱ※	2				2 (30)	
		心理学統計法※	2				2 (30)	
		社会・集団・家族心理学Ⅰ※	2				2 (30)	
		社会・集団・家族心理学Ⅱ※				2	2 (30)	
		心理学実験※		2			2 (60)	
		公認心理師の職責※		2			2 (30)	
		コミュニケーションの基礎	2				2 (30)	
		知覚・認知心理学※		2			2 (30)	
		学習・言語心理学※		2			2 (30)	
		神経・生理心理学※			2		2 (30)	
		感情・人格心理学Ⅰ※		2			2 (30)	
		感情・人格心理学Ⅱ※		2			2 (30)	
	心理学研究法※			2		2 (30)		
	医療福祉	社会福祉概論Ⅰ	2				2 (30)	
		社会福祉概論Ⅱ(社会福祉史)	2				2 (30)	
		人体の構造と機能及び疾病※	2				2 (30)	
		認知症の理解と援助			2		2 (30)	
		小児と医療			2		2 (30)	
		保健医療サービス			2		2 (30)	
		相談援助の基盤と専門職		2			2 (30)	
		精神疾患とその治療Ⅰ※			2		2 (30)	
		精神疾患とその治療Ⅱ※			2		2 (30)	
		看護学			2		2 (30)	
		低所得者に対する支援と生活保護制度		2			2 (30)	
		高齢者に対する支援と介護保険制度		2			2 (30)	
障害者に対する支援と障害者自立支援制度			2			2 (30)		
家族援助論			2		2 (30)			
専門基礎分野計		22	20	18	2	42 (660)	20 (300)	
専門分野	臨床心理	健康・医療心理学※			2		2 (30)	専門分野の 選択科目から 6単位以上を 修得すること
		障害者・障害児心理学		2			2 (30)	
		心理学的支援法※		2			2 (30)	
		深層心理学		2			2 (30)	
		心理的アセスメントⅠ※			2		2 (30)	
		心理的アセスメントⅡ※			2		2 (60)	
		心理療法Ⅰ			2		2 (30)	
		心理療法Ⅱ			2		2 (30)	
		心理療法演習			2		2 (60)	
		教育・学校心理学※			2		2 (30)	
		福祉心理学※			2		2 (30)	
		司法・犯罪心理学※			2		2 (30)	
		産業・組織心理学※				2	2 (30)	
		心理実習Ⅰ※		1			1 (30)	
		心理実習Ⅱ※			1		1 (30)	
		心理実習Ⅲ※				1	1 (30)	

医療福祉学科 臨床心理学専攻

授業科目の名称		開講年次				単位数(時間数)		備考	
		1	2	3	4	必修	選択		
専門分野	医療福祉	関係行政論Ⅰ(社会保障)※		2			2 (30)	専門分野の 選択科目から 6単位以上を 修得すること	
		関係行政論Ⅱ(児童・家庭福祉制度)※		2			2 (30)		
		権利擁護と成年後見制度				2			2 (30)
		関係行政論Ⅲ(教育原理)※		2			2 (30)		
		関係行政論Ⅳ(更生保護制度)※				2	2 (30)		
		就労支援サービス				2			2 (30)
	総合	心理演習Ⅰ※			1		1 (30)		
		心理演習Ⅱ※			1		1 (30)		
		卒業研究				6	6 (270)		
	専門分野計		0	13	21	15	39 (630)		10 (120)
合計		66	38	40	18	92 (1545)	70 (1185)		

*1 自然科学の基礎

※公認心理師養成科目

卒業必要単位数

基礎分野		専門基礎分野		専門分野		合計		総合計
必修	選択	必修	選択	必修	選択	必修	選択	
11	12	42	16	39	6	92	34	126以上

<参考>

公認心理師国家試験受験資格を得るために必要な科目と本学履修科目との対比表

公認心理師法 第7条第1号及び第2号に定める大学に関する規定の指定基準と本学履修科目との対比について

指定科目	左に対応して開設されている科目	単位	時間数
公認心理師の職責	公認心理師の職責	2	30
心理学概論	心理学概論	2	30
臨床心理学概論	臨床心理学概論	2	30
心理学研究法	心理学研究法	2	30
心理学統計法	心理学統計法	2	30
心理学実験	心理学実験	2	60
知覚・認知心理学	知覚・認知心理学	2	30
学習・言語心理学	学習・言語心理学	2	30
感情・人格心理学	感情・人格心理学Ⅰ	2	30
	感情・人格心理学Ⅱ	2	30
神経・生理心理学	神経・生理心理学	2	30
社会・集団・家族心理学	社会・集団・家族心理学Ⅰ	2	30
	社会・集団・家族心理学Ⅱ	2	30
発達心理学	発達心理学Ⅰ	2	30
	発達心理学Ⅱ	2	30
障害者・障害児心理学	障害者・障害児心理学	2	30
心理的アセスメント	心理的アセスメントⅠ	2	30
	心理的アセスメントⅡ	2	60
心理学的支援法	心理学的支援法	2	30
健康・医療心理学	健康・医療心理学	2	30
福祉心理学	福祉心理学	2	30
教育・学校心理学	教育・学校心理学	2	30
司法・犯罪心理学	司法・犯罪心理学	2	30
産業・組織心理学	産業・組織心理学	2	30
人体の構造と機能及び疾病	人体の構造と機能及び疾病	2	30
精神疾患とその治療	精神疾患とその治療Ⅰ	2	30
	精神疾患とその治療Ⅱ	2	30
関係行政論	関係行政論Ⅰ(社会保障)	2	30
	関係行政論Ⅱ(児童・家庭福祉制度)	2	30
	関係行政論Ⅲ(教育原理)	2	30
	関係行政論Ⅳ(更生保護制度)	2	30
心理演習	心理演習Ⅰ	1	30
	心理演習Ⅱ	1	30
心理実習(80時間以上)	心理実習Ⅰ	1	30
	心理実習Ⅱ	1	30
	心理実習Ⅲ	1	30

〈参考〉

認定心理士単位認定基準(平成30年度入学生 臨床心理学専攻)

この単位認定基準は、2014年度改訂版日本心理学会認定心理士資格細則別表に準拠

【2018年度以降入学生用カリキュラム】資格取得に必要な科目および単位と本学履修科目との対比について

指定領域	単位	左に対応して開設されている科目	単位	時間数	修得条件	
① 基礎科目	a 心理学概論(基本主題)	心理学概論	2	30	4単位以上修得すること (基本主題を 2単位以上含むこと)	
		臨床心理学の基礎	1(※)	30		
	a 心理学概論(副次主題)	臨床心理学概論	1(※)	30		
		感情・人格心理学Ⅱ	1(※)	30		
	b 心理学研究法(基本主題)	心理学研究法	2	30	8単位以上修得すること (最低4単位分は c心理学実験・実習の 単位であること)	
		心理学統計法	2	30		
		心理検査法	2	30		
	c 心理学実験・実習(基本主題)	心理学実験	2	60		
		心理的アセスメントⅡ	2	60		
	c 心理学実験・実習(副次主題)	心理療法演習	1(※)	60		
		心理実習Ⅰ	0.5(※)	30		
		心理実習Ⅱ	0.5(※)	30		
		心理実習Ⅲ	0.5(※)	30		
心理演習Ⅰ		0.5(※)	30			
		心理演習Ⅱ	0.5(※)	30		
上記3領域の合計12単位以上						
② 選択科目	d 知覚心理学・学習心理学(基本主題)	知覚・認知心理学	2	30	4単位以上修得すること	
		学習・言語心理学	2	30		
		感情・人格心理学Ⅰ	2	30		
	e 生理心理学・比較心理学(基本主題)	4	神経・生理心理学	2	30	
	f 教育心理学・発達心理学(基本主題)	発達心理学Ⅰ*	2	30	4単位以上修得すること	
		発達心理学Ⅱ	2	30		
		教育・学校心理学	2	30		
	g 臨床心理学・人格心理学(基本主題)	障害者・障害児心理学	2	30	4単位以上修得すること (基本主題を 2単位以上含むこと)	
		心理的アセスメントⅠ	2	30		
		心理学的支援法	2	30		
		健康・医療心理学	2	30		
		福祉心理学	2	30		
	g 臨床心理学・人格心理学(副次主題)	精神疾患とその治療Ⅰ	1(※)	30		
精神疾患とその治療Ⅱ		1(※)	30			
h 社会心理学・産業心理学(基本主題)	社会・集団・家族心理学Ⅰ	2	30	4単位以上修得すること		
	社会・集団・家族心理学Ⅱ	2	30			
	司法・犯罪心理学(or g基**)	2	30			
	産業・組織心理学	2	30			
上記3領域の12単位以上(必ず基本主題を含むこと)、5領域で合計16単位以上						
③	i 心理学関連科目、卒業研究	卒業研究	6	270		
(①と②の合計単位数が36単位以上の場合、③は不要)						
修得条件及び卒業研究を含め、上記科目より 総計36単位以上 修得すること。						
※副次主題は原則として修得単位数の2分の1が認定の対象となる						

*各講義の概論講義に相当する科目をa領域の副次科目で申請可能。ただし最終的な判断は科目内容で行う。

**本人の申請によりg基本主題で申請可能。ただし最終的な判断は科目内容で行う。

本表は日本心理学会作成「公認心理師省令科目の認定心理士科目各領域への対応(案)」を元に作成した。

鍼灸サイエンス学科

授業科目の名称		開講年次				単位数(時間数)		備考
		1	2	3	4	必修	選択	
基礎分野	基礎知識 医療人の	いのちの倫理学	1				1 (15)	選択科目から 2単位以上を 修得すること
		医療の倫理学	1				1 (15)	
		医学の基礎入門	1				1 (15)	
		臨床医学への招待	1				1 (15)	
		医療・福祉の変遷と制度	1				1 (15)	
		人々の生活と医療	1				1 (15)	
	技能と資質 医療人の	医療人底力実践Ⅰ(学科プログラム)	1				1 (30)	選択科目から 6単位以上を 修得すること
		医療人底力実践Ⅱ(体験プログラム)	1				1 (30)	
		医療人底力実践Ⅲ(発展プログラム)	1				1 (30)	
	多職種連携 教育	多職種連携の基礎		1			1 (30)	
		事例で学ぶ多職種連携			1		1 (30)	
		実践で学ぶ多職種連携				1	1 (30)	
		慢性疼痛で学ぶチーム医療(基礎)	1				1 (30)	
		慢性疼痛で学ぶチーム医療(実践)		1			1 (30)	
	医療人底力教育 医療人の 教養と常識	医学医療最近の進歩	1				1 (15)	
		食と健康	1				1 (15)	
		医療における安全と安心	1				1 (15)	
		東洋医学と統合医療	1				1 (15)	
		現代医療と看護・介護	1				1 (15)	
		薬の役割・薬のできるまで	1				1 (15)	
		情報時代と医療	1				1 (15)	
		医療とコミュニケーション	1				1 (15)	
	健康科学	スポーツと健康	1				1 (15)	
		スポーツの科学	1				1 (15)	
		スポーツ科学実習		1			1 (30)	
	人間と生活 人間と文化と社会	哲学と死生観	1				1 (15)	
		病と文化	1				1 (15)	
		人類の疾病と医療	1				1 (15)	
		心と医療	1				1 (15)	
		法と医療	1				1 (15)	
		経済と医療	1				1 (15)	
		医療・福祉と財政	1				1 (15)	
社会病理と人の病		1				1 (15)		
コミュニケーション 言葉と		英語Ⅰ	1				1 (30)	
		英語Ⅱ	1				1 (30)	
	医療英語の基礎A		1			1 (30)		
	医療英語の基礎B		1			1 (30)		
	英語コミュニケーションA	1				1 (30)		
	英語コミュニケーションB	1				1 (30)		
	中国語Ⅰ	1				1 (30)		
中国語Ⅱ	1				1 (30)			
科学的思考の基盤	数学の世界	1				1 (15)		
	物理学の世界	1				1 (15)		
	化学の世界	1				1 (15)		
	生物学の世界	1				1 (15)		
	統計学の初歩	1				1 (15)		
	環境科学	1				1 (15)		
	地球科学・宇宙科学	1				1 (15)		
	科学史・科学哲学	1				1 (15)		
※1	情報リテラシー	2				2 (30)		
基礎分野計		44	5	1	1	13 (285)	38 (735)	

鍼灸サイエンス学科

授業科目の名称			開講年次				単位数(時間数)		備考
			1	2	3	4	必修	選択	
専門基礎分野	人体の構造と機能及び疾病の成り立ち	解剖生理学基礎	2				2 (30)		
		解剖生理学Ⅰ	2				2 (30)		
		解剖生理学Ⅱ		2			2 (30)		
		解剖生理学Ⅲ		2			2 (30)		
		解剖生理学Ⅳ		2			2 (30)		
		解剖生理学Ⅴ		2			2 (30)		
		解剖生理学Ⅵ		2			2 (30)		
	疾病の成り立ちと予防及び回復の促進	病理学		2			2 (30)		
		衛生学・公衆衛生学Ⅰ	2				2 (30)		
		衛生学・公衆衛生学Ⅱ	2				2 (30)		
		内科学Ⅰ			2		2 (30)		
		内科学Ⅱ			2		2 (30)		
		内科学Ⅲ			2		2 (30)		
		内科学Ⅳ				2	2 (30)		
		臨床感染・免疫学				1	1 (15)		
		整形外科学概論			2		2 (30)		
		整形外科学各論			2		2 (30)		
	リハビリテーション医学			2		2 (30)			
	※2	鍼灸への誘い	2				2 (60)		
		医事法学			1		1 (15)		
専門基礎分野計			10	12	13	3	38 (600)	0 (0)	
専門分野	基礎はり学・基礎きゆう学	東洋医学基礎理論Ⅰ	2				2 (30)		
		東洋医学基礎理論Ⅱ	2				2 (30)		
		鍼灸基礎理論Ⅰ			2		2 (30)		
		鍼灸基礎理論Ⅱ			2		2 (30)		
	臨床はり学・臨床きゆう学	スポーツ鍼灸学☆1		2			2 (30)		
		健康・美容鍼灸学		2			2 (30)		
		外科系鍼灸治療学Ⅰ			2		2 (30)		
		外科系鍼灸治療学Ⅱ			2		2 (30)		
		外科系鍼灸治療学Ⅲ			2		2 (30)		
		内科系鍼灸治療学Ⅰ			2		2 (30)		
		内科系鍼灸治療学Ⅱ			2		2 (30)		
		内科系鍼灸治療学Ⅲ			2		2 (30)		
	鍼灸症候鑑別診断学		2			2 (30)			
※3	社会鍼灸学		2			2 (30)			

鍼灸サイエンス学科

授業科目の名称		開講年次				単位数(時間数)		備考
		1	2	3	4	必修	選択	
実習	鍼灸技術学入門	2				2 (60)		
	鍼灸基礎技術学Ⅰ		2			2 (60)		
	鍼灸基礎技術学Ⅱ		2			2 (60)		
	鍼灸臨床技術学Ⅰ			2		2 (60)		
	鍼灸臨床技術学Ⅱ				1	1 (30)		
	東洋医学診察診断法			1		1 (30)		
	臨床生理学実習			1		1 (30)		
	取穴実習Ⅰ		2			2 (60)		
	取穴実習Ⅱ		2			2 (60)		
	臨床実習Ⅰ		1			1 (45)		
	臨床実習Ⅱ			1		1 (45)		
	臨床実習Ⅲ				2	2 (90)		
	専門分野	総合領域	医療福祉概論		2			
生化学				2			2 (30)	
基礎栄養学				1			1 (15)	
臨床栄養学				1			1 (15)	
食品学				1			1 (15)	
薬膳学					2		2 (30)	
生薬学					2		2 (30)	
薬理学					2		2 (30)	
物理療法学					2		2 (30)	
医学英語					2		2 (30)	
触察法				2			2 (30)	
鍼灸古典文献学					1		1 (15)	
総合鍼灸学Ⅰ					1		1 (30)	
総合鍼灸学Ⅱ				1		1 (30)		
総合鍼灸学Ⅲ					3	3 (90)		
総合鍼灸学Ⅳ					3	3 (90)		
鍼灸総合研究Ⅰ			2			2 (60)		
鍼灸総合研究Ⅱ				3		3 (90)		
鍼灸総合研究Ⅲ					2	2 (60)		
フィットネス・スポーツ特論Ⅰ☆1		2					2 (30)	
フィットネス・スポーツ特論Ⅱ☆1		2					2 (30)	
フィットネス・スポーツ特論Ⅲ☆1			2				2 (30)	
フィットネス・スポーツ特論Ⅳ☆1				2			2 (30)	
フィットネス・スポーツ特論Ⅴ☆1			1			1 (15)		
東洋医学・鍼灸学特論Ⅰ☆2	2					2 (30)		
東洋医学・鍼灸学特論Ⅱ☆2	2					2 (30)		
東洋医学・鍼灸学特論Ⅲ☆2		2				2 (30)		
専門分野計	14	32	40	11	65 (1545)	32 (480)		
合計	68	49	54	15	116 (2430)	70 (1215)		

- ☆1 スポーツトレーナーの受験資格を得るための科目
鍼灸・スポーツトレーナー学専攻は必ず履修し単位を修得すること。
- ☆2 鍼灸学専攻は必ず履修し単位を修得すること。
- ※1 自然科学の基礎
- ※2 保健医療福祉とほり及びきゆうの理念
- ※3 社会はり学・きゆう学

卒業必要単位数

基礎分野		専門基礎分野	専門分野		合計		総合計
必修	選択	必修	必修	選択	必修	選択	
13	12	38	65	6	116	18	134以上

臨床工学科

授業科目の名称		開講年次				単位数(時間数)		備考	
		1	2	3	4	必修	選択		
基礎分野	医療人の基礎知識	いのちの倫理学	1				1 (15)	選択科目から2単位以上を修得すること	
		医療の倫理学	1				1 (15)		
		医学の基礎入門	1				1 (15)		
		臨床医学への招待	1				1 (15)		
		医療・福祉の変遷と制度	1				1 (15)		
		人々の生活と医療	1				1 (15)		
	医療人の技能と資質	医療人底力実践Ⅰ(学科プログラム)	1				1 (30)	選択科目から6単位以上を修得すること	
		医療人底力実践Ⅱ(体験プログラム)	1				1 (30)		
		医療人底力実践Ⅲ(発展プログラム)	1				1 (30)		
	医療人底力教育	多職種連携	多職種連携の基礎		1				1 (30)
			事例で学ぶ多職種連携			1			1 (30)
			実践で学ぶ多職種連携				1		1 (30)
			慢性疼痛で学ぶチーム医療(基礎)	1					1 (30)
			慢性疼痛で学ぶチーム医療(実践)		1				1 (30)
	医療人の教養と常識	医学医療最近の進歩	1				1 (15)		
		食と健康	1				1 (15)		
		医療における安全と安心	1				1 (15)		
		東洋医学と統合医療	1				1 (15)		
		現代医療と看護・介護	1				1 (15)		
		薬の役割・薬のできるまで	1				1 (15)		
		情報時代と医療	1				1 (15)		
		医療とコミュニケーション	1				1 (15)		
	科学	スポーツと健康	1				1 (15)		
		スポーツの科学	1				1 (15)		
		スポーツ科学実習	1				1 (30)		
	人間と生活	人間と文化と社会	哲学と死生観	1					1 (15)
			病と文化	1					1 (15)
			人類の疾病と医療	1					1 (15)
			心と医療	1					1 (15)
			法と医療	1					1 (15)
経済と医療			1				1 (15)		
医療・福祉と財政			1				1 (15)		
社会病理と人の病			1				1 (15)		
言葉とコミュニケーション	英語Ⅰ	1				1 (30)			
	英語Ⅱ	1				1 (30)			
	英語コミュニケーションA	1				1 (30)			
	英語コミュニケーションB	1				1 (30)			
科学的思考の基礎	自然科学の基礎	数学Ⅰ	2				2 (30)		
		数学Ⅱ	2				2 (30)		
		生物学Ⅰ	2				2 (30)		
		生物学Ⅱ	2				2 (30)		
		情報リテラシー	2				2 (30)		
基礎分野計		43	2	1	1	18 (405)	29 (495)		

臨床工学科

授業科目の名称		開講年次				単位数(時間数)		備考
		1	2	3	4	必修	選択	
専門基礎分野	人体の構造及び機能	解剖学Ⅰ	2				2 (30)	
		解剖学Ⅱ	2				2 (30)	
		生理学Ⅰ	2				2 (30)	
		生理学Ⅱ	2				2 (30)	
		生化学		2			2 (30)	
		基礎医学実習		1			1 (45)	
	臨床工学に必要 な医学的基礎	臨床工学と医学概論		1			1 (15)	
		臨床工学と公衆衛生学		1			1 (15)	
		病理学		2			2 (30)	
		感染免疫学			2		2 (30)	
		実用薬学			2		2 (30)	
		医学英語Ⅰ	1				1 (30)	
		医学英語Ⅱ	1				1 (30)	
	臨床工学に必要 な理工学的基礎	医用物理学Ⅰ	2				2 (30)	
		医用物理学Ⅱ	2				2 (30)	
		医用化学Ⅰ	2				2 (30)	
		医用化学Ⅱ	2				2 (30)	
		電気工学Ⅰ	2				2 (30)	
		電気工学Ⅱ		2			2 (30)	
		電気工学Ⅲ		2			2 (30)	
		電気工学演習Ⅰ	1				1 (30)	
		電気工学演習Ⅱ		1			1 (30)	
		電気工学演習Ⅲ		1			1 (30)	
		電気工学実験		1			1 (45)	
		電子工学Ⅰ		2			2 (30)	
		電子工学Ⅱ			2		2 (30)	
		電子工学演習		1			1 (30)	
		電子工学実験			1		1 (45)	
		機械工学			2		2 (30)	
	物性工学			2		2 (30)		
	臨床工学に必要 なシステム工学の基礎	応用数学	2				2 (30)	
		応用数学演習		1			1 (30)	
		情報処理工学		2			2 (30)	
		情報処理工学演習		1			1 (30)	
統計学基礎			2			2 (30)		
システム工学				2		2 (30)		
専門基礎分野計		23	23	13	0	59 (1095)		
専門分野	医用生体工学	臨床工学概論	2				2 (30)	
		臨床工学演習		1			1 (30)	
		医用材料工学			2		2 (30)	
		画像診断学			2		2 (30)	
		画像診断学実習			1		1 (45)	
		臨床工学特別講義Ⅰ			2		2 (30)	
		臨床工学特別講義Ⅱ			2		2 (30)	
		臨床工学特別講義Ⅲ			2		2 (30)	
		臨床工学特別講義Ⅳ			2		2 (30)	
		臨床工学特別講義Ⅴ			2		2 (30)	
		臨床工学特別演習Ⅰ				1	1 (30)	
		臨床工学特別演習Ⅱ				1	1 (30)	
		臨床工学特別演習Ⅲ				1	1 (30)	
		臨床工学特別演習Ⅳ				1	1 (30)	
		臨床工学特別演習Ⅴ				1	1 (30)	

臨床工学科

授業科目の名称		開講年次				単位数(時間数)		備考
		1	2	3	4	必修	選択	
専門分野	医用機器学	生体計測装置学		2			2 (30)	
		生体計測装置学演習		1			1 (30)	
		生体計測装置学実習		1			1 (45)	
		医用治療機器学Ⅰ			2		2 (30)	
		医用治療機器学Ⅱ			2		2 (30)	
		医用治療機器学演習			1		1 (30)	
		医用治療機器学実習			1		1 (45)	
	生体機能代行技術学	生体機能代行装置学Ⅰ		2			2 (30)	
		生体機能代行装置学Ⅱ		2			2 (30)	
		生体機能代行装置学Ⅲ			2		2 (30)	
		生体機能代行装置学演習Ⅰ		1			1 (30)	
		生体機能代行装置学演習Ⅱ			1		1 (30)	
		生体機能代行装置学演習Ⅲ			1		1 (30)	
		生体機能代行装置学演習Ⅳ				1	1 (30)	
		生体機能代行装置学実習Ⅰ			1		1 (45)	
		生体機能代行装置学実習Ⅱ			1		1 (45)	
		生体機能代行装置学実習Ⅲ				1	1 (45)	
	医用安全管理学	医用機器安全管理学Ⅰ		2			2 (30)	
		医用機器安全管理学Ⅱ			2		2 (30)	
		医用機器安全管理学実習			1		1 (45)	
	関連臨床医学	臨床循環器	2				2 (30)	
		臨床工学と循環器		2			2 (30)	
		臨床呼吸器・腎泌尿器		2			2 (30)	
		臨床消化器・神経内科			2		2 (30)	
		看護学		2			2 (30)	
	臨床実習	臨床実習				4	4 (180)	
	卒業研究				4	4 (180)		
	専門分野計		4	18	32	15	53 (1320)	16 (345)
	合計		70	43	46	16	130 (2820)	45 (840)

卒業必要単位数

基礎分野		専門基礎分野	専門分野	合計		総合計
必修	選択	必修	必修	必修	選択	
18	8	59	53	130	8	138以上

医用情報工学科

授業科目の名称		開講年次				単位数(時間数)		備考	
		1	2	3	4	必修	選択		
基礎分野	医療人の基礎知識	いのちの倫理学	1				1 (15)	選択科目から2単位以上を修得すること	
		医療の倫理学	1				1 (15)		
		医学の基礎入門	1				1 (15)		
		臨床医学への招待	1				1 (15)		
		医療・福祉の変遷と制度	1				1 (15)		
		人々の生活と医療	1				1 (15)		
	医療人の技能と資質	医療人底力実践Ⅰ(学科プログラム)	1				1 (30)	選択科目から6単位以上を修得すること	
		医療人底力実践Ⅱ(体験プログラム)	1				1 (30)		
		医療人底力実践Ⅲ(発展プログラム)	1				1 (30)		
		多職種連携教育	多職種連携の基礎		1				1 (30)
			事例で学ぶ多職種連携			1			1 (30)
			実践で学ぶ多職種連携				1		1 (30)
	慢性疼痛で学ぶチーム医療(基礎)		1				1 (30)		
	慢性疼痛で学ぶチーム医療(実践)			1			1 (30)		
	医療人の教養と常識	医学医療最近の進歩	1				1 (15)		
		食と健康	1				1 (15)		
		医療における安全と安心	1				1 (15)		
		東洋医学と統合医療	1				1 (15)		
		現代医療と看護・介護	1				1 (15)		
		薬の役割・薬のできるまで	1				1 (15)		
		情報時代と医療	1				1 (15)		
		医療とコミュニケーション	1				1 (15)		
	科学健康	スポーツと健康	1				1 (15)		
		スポーツの科学	1				1 (15)		
		スポーツ科学実習	1				1 (30)		
	人間と生活	人間と文化と社会	哲学と死生観	1					1 (15)
			病と文化	1					1 (15)
			人類の疾病と医療	1					1 (15)
			心と医療	1					1 (15)
			法と医療	1					1 (15)
			経済と医療	1					1 (15)
			医療・福祉と財政	1					1 (15)
			社会病理と人の病	1					1 (15)
コミュニケーション		英語Ⅰ	1				1 (30)		
		英語Ⅱ	1				1 (30)		
		医療英語の基礎A		1			1 (30)		
		医療英語の基礎B		1			1 (30)		
		英語コミュニケーションA	1				1 (30)		
		英語コミュニケーションB	1				1 (30)		
科学的思考の基盤	への誘い 自然科学	統計学の初歩	1				1 (15)		
		環境科学	1				1 (15)		
		地球科学・宇宙科学	1				1 (15)		
		科学史・科学哲学	1				1 (15)		
	自然科学の基礎	数学Ⅰ	2				2 (30)		
		数学Ⅱ	2				2 (30)		
		物理学Ⅰ	2				2 (30)		
		物理学Ⅱ	2				2 (30)		
		化学Ⅰ	2				2 (30)		
		化学Ⅱ	2				2 (30)		
生物学Ⅰ	2				2 (30)				
生物学Ⅱ	2				2 (30)				
基礎分野計		55	4	1	1	12 (285)	49 (885)		

医用情報工学科

授業科目の名称		開講年次				単位数(時間数)		備考
		1	2	3	4	必修	選択	
導入教育	フレッシュマンセミナーⅠ	1				1 (30)		専門分野の 選択科目から 24単位以上を 修得すること
	フレッシュマンセミナーⅡ	1					1 (30)	
	情報リテラシー	2				2 (30)		
情報処理技術系	コンピュータ科学基礎	2				2 (30)		
	コンピュータ科学基礎実習	1					1 (30)	
	インターネット基礎	2				2 (30)		
	情報基礎理論		2			2 (30)		
	データベース基礎		2			2 (30)		
	情報処理技術論Ⅰ		2				2 (30)	
	情報処理技術論Ⅱ		2				2 (30)	
	情報処理技術論Ⅲ			2			2 (30)	
	情報処理技術論Ⅳ			2			2 (30)	
	プログラミング概論	2				2 (30)		
	プログラミング基礎Ⅰ		2			2 (30)		
	プログラミング基礎Ⅱ		2			2 (30)		
	プログラミング応用Ⅰ		2				2 (30)	
	プログラミング応用Ⅱ		2				2 (30)	
	データベース設計Ⅰ		2				2 (30)	
	データベース設計Ⅱ			2			2 (30)	
	デジタルシステム工学			2			2 (30)	
	デジタルシステム工学演習			1			1 (30)	
	情報ネットワーク			2			2 (30)	
	専門分野	医療概論	※	2			2 (30)	
人体構造・機能論		※	2			2 (30)		
臨床医学総論		※		2		2 (30)		
臨床医学Ⅰ		※		2		2 (30)		
臨床医学Ⅱ		※		2		2 (30)		
臨床医学Ⅲ		※		2		2 (30)		
臨床医学Ⅳ		※		2		2 (30)		
臨床医学Ⅴ		※		2		2 (30)		
臨床医学Ⅵ		※		2		2 (30)		
医学・医療系		医療管理論Ⅰ	※	2			2 (30)	
		医療管理論Ⅱ	※		2		2 (30)	
		診療情報管理論	※		2		2 (30)	
		診療情報分類法総論	※		2		2 (30)	
		診療情報分類法Ⅰ(演習)	※			1	1 (30)	
		診療情報分類法Ⅱ(演習)	※			1	1 (30)	
		医療事務総論		2			2 (30)	
		診療報酬請求事務総論			2		2 (30)	
		診療報酬請求事務論Ⅰ(演習)			1		1 (30)	
		診療報酬請求事務論Ⅱ(演習)			1			1 (30)
レセプトシステム概論(演習)				1			1 (30)	
診療情報管理セミナーⅠ				1		1 (30)		
診療情報管理セミナーⅡ				1		1 (30)		
医療安全管理論				2		2 (30)		

医用情報工学科

授業科目の名称		開講年次				単位数(時間数)		備考	
		1	2	3	4	必修	選択		
専門分野	医療情報系	医療情報学概論 ※	2				2 (30)	専門分野の 選択科目から 24単位以上を 修得すること	
		医療統計学 ※		2			2 (30)		
		医療統計学演習		1					1 (30)
		医療情報システム論 I		2			2 (30)		
		医療情報システム論 II			2		2 (30)		
		医療情報技師セミナー I			1				1 (30)
		医療情報技師セミナー II			1				1 (30)
		Web基礎		2					2 (30)
		Webプログラミング I			2				2 (30)
		Webプログラミング II			2				2 (30)
		医療情報システム実習 I			1		1 (30)		
		医療情報システム実習 II			1		1 (30)		
		応用情報数学			2				2 (30)
		データ構造とアルゴリズム			2				2 (30)
		数値解析				2			2 (30)
		医療情報科学論				2	2 (30)		
		医療経営入門				2			2 (30)
		画像情報処理				2			2 (30)
		マルチメディア工学				2			2 (30)
		1年生医療情報セミナー	1				1 (30)		
		2年生医療情報セミナー I		1			1 (30)		
		2年生医療情報セミナー II		1			1 (30)		
		3年生医療情報セミナー I			1		1 (30)		
		3年生医療情報セミナー II			1				1 (30)
		病院実習			2				2 (90)
		卒業研究 I			2		2 (60)		
卒業研究 II				4	4 (120)				
専門分野計		22	52	35	16	72 (1320)	53 (1020)		
合計		77	56	36	17	84 (1605)	102 (1905)		

※ 履修モデル別選択必須科目

卒業必要単位数

基礎分野		専門分野		合計		総合計
必修	選択	必修	選択	必修	選択	
12	18	72	24	84	42	126以上

薬学科

授業科目の名称		開講年次						単位数(時間数)		備考	
		1	2	3	4	5	6	必修	選択		
基礎分野	医療人の基礎知識	いのちの倫理学	1						1 (15)		選択科目から2単位以上を修得すること
		医療の倫理学	1							1 (15)	
		医学の基礎入門	1						1 (15)		
		臨床医学への招待	1							1 (15)	
		医療・福祉の変遷と制度	1						1 (15)		
		人々の生活と医療	1							1 (15)	
	医療人の技能と資質	医療人底力実践Ⅰ(学科プログラム)	1						1 (30)		選択科目から8単位以上を修得すること
		医療人底力実践Ⅱ(体験プログラム)	1						1 (30)		
		医療人底力実践Ⅲ(発展プログラム)	1						1 (30)		
	多職種連携教育	多職種連携の基礎		1					1 (30)		
		事例で学ぶ多職種連携			1					1 (30)	
		実践で学ぶ多職種連携				1				1 (30)	
		慢性疼痛で学ぶチーム医療(基礎)	1							1 (30)	
		慢性疼痛で学ぶチーム医療(実践)		1						1 (30)	
	シロイソダクト	薬学への招待	2						2 (30)		
		基礎薬学演習	1						1 (30)		
	医療人の教養と常識	医学医療最近の進歩	1							1 (15)	
		食と健康	1							1 (15)	
		医療における安全と安心	1						1 (15)		
		東洋医学と統合医療	1							1 (15)	
		現代医療と看護・介護	1							1 (15)	
		薬の役割・薬のできるまで	1							1 (15)	
		情報時代と医療	1							1 (15)	
		医療とコミュニケーション	1						1 (15)		
	健康科学	スポーツと健康	1						1 (15)		
		スポーツの科学	1						1 (15)		
		スポーツ科学実習	1						1 (30)		
	人間と文化と社会	心と医療	1						1 (15)		
		哲学と死生観	1							1 (15)	
		病と文化	1							1 (15)	
人類の疾病と医療		1							1 (15)		
法と医療		1							1 (15)		
経済と医療		1							1 (15)		
医療・福祉と財政		1							1 (15)		
社会病理と人の病		1							1 (15)		
コミュニケーション	英語Ⅰ	1						1 (30)			
	英語Ⅱ	1						1 (30)			
	医療英語の基礎A		1					1 (30)			
	医療英語の基礎B		1					1 (30)			
	英語コミュニケーションA	1							1 (30)		
	英語コミュニケーションB	1							1 (30)		
	中国語Ⅰ	1							1 (30)		
	中国語Ⅱ	1							1 (30)		
自然科学の基礎	数学Ⅰ	2						2 (30)			
	数学Ⅱ	2						2 (30)			
	物理学	2						2 (30)			
	情報リテラシー	2						2 (30)			
基礎分野計		46	4	1	1	0	0	28 (570)	24 (480)		

薬学科

授業科目の名称		開講年次						単位数(時間数)		備考	
		1	2	3	4	5	6	必修	選択		
専門基礎分野	医学概論	2						2 (30)		専門基礎分野・専門分野の選択科目から14単位以上を修得すること	
	基礎物理化学	2							2 (30)		
	基礎化学	2						2 (30)			
	基礎生物学	2							2 (30)		
	薬学英語			1				1 (24)			
専門基礎分野計		8	0	1	0	0	0	5 (84)	4 (60)		
専門分野	物理系薬学	物理化学	1						1 (24)		専門基礎分野・専門分野の選択科目から14単位以上を修得すること
		薬剤物理化学		1					1 (24)		
		分析化学		1					1 (24)		
		機器分析学		1					1 (24)		
		化学構造解析学			1				1 (24)		
		放射薬品学			1				1 (24)		
		臨床分析技術学				1			1 (24)		
		物理系薬学実習 I		2					2 (60)		
	物理系薬学実習 II		2					2 (60)			
	化学系薬学	有機化学 I	1						1 (24)		
		有機化学 II		1					1 (24)		
		生物有機化学			1				1 (24)		
		薬品化学			1				1 (24)		
		天然物化学		1					1 (24)		
		薬用植物学		1					1 (24)		
		生薬学・漢方薬学			1				1 (24)		
		化学系薬学実習 I		2					2 (60)		
	化学系薬学実習 II		2					2 (60)			
	生物系薬学	人体構造機能学 I	1						1 (24)		
		人体構造機能学 II		1					1 (24)		
		生化学 I		1					1 (24)		
		生化学 II		1					1 (24)		
		分子生物学		1					1 (24)		
		生理学		1					1 (24)		
		免疫学		1					1 (24)		
		微生物学		1					1 (24)		
		分子細胞生物学			1				1 (24)		
		生物系薬学実習 I			2				2 (60)		
	生物系薬学実習 II			2				2 (60)			
	衛生薬学	薬害・副作用学			1				1 (15)		
		公衆衛生学			1				1 (24)		
		疫学			1				1 (24)		
		衛生化学			1				1 (24)		
食品衛生学				1				1 (24)			
栄養学				1					1 (24)		
環境衛生学					1			1 (24)			
分子毒性学					1				1 (24)		
衛生薬学実習 I				2				2 (60)			
衛生薬学実習 II				2				2 (60)			

薬学科

授業科目の名称		開講年次						単位数(時間数)		備考	
		1	2	3	4	5	6	必修	選択		
専門分野	薬理・動態学	薬理学総論		1					1 (24)		専門基礎分野・専門分野の選択科目から14単位以上を修得すること
		末梢神経薬理学		1					1 (24)		
		中枢神経薬理学			1				1 (24)		
		化学療法学			1				1 (24)		
		免疫制御薬学			1				1 (24)		
		薬物動態学Ⅰ				1			1 (24)		
		薬物動態学Ⅱ				1			1 (24)		
		薬理・動態学実習Ⅰ				2			2 (60)		
		薬理・動態学実習Ⅱ				2			2 (60)		
	病態・治療学	循環器・血液病態治療学			1				1 (24)		
		腎臓・生殖器病態治療学			1				1 (24)		
		代謝・内分泌病態治療学			1				1 (24)		
		呼吸・消化器病態治療学			1				1 (24)		
		臨床薬理学			1				1 (24)		
		感染症学			1				1 (15)		
		腫瘍薬学				1			1 (24)		
		神経病態治療学				1			1 (24)		
		免疫疾患治療学				1			1 (24)		
	臨床病態学				1			1 (24)			
	薬剤・製剤学	製剤学Ⅰ		1					1 (24)		
		生物統計学		1					1 (15)		
		製剤学Ⅱ			1				1 (24)		
		薬剤学Ⅰ			1				1 (24)		
		薬剤学Ⅱ				1			1 (24)		
		医薬品開発学				1			1 (15)		
		薬剤・製剤学実習Ⅰ				2			2 (60)		
	薬剤・製剤学実習Ⅱ				2			2 (60)			
	臨床薬学	臨床薬学入門		1					1 (24)		
		医薬品情報学		1					1 (24)		
		地域医療論			1				1 (24)		
		セルフメディケーション学			1				1 (15)		
		治験・調剤学			1				1 (24)		
		薬事関連法規				1			1 (24)		
実践処方解析学					1			1 (24)			
事前実習					4			4 (120)			
病院実務実習						10		10 (450)			
薬局実務実習					10		10 (450)				
薬学アドバンスト教育	生体機能解析学					2		2 (30)			
	薬品製造化学					2		2 (30)			
	ゲノム情報応用学					2		2 (30)			
	医薬品・食品安全学					2		2 (30)			
	分子予防薬理学					2		2 (30)			
	慢性疾患薬物治療学					2		2 (30)			
	薬剤設計学					2		2 (30)			
薬局経営学					2		2 (30)				

薬学科

授業科目の名称		開講年次						単位数(時間数)		備考
		1	2	3	4	5	6	必修	選択	
専門分野	特別演習			1				1 (24)		専門基礎分野・専門分野の選択科目から14単位以上を修得すること
	医療薬学演習 I				1			1 (24)		
	医療薬学演習 II				2			2 (60)		
	薬学総合演習						4	4 (120)		
	薬学特別演習 I						4	4 (120)		
	卒業研究					10		10 (300)		
専門分野計		3	27	35	38	20	24	129 (3759)	18 (288)	
合計		57	31	37	39	20	24	162 (4413)	46 (828)	

卒業必要単位数

基礎分野		専門基礎分野	専門分野	専門基礎・専門分野	合計		総合計
必修	選択	必修	必修	選択	必修	選択	
28	12	5	129	14	162	26	188以上

看護学科

授業科目の名称		開講年次				単位数(時間数)		備考	
		1	2	3	4	必修	選択		
基礎分野	医療人の基礎知識	いのちの倫理学	1				1 (15)	選択科目から2単位以上を修得すること	
		医療の倫理学	1				1 (15)		
		医学の基礎入門	1				1 (15)		
		臨床医学への招待	1				1 (15)		
		医療・福祉の変遷と制度	1				1 (15)		
		人々の生活と医療	1				1 (15)		
	医療人底力教育	医療人底力実践	医療人底力実践Ⅰ(学科プログラム)	1				1 (30)	選択科目から6単位以上を修得すること
			医療人底力実践Ⅱ(体験プログラム)	1				1 (30)	
			医療人底力実践Ⅲ(発展プログラム)	1				1 (30)	
		多職種連携	多職種連携の基礎		1			1 (30)	
			事例で学ぶ多職種連携			1		1 (30)	
			実践で学ぶ多職種連携				1	1 (30)	
			慢性疼痛で学ぶチーム医療(基礎)	1				1 (30)	
		医療人の教養と常識	慢性疼痛で学ぶチーム医療(実践)		1			1 (30)	
			医学医療最近の進歩	1				1 (15)	
			食と健康	1				1 (15)	
			医療における安全と安心	1				1 (15)	
			東洋医学と統合医療	1				1 (15)	
	現代医療と看護・介護		1				1 (15)		
	科学健康	薬の役割・薬のできるまで	1				1 (15)		
		情報時代と医療	1				1 (15)		
		医療とコミュニケーション	1				1 (15)		
	人間と生活	スポーツと健康	★	1			1 (15)	選択科目から2単位以上を修得すること	
			★	1			1 (15)		
				1			1 (30)		
		人間と文化と社会	哲学と死生観	1					1 (15)
			病と文化	1					1 (15)
			人類の疾病と医療	1					1 (15)
			心と医療	1					1 (15)
			法と医療	1					1 (15)
			経済と医療	1					1 (15)
	医療・福祉と財政	1				1 (15)			
	社会病理と人の病	1				1 (15)			
憲法	★		2			2 (30)			
科学的思考の基礎	言葉とコミュニケーション	★	1			1 (30)	選択科目から2単位以上を修得すること		
		★	1			1 (30)			
				1		1 (30)			
				1		1 (30)			
			1			1 (30)			
			1			1 (30)			
			1			1 (30)			
			1			1 (30)			
学自然科	(自然科学への誘い)	数学の世界	1				1 (15)	選択科目から2単位以上を修得すること	
		物理学の世界	1				1 (15)		
		化学の世界	1				1 (15)		
		生物学の世界	1				1 (15)		
		統計学の初歩	1				1 (15)		
		環境科学	1				1 (15)		
		生物学Ⅰ	2				2 (30)		
★	2				2 (30)				
情報リテラシー	★	2			2 (30)				
基礎分野計		47	6	1	1	14 (315)	41 (765)		

看護学科

授業科目の名称		開講年次				単位数(時間数)		備考
		1	2	3	4	必修	選択	
専門基礎分野	人体疾病の成り立ちと回復の促進	人体の形態・構造	2				2 (45)	
		人体の機能	2				2 (30)	
		病気の成り立ち	2				2 (30)	
		生化学	2				2 (30)	
		病態と治療Ⅰ		2			2 (30)	
		病態と治療Ⅱ		2			2 (30)	
		病態と治療Ⅲ		2			2 (30)	
		病態と治療Ⅳ		2			2 (30)	
		生涯発達論	1				1 (15)	
		栄養と健康	1				1 (15)	
	健康支援と社会 保健医療福祉と社会	基礎薬理学		1			1 (15)	
		臨床薬理学			1		1 (15)	
		人間関係・家族関係		1			1 (15)	
		保健医療福祉行政論			2		2 (30)	
	保健情報統計学		2			2 (30)		
	公衆衛生・疫学	☆		2		2 (30)		
専門基礎分野計		10	12	5	0	25 (390)	2 (30)	
専門分野	基礎看護領域	看護学概論	2				2 (30)	
		フィジカルアセスメント論		1			1 (30)	
		コミュニケーション論	1				1 (15)	
		看護展開論		1			1 (30)	
		生活援助技術論	3				3 (90)	
		診療援助技術論		3			3 (90)	
		看護体験実習	1				1 (45)	
		基礎看護学実習		2			2 (90)	
	臨床看護領域	成人看護学概論		2			2 (30)	
		急性・リハビリテーション看護援助論			2		2 (45)	
		慢性・緩和ケア看護援助論		2			2 (45)	
		成人看護学急性期実習			3		3 (135)	
		成人看護学慢性期・緩和ケア実習			3		3 (135)	
		小児看護学概論		2			2 (30)	
		小児看護援助論		2			2 (45)	
		小児看護学実習			2		2 (90)	
		母性看護学概論		2			2 (30)	
		母性看護援助論		2			2 (45)	
	母性看護学実習			2		2 (90)		
	広域看護領域	老年看護学概論		2			2 (30)	
		老年看護援助論		2			2 (45)	
		老年看護学実習			3		3 (135)	
		精神看護学概論		2			2 (30)	
		精神看護援助論			2		2 (45)	
		精神看護学実習			2		2 (90)	

看護学科

授業科目の名称		開講年次				単位数(時間数)		備考	
		1	2	3	4	必修	選択		
広域看護領域	在宅看護学概論		2			2 (30)			
	在宅看護援助論			2		2 (45)			
	在宅看護学実習			3		3 (135)			
	公衆衛生看護学概論		2			2 (30)			
	公衆衛生看護管理論 ☆				1		1 (15)		
	公衆衛生看護活動展開論 ☆			3			3 (90)		
	公衆衛生看護学実習 ☆				5		5 (225)		
専門分野	統合領域	看護の統合			2	2 (30)			
		看護倫理学			1	1 (15)			
		統合実習				2	2 (90)		
		看護専門ゼミナール			1		1 (30)		
		卒業論文				2	2 (60)		
		国際看護論			1		1 (15)		
		災害看護論				2	2 (30)		
	看護管理				1	1 (15)			
	統合領域	リハビリテーションと看護			1		1 (15)	選択科目から2単位以上を修得すること	
		終末期患者と家族の看護			1		1 (15)		
		ウイメンズヘルスと看護			1		1 (15)		
		子どもの心とからだの健康			1		1 (15)		
		精神障がい患者と家族の看護			1		1 (15)		
認知症の人と家族の看護				1		1 (15)			
看護とヘルスプロモーション ☆			1		1 (15)				
専門分野計		7	29	37	15	72 (2040)	16 (435)		
合 計		64	47	43	16	111 (2745)	59 (1230)		

★ 保健師資格取得後の養護教諭二種免許申請時に必要な科目

☆ 保健師国家試験受験資格取得に必要な科目

卒業必要単位数

基礎分野		専門基礎分野		専門分野		合 計		総合計
必修	選択	必修	必修	選択	必修	選択		
14	12	25	72	2	111	14	125以上	

〈別表Ⅱ〉成績の基準

- a) 評価は、試験の成績および平常の学習態度等によって行います。ただし、演習、実験・実習等は、平常の学習態度により評価を行う場合があります。
- b) 評価は次のとおりで、秀・優・良・可が合格です。なお他大学での修得済単位の場合は認定になります。

点数	成績表示	判定
100～90	秀	合格
89～80	優	
79～70	良	
69～60	可	
59～0	不可	不合格
他大学等の 単位認定	認	認定

〈別表Ⅲ〉検定料、入学金、授業料等

①検定料

(単位：円)

入試区分	入学検定料
A O 入試	35,000
推薦入試	
一般入試	
センター利用方式	1 学科 15,000
	2 学科 20,000
	3 学科以上一律 25,000
再入学	25,000
編入学	
研究生	10,000
科目等履修生	

(注) 特別聴講学生は免除とする。

②学部入学金・授業料 (年間)

●初年度の学費

(単位：円)

学部	学科・専攻	入学金	授業料	前期授業料	後期授業料	合計	
			(年間)				
保健衛生学部	放射線技術科学科	200,000	1,410,000	705,000	705,000	1,610,000	
	医療栄養学科		管理栄養学専攻	1,050,000	525,000	525,000	1,250,000
			臨床検査学専攻	1,400,000	700,000	700,000	1,600,000
	リハビリテーション学科		理学療法学専攻	1,500,000	750,000	750,000	1,700,000
			作業療法学専攻	1,500,000	750,000	750,000	1,700,000
	医療福祉学科		医療福祉学専攻	950,000	475,000	475,000	1,150,000
			臨床心理学専攻	950,000	475,000	475,000	1,150,000
			鍼灸サイエンス学科	1,200,000	600,000	600,000	1,400,000
医用工学部	臨床工学科	1,400,000	700,000	700,000	1,600,000		
	医用情報工学科	1,050,000	525,000	525,000	1,250,000		
薬学部	薬学科	1,860,000	930,000	930,000	2,060,000		
看護学部	看護学科	1,500,000	750,000	750,000	1,700,000		

● 2年次以降の学費

(単位：円)

学部	学科・専攻	授業料	前期授業料	後期授業料	
		(年間)			
保健衛生学部	放射線技術科学科	1,510,000	755,000	755,000	
	医療栄養学科	管理栄養学専攻	1,350,000	675,000	675,000
		臨床検査学専攻	1,500,000	750,000	750,000
	リハビリテーション学科	理学療法学専攻	1,600,000	800,000	800,000
		作業療法学専攻	1,600,000	800,000	800,000
	医療福祉学科	医療福祉学専攻	1,050,000	525,000	525,000
		臨床心理学専攻	1,050,000	525,000	525,000
	鍼灸サイエンス学科	1,700,000	850,000	850,000	
医用工学部	臨床工学科	1,500,000	750,000	750,000	
	医用情報工学科	1,350,000	675,000	675,000	
薬学部	薬学科	2,040,000	1,020,000	1,020,000	
看護学部	看護学科	1,600,000	800,000	800,000	

- (注) 1. 転入学・編入学・転学部等の入学金、授業料は学費納入規程参照。
2. 再入学者の入学金は 100,000 円とし、授業料は上記と同じ。

③ 研究生・科目等履修生及び特別聴講学生の入学金及び授業料等 (年間)

(単位：円)

区 分	入 学 金	授 業 料	聴 講 料
研 究 生	60,000 (注)1	600,000	—
科 目 等 履 修 生	※30,000 (注)1	—	20,000 (注)2
特 別 聴 講 学 生	—	—	— (注)3

(注) 1. 入学金について、本学卒業生は免除とする。

※科目等履修生の入学金について、本学卒業生以外の者で、公益社団法人日本診療放射線技師会推薦者(同会会員に限る。)は半額免除とする。

(注) 2. 科目等履修生の聴講料は1単位当たりとする。

(注) 3. 特別聴講学生(放送大学)の聴講料は1科目(2単位)当たり11,000円とする。

④ 休学在籍料

(単位：円)

区 分	在 籍 料
半 期	60,000
年 間	120,000

目次

ア) 学則変更（収容定員変更）の内容	・・・ p. 1
イ) 学則変更（収容定員変更）の必要性	・・・ p. 1
ウ) 学則変更（収容定員変更）に伴う教育課程等の変更内容	・・・ p. 2
(ア) 教育課程の変更内容	・・・ p. 2
(イ) 教育方法及び履修指導方法の変更内容	・・・ p. 4
(ウ) 教員組織の変更内容	・・・ p. 5
(エ) 大学全体の施設・設備の変更内容	・・・ p. 5

学則の変更の趣旨等を記載した書類

ア 学則変更（収容定員変更）の内容

鈴鹿医療科学大学看護学部は、入学定員を 80 名（平成 31 年度）から 100 名（令和 2 年度）に変更する。この変更に伴い、大学全体の入学定員は 610 名（平成 31 年度）から 630 名（令和 2 年度）に変更となる。

また、看護学部の収容定員は 320 名（平成 31 年度）から 400 名（令和 2 年度）と変更となり、大学全体の収容定員は 2,640 名（平成 31 年度）から 2,720 名（令和 2 年度）となる（基本計画書添付資料：組織の移行表参照）。

イ 学則変更（収容定員変更）の必要性

本学の看護学部は、平成 26 年 4 月に入学定員 80 名で開設し、4 年後の平成 30 年 3 月に第 1 期生の卒業生 86 名（うち保健師 29 名）を輩出した。看護師国家試験合格率は 96.6% であり、4 年間の看護教育における自己点検評価は概ね計画通り実行でき、成果も上がっていることを確認し、満足いくものであった。平成 31 年度は開設 6 年目を迎え、第 2 期生の看護師国家試験合格率は 98.9% であり、平成 31 年度入試における受験倍率も 2.3 倍と順調に受験者を確保出来ている（資料 1）。また、平成 31 年 4 月から本学大学院医療科学研究科（看護学分野）を開設し、大学院教育を開始している。以上のように順調な経過を辿っており、今後も現在の教育レベルを維持・向上させ安定した組織運営を行ない、社会が求める看護職を育成することを考えている。

一方、第 7 次三重県医療計画によると、平成 28 年度の三重県における看護師数は、人口 10 万人あたり 899.3 人と全国平均 906.0 人を下回っており、准看護師数は、人口 10 万人あたり 281.9 人と全国平均 254.6 人を上回っている（資料 2）。このことは、看護の量・質ともに課題であることを示しているといえる。昨今、医療技術の高度化、高齢患者の増加・重症化、在院日数の短縮化、在宅医療を含む地域包括ケアシステムなどが進む中で、多職種連携の中心的な役割を担う質の高い看護師が求められており、それらに対応していく必要があると考えている。

三重県の看護職員養成（平成 31 年度）においては、4 年制大学が 4 大学、看護師養成所（3 年課程）は 11 校、高等学校専攻科（5 年一貫）1 校で入学定員の合計は 885 名となっている。そのうち 2 大学における入学定員は 100 名であり、他の 2 大学（本学を含む）は 80 名である（資料 3）。近隣の看護系大学数と比較すると、愛知県 15 大学（入学定員 1,450 名）、岐阜県 9 大学（入学定員 740 名）で、三重県 4 大学（入学定員 360 名）となり、人口の割合からみても三重県の大学における看護職員養成は少ない数であることは明白である。（資料 4）。このことから、三重県における看護職員養成を大学教育で行なうことは必須であり、看護の質の担保と向上に繋がることから、これらの状況を鑑み、三重県における質の高い看護職員を養成するために、看護学部の定員数を 80 名から 100 名に増員することが必要である。

ウ 学則変更（収容定員変更）に伴う教育課程等の変更内容

（ア）教育課程の変更内容

収容定員変更を理由としたものではないが、2020年度にカリキュラム改正を行う。2014年4月看護学部設置のために文部科学省へ提出された「設置の趣旨及び必要性」の内容を確認し、その内容を尊重しつつ、看護学科教育理念・目的・目標、アドミッションポリシー・カリキュラムポリシー・ディプロマポリシーを見直した。日本社会の現状と医療を取り巻く環境、三重県における看護専門職者の状況、本学に看護学部を設置する意義、看護学科教育課程編成の特色をふまえ、教育理念・目的・目標および3つのポリシーを新たに作成した。その後、新たな教育理念・目的・目標および3つのポリシーとの整合性をはかりながら、カリキュラム改正を行う。

ディプロマポリシー11項目を修得するための科目を低学年から高学年へ、基礎分野から専門分野へ適切な順序で配置して教育課程を編成する。教育課程編成方針（カリキュラムポリシー）は次の通りである。

- ①医療人底力教育科目を配置し、看護専門職者としての基礎知識・技術・資質・教養を養う。
- ②人が生涯発達し続ける存在であることや人間と環境と健康のつながりを理解する科目を配置し、人を全人的に理解する能力を養う。
- ③「基礎看護」「臨床看護」「広域看護」「統合」の4領域の看護専門科目を配置し、講義・演習・実習を有機的に連動させた教育を行う。
- ④外国語コミュニケーションや国際看護の科目を配置し、多様化する社会のニーズや地域の国際化に対応できる能力を養う。
- ⑤看護倫理の科目を配置し、看護実践の学修を通して高い倫理観を育成する。
- ⑥看護の課題を探究する科目を配置し、知的好奇心を育み、生涯にわたり学び続ける姿勢を形成する。
- ⑦保健・医療・福祉システムや多職種連携・協働を理解する科目を配置し、チーム医療の一員として看護の役割を果たす能力を育成する。
- ⑧学生参加型の主体的・探究的・実践的教育方法を主として、論理的思考力・判断力・表現力やコミュニケーション能力を養う。
- ⑨学力試験・実技試験・総合的な実践力評価等、多様で適切な評価方法を用いて評価する。
- ⑩さまざまな教育段階で、学生の授業評価や教員の自己評価の機会を持ち、教育改善に生かす。

また、本学のディプロマポリシーおよび「看護学教育モデル・コア・カリキュラム」（文部科学省 大学における看護系人材養成の在り方に関する検討会）をふまえたカリキュラム改正の概要は以下のとおりである。

【基礎分野】

- ①「医療人の基礎知識」について、教育効果を期待してクォーター科目を増やした。
「いのちと医療の倫理学」 → 「いのちの倫理学」と「医療の倫理学」

「医学を学ぶための基礎知識」 → 「医学の基礎入門」と「臨床医学への招待」
「社会の中の人と医療」 → 「医療・福祉の変遷と制度」と「人々の生活と医療」
「医療人底力実践（基礎Ⅰ）」と「キャリアプランニング」
→ 「医療人底力実践Ⅰ（学科プログラム）」と「医療人底力実践Ⅱ（体験プログラム）」
「スポーツ健康科学」 → 「スポーツと健康」と「スポーツの科学」

②科目の特性に合わせた分野を設置し、学生に分かりやすい名称に変更するとともに、新設科目を置いた。

「チーム医療Ⅰ」 → 「多職種連携の基礎」
「医療人底力実践（展開）」 → 「事例で学ぶ多職種連携」
「医療人底力実践（応用）」 → 「実践で学ぶ多職種連携」
新設：「慢性疼痛で学ぶチーム医療（基礎）」と「慢性疼痛で学ぶチーム医療（実践）」

③科目配当年次を変更した。

1年次開講の「チーム医療Ⅰ」を「多職種連携の基礎」として2年次に配当することで、医療人の技能と資質を教育する「医療人底力実践Ⅰ」から継続的に4年次まで、多職種連携教育を含めた医療人底力教育の一貫性を確立した。

④卒業要件となる選択科目の範囲を拡張した。

3年次や4年次の選択科目は卒業要件に含まれていなかったが、範囲を広げることで、教育目標である「③思いやりの心を育む ④高い倫理観を持つ ⑤チーム医療に貢献する」に紐づく科目の修得が期待できる。

【専門基礎及び専門分野】

①専門基礎科目における人体の理解や個体内の生命現象の理解を確実に図るために時間数を増やし、看護専門科目の学修や看護実践力育成につなげることを目指した。

「人体の形態・構造」2単位（30時間） → 「人体の形態・構造」2単位（45時間）
「病態と治療Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」計6単位（90時間）
→ 「病態と治療Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ」計8単位（120時間）

②領域別臨地実習科目について3～4年次に学年をまたいで配置していたが、3年次後期に集中して行うことで、看護実践力育成の学修効果を上げるとともに、学年毎の学修目標を明確にして、4年次統合科目へと段階的学修につなげていくことを目指した。

「成人看護学実習」「小児看護学実習」「母性看護学実習」「老年看護学実習」「精神看護学実習」「老年・在宅看護学実習」「精神・在宅看護学実習」 3年次後期～4年次前期
→ 「成人看護学急性期実習」「成人看護学慢性期・緩和ケア実習」
「小児看護学実習」「母性看護学実習」「老年看護学実習」
「精神看護学実習」「在宅看護学実習」 3年次後期

③実習科目の名称および単位数を見直し、科目目標が明確になるような科目名称とした。

「成人看護学実習」6単位（270時間）
→ 「成人看護学急性期実習」3単位（135時間）

「成人看護学慢性期・緩和ケア実習」3単位（135時間）

「老年・在宅看護実習」3単位（135時間）「精神・在宅看護実習」1単位（45時間）

→「在宅看護学実習」3単位（135時間）

「老年看護学実習」2単位（90時間）→「老年看護学実習」3単位（135時間）

- ④統合科目を見直し、臨地実習前の準備状態を確実にするとともに、学年毎の効果的・段階的学修を図り、看護専門職者として生涯にわたり自己成長を遂げていくことができる力の強化を図った。

「看護の統合Ⅰ（技術の統合演習）」「看護の統合Ⅱ（知識の統合）」→「看護の統合」

「看護の統合Ⅲ（医療倫理の諸問題）」4年次後期→「看護倫理学」3年次前期

「国際看護論」4年次後期→「国際看護論」3年次前期

「災害看護論」3年次1単位（15時間）→「災害看護論」4年次2単位（30時間）

「看護専門ゼミナールⅠ・Ⅱ」計2単位（60時間）

→「看護専門ゼミナール」1単位（30時間）

「卒業課題」1単位（30時間）→「卒業論文」2単位（60時間）

「看護管理・看護教育」選択科目→「看護管理」必修科目

- ⑤科目目標を端的に表す科目名称として全体的に見直した。

「病気の成り立ち（病理・微生物・感染）」→「病気の成り立ち」

「人間関係・家族関係（カウンセリング含む）」→「人間関係・家族関係」

「保健医療福祉行政論（関係法規含む）」→「保健医療福祉行政論」

「看護学概論（看護理論含む）」→「看護学概論」

「看護展開論（看護過程）」→「看護展開論」

「公衆衛生看護活動展開論・演習（政策過程演習含む）」→「公衆衛生看護活動展開論」

「リハビリテーションと看護」→「リハビリテーション看護論」

「認知症患者と家族の看護」→「認知症の人と家族の看護」

「生活習慣病とヘルスプロモーション」→「看護とヘルスプロモーション」

（イ）教育方法及び履修指導方法の変更内容

開講科目の総時間数を見直し、講義・演習前後に自己学修時間やグループ演習時間を確保できるようにして、学生参加型の主体的・探求的・実践的教育方法を主として、論理的思考力・判断力・表現力やコミュニケーション能力を養うことを目指した。また、定員増加に伴う演習物品を確保する予定である。講義・演習・実習を有機的に連動させて学習できるような環境を整えるとともに、看護技術の自己学修の機会を確保できるようにする。

また、外国語コミュニケーションといった、多様化する社会のニーズや地域の国際化に対応できる能力を養うために、外国人や外国生活経験者が参画する少人数グループでの教育を行う。

(ウ) 教員組織の変更内容

今回の定員増に対応するために、助教3名、助手2名を順次増員していく。

基礎看護学は助手を1名増員し7名に(2020年度)、精神看護学は助手を1名増員し4名に(2021年度)、成人看護学は助教を1名増員し7名に(2022年度)、老年看護学は助教を1名増員し4名に(2022年度)、在宅看護学は助教を1名増員し4名に(2022年度)なる。これにより、現在と同等の質を確保していく。その他の分野においても既に雇用している助手を学部内で異動するなどし、充実を図る。

学部設置時は、看護系大学・大学院での教育経験のある65歳以上の教授を多く配置したが、第2期生を輩出した5年余りで准教授や助教が育っているため、今後は高齢教授の後任に外部からあるいは学内昇進による教授・准教授をあて、さらに若い助教や大学卒の助手を配置することを考えている。1学年20名の学生増加は、演習や実習に労力が必要となるため、若年の助教や助手の教育を兼ねた教員増としている。

(エ) 大学全体の施設・設備の変更内容

現在、看護学部専用の教室においての主要となる2つの講義室の座席数は150席(それぞれ214.2㎡、220.1㎡)あり、また一斉に実習を行う基礎看護実習室も440㎡の広さを有している。元々が定員80名に対して余裕のあるつくりとなっており、これは100名に対しても十分対応できる広さとなっている。

ただし、100名が受講する場合を考慮し、講義室に関しては、スクリーンの増設を実施することで受講時における視覚的情報をより入手しやすい環境を整える予定である。また実習室はレイアウトを変更することのないベッドの増設での対応を予定しているが、それに伴うコンセントの増設、流し台の設置に加え、教卓の位置変更とプロジェクター、スクリーンの新たな設置で補っていく予定である。

教育備品に関しては、定員増加分に対応すべく、ベッドや各種シミュレーターなど70を超える品目の購入を計画している。また備品の増加に伴う準備室の棚の増加、レイアウト変更も実施する。

以上、上記(ア)～(エ)に記載した通り、教育課程、教育方法及び履修指導方法、教員組織、大学全体の施設・設備等は、収容定員前と比較しても同等以上の教育環境が保たれている。

以上

教育課程等の概要																		
(看護学部看護学科)																		
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考				
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手					
基礎分野	医療人の基礎知識	いのちの倫理学	1前	1			○			0	0	0	0	0	兼5	オムニバス		
		医療の倫理学	1前		1		○			1	1	0	0	0	兼5	オムニバス		
		医学の基礎入門	1前	1			○			1	0	0	0	0	兼5	オムニバス		
		臨床医学への招待	1後		1		○			1	0	0	0	0	兼4	オムニバス		
		医療・福祉の変遷と制度	1前	1			○			0	0	0	0	0	兼5	オムニバス		
		人々の生活と医療	1後		1		○			1	1	0	0	0	兼5	オムニバス		
	医療人の技能と実践	医療人底力実践Ⅰ (学科プログラム)	1前	1				○		1	0	0	1	0	兼13	共同		
		医療人底力実践Ⅱ (体験プログラム)	1前	1				○		1	0	0	2	0	兼15	共同		
		医療人底力実践Ⅲ (発展プログラム)	1後	1				○		1	0	0	2	0	兼17	共同		
	医療人底力教育	多職種連携教育	多職種連携の基礎	2前	1			○			0	1	0	0	0	兼13	オムニバス	
			事例で学ぶ多職種連携	3後		1			○		1	2	0	1	0	兼12	共同	
			実践で学ぶ多職種連携	4前		1				○		1	2	0	1	0	兼12	共同
			慢性疼痛で学ぶチーム医療 (基礎)	1後		1			○			0	1	0	0	0	兼6	オムニバス
			慢性疼痛で学ぶチーム医療 (実践)	2前		1				○		0	2	0	0	0	兼10	共同
	医療人の教養と常識	医学医療最近の進歩	1前		1			○			0	0	0	0	0	兼7	オムニバス	
		食と健康	1前		1			○			0	0	0	0	0	兼8	オムニバス	
		医療における安全と安心	1前		1			○			0	0	0	0	0	兼5	オムニバス	
		東洋医学と統合医療	1前		1			○			0	0	0	0	0	兼1	オムニバス	
		現代医療と看護・介護	1後		1			○			1	0	0	0	0	兼1	オムニバス	
		薬の役割・薬のできるまで	1後		1			○			0	0	0	0	0	兼5	オムニバス	
		情報時代と医療	1後		1			○			0	0	0	0	0	兼1	オムニバス	
		医療とコミュニケーション	1後		1			○			0	0	0	0	0	兼3	オムニバス	
	健康科学	スポーツと健康	1前	1				○			0	0	0	0	0	兼2	オムニバス	
		スポーツの科学	1前	1				○			0	0	0	0	0	兼2	オムニバス	
スポーツ科学実習		1後	1					○		0	0	0	0	0	兼1	オムニバス		
人間と生活	人間と文化と社会	哲学と死生観	1前		1			○			0	0	0	0	0	兼1		
		病と文化	1前		1			○			0	0	0	0	0	兼1		
		人類の疾病と医療	1後		1			○			0	0	0	0	0	兼1		
		心と医療	1後		1			○			0	0	0	0	0	兼1		
		法と医療	1後		1			○			0	0	0	0	0	兼1		
		経済と医療	1前		1			○			0	0	0	0	0	兼1		
		医療・福祉と財政	1後		1			○			0	0	0	0	0	兼1		
		社会病理と人の病	1後		1			○			0	0	0	0	0	兼1		
	憲法	2後		2			○			0	0	0	0	0	兼1			
	言葉とコミュニケーション	英語Ⅰ	1前	1					○		1	0	0	0	0			
		英語Ⅱ	1後	1					○		1	0	0	0	0			
		医療英語の基礎A	2前		1				○		1	0	0	0	0			
		医療英語の基礎B	2後		1				○		1	0	0	0	0			
英語コミュニケーションA		1前		1				○		0	0	0	0	0	兼1			
英語コミュニケーションB	1後		1				○		0	0	0	0	0	兼1				
中国語Ⅰ	1前		1				○		0	0	0	0	0	兼1				
中国語Ⅱ	1後		1				○		0	0	0	0	0	兼1				

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
科学的思考の基礎 (いざない)	数学の世界	1前		1		○			0	0	0	0	0	兼1	オムニバス
	物理学の世界	1後		1		○			0	0	0	0	0	兼1	
	化学の世界	1前		1		○			0	0	0	0	0	兼2	
	生物学の世界	1後		1		○			0	0	0	0	0	兼1	
	統計学の初歩	1前		1		○			0	0	0	0	0	兼1	
	環境科学	1前		1		○			0	0	0	0	0	兼3	
	生物学Ⅰ	1前		2		○			0	0	0	0	0	兼1	
	生物学Ⅱ	1後		2		○			0	0	0	0	0	兼1	
	情報リテラシー	1前	2			○			0	0	0	0	0	兼1	
	小計 (51科目)	—	14	41	0	—	—	—	5	2	0	3	0	兼96	
専門基礎分野	人体の形態・構造	1前	2			○			1	0	0	0	0	兼1	
	人体の機能	1後	2			○			1	0	0	0	0		
	病気の成り立ち	1後	2			○			1	0	0	0	0		
	生化学	1後	2			○			0	0	0	0	0		
	病態と治療Ⅰ	2前	2			○			2	0	0	0	0		
	病態と治療Ⅱ	2前	2			○			2	0	0	0	0		
	病態と治療Ⅲ	2後	2			○			2	0	0	0	0		
	病態と治療Ⅳ	2後	2			○			1	0	0	0	0		
	生涯発達論	1前	1			○			3	0	0	0	0		
	栄養と健康	1前	1			○			0	0	0	0	0		
	基礎薬理学	2前	1			○			0	0	0	0	0		
	臨床薬理学	3前	1			○			0	0	0	0	0		
	人間関係・家族関係	2後	1			○			1	1	0	0	0		
	保健医療福祉行政論	3前	2			○			0	1	0	0	0		
	保健情報統計学	2後	2			○			0	0	0	0	0		
	公衆衛生・疫学	3前		2		○			0	1	0	1	0		
小計 (16科目)	—	25	2		—	—	—	7	2	0	1	0	兼5		
基礎看護領域	看護学概論	1前	2			○			1	0	0	0	0	兼1	
	フィジカルアセスメント論	2前	1				○		1	0	0	4	0		
	コミュニケーション論	1後	1			○			1	0	0	4	0		
	看護展開論	2前	1				○		1	0	0	4	0		
	生活援助技術論	1後	3				○		1	0	0	4	0		
	診療援助技術論	2前	3				○		1	0	0	4	0		
	看護体験実習	1後	1					○	1	0	0	4	0		
	基礎看護学実習	2後	2					○	1	0	0	4	0		
	成人看護学概論	2前	2			○			2	2	0	2	0		
	急性・リハビリテーション看護援助論	3前	2				○		2	2	0	2	0		
	慢性・緩和ケア看護援助論	2後	2				○		2	2	0	2	0		
	成人看護学急性期実習	3後	3					○	1	2	0	2	0		
	成人看護学慢性期・緩和ケア実習	3後	3					○	1	2	0	2	0		
	小児看護学概論	2前	2			○			0	1	0	0	0		
	小児看護援助論	2後	2				○		0	1	0	1	0		
	小児看護学実習	3後	2					○	0	1	0	1	0		
母性看護学概論	2前	2			○			1	0	0	0	0			
母性看護援助論	2後	2				○		1	0	0	1	0			
母性看護学実習	3後	2					○	1	0	0	1	0			

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門分野 広域看護領域	老年看護学概論	2前	2			○			1	0	0	1	0	
	老年看護援助論	2後	2				○		1	0	0	1	0	
	老年看護学実習	3後	3					○	1	0	0	1	0	
	精神看護学概論	2後	2			○			1	0	0	0	0	
	精神看護援助論	3前	2				○		1	1	0	1	0	
	精神看護学実習	3後	2					○	1	1	0	1	0	
	在宅看護学概論	2後	2			○			5	1	0	0	0	
	在宅看護援助論	3前	2				○		1	0	0	1	0	
	在宅看護学実習	3後	3					○	1	0	0	1	0	
	公衆衛生看護学概論	2後	2			○			0	1	0	0	0	
	公衆衛生看護管理論	4前		1		○			0	1	0	1	0	
	公衆衛生看護活動展開論	3前		3			○		0	1	0	1	0	
	公衆衛生看護学実習	4前		5				○	0	1	0	1	0	
	統合領域	看護の統合	4後	2			○			9	4	0	1	0
看護倫理学		3前	1			○			4	2	0	0	0	
統合実習		4前	2					○	6	5	0	12	0	
看護専門ゼミナール		3前	1				○		8	5	0	12	0	
卒業論文		4通	2				○		7	5	0	12	0	
国際看護論		3前	1			○			2	0	0	0	0	
災害看護論		4前	2			○			3	3	0	0	0	
看護管理		4前	1			○			0	0	0	2	0	
リハビリテーションと看護		3前		1		○			0	1	0	1	0	
終末期患者と家族の看護		3前		1		○			0	1	0	1	0	
ウイメンズヘルスと看護		3前		1		○			1	0	0	1	0	
子どもの心とからだの健康		3前		1		○			0	1	0	0	0	
精神障がい患者と家族の看護		3前		1		○			1	1	0	1	0	
認知症の人と家族の看護	3前		1		○			1	0	0	1	0		
看護とヘルスプロモーション	3前		1		○			0	1	0	1	0		
小計 (47科目)	—	72	16	0	—	—	—	10	5	0	12	0	兼1	
合計 (114科目)		—	111	59	0	—	—	—	11	5	0	13	0	兼97
学位又は称号		学士 (看護学)		学位又は学科の分野			保健衛生学関係 (看護学関係)							
卒業要件及び履修方法							授業期間等							
必修科目111単位、基礎分野の選択科目から12単位、看護専門分野の選択科目から2単位以上を修得し、125単位以上修得すること。 (履修科目の登録の上限：1・2年次は年間48単位、3年次は年間39単位、4年次は年間17単位)							1学年の学期区分			2期				
							1学期の授業期間			15週				
							1時限の授業時間			90分				

(注)

- 1 学部等、研究科等若しくは高等専門学校等の学科の設置又は大学における通信教育の開設の届出を行おうとする場合には、授与する学位の種類及び分野又は学科の分野が同じ学部等、研究科等若しくは高等専門学校等の学科 (学位の種類及び分野の変更等に関する基準 (平成十五年文部科学省告示第三十九号) 別表第一備考又は別表第二備考に係るものを含む。) についても作成すること。
- 2 私立の大学若しくは高等専門学校等の収容定員に係る学則の変更の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合、大学等の設置者の変更の認可を受けようとする場合又は大学等の廃止の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合は、この書類を作成する必要はない。
- 3 開設する授業科目に応じて、適宜科目区分の枠を設けること。
- 4 「授業形態」の欄の「実験・実習」には、実技も含むこと。

資料目次（学則の変更の趣旨等を記載した書類）

資料 1 本学看護学部入試結果

資料 2 看護師・准看護師数

資料 3 平成 31 年度三重県の看護師等学校養成所の入学定員一覧

資料 4 東海三県の看護系大学数と看護職員養成人数（入学定員）

本学 看護学部 入試結果

年度	2014	2015	2016	2017	2018	2019
入学定員	80	80	80	80	80	80
受験者数	394	553	512	478	407	461
合格者数	179	189	203	213	186	198
入学者数	99	96	88	96	83	88
定員充足率	1.24	1.20	1.10	1.20	1.04	1.10

※本学集計データ

※第2志望を含む(推薦入試基礎テスト方式・一般入試)

※追加募集を含む(合格者数に繰上合格者を含める)

※センター利用方式の他学科併願者を含む

資料 2

区 分	看護師		准看護師	
	実人数	人口 10 万人あたり	実人数	人口 10 万人あたり
全 国	1, 149, 953	906. 0	323, 146	254. 6
三重県	16, 259	899. 3 (34)	5, 096	281. 9 (28)

※ () 内は全国順位です。

資料：三重県「平成28年保健師助産師看護師准看護師業務従事者届再集計」

全国数値、全国順位は、厚生労働省「平成28年衛生行政報告例」の三重県数値を上記数値に置き換えて、独自に算出

資料：第7次三重県医療計画（平成30年6月修正）抜粋

平成31年度 三重県の看護師等学校養成所の入学定員一覧

学校名	入学定員
本学	80
三重大学	80
三重県立看護大学	100
四日市看護医療大学	100
津看護専門学校	35
三重中央看護学校	80
三重看護専門学校	40
ユマニテク看護助産専門学校	80
四日市医師会看護専門学校	40
伊勢保健衛生専門学校	40
松阪看護専門学校	40
桑名看護専門学校	50
名張市立看護専門学校	20
岡波看護専門学校	20
聖十字看護専門学校	40
桑名高校(5年一貫)	40
合計	885

出典:公益社団法人三重県看護協会(<http://www.mie-nurse.or.jp/student/school>)及び各学校のホームページを元に作成

資料 4

東海 3 県の看護系大学数と看護職員養成人数（入学定員）

	看護系大学数	看護職員養成人数 （入学定員）	人口
愛知県	15	1450	726.3 万
岐阜県	9	740	206.9 万
三重県	4	360	183.9 万

<https://www.nurseschool.info/nursingschool/index.html> より引用・作成

学生の確保の見通し等を記載した書類

(1) 学生の確保の見通し及び申請者としての取組状況

①学生の確保の見通し

ア 定員充足の見込み

看護学部看護学科の入学定員を80名から100名に増員する。20名の増加となるが、三重県・愛知県の看護師養成私立大学において、四日市看護医療大学、愛知医科大学、修文大学、椙山女学園大学、中部大学、日本福祉大学、名古屋学芸大学が入学定員を100名に設定しており、他大学と比較しても妥当な水準であると考え（資料1）。

看護系大学の全国的な状況について、文部科学省の学校基本調査によると、看護学分野の入学者数及び入学志願者数は伸び続けている（資料2）（資料3）。

また、三重県・愛知県の看護系私立大学を見ても、全国的な状況と同様に各大学順調に受験者及び入学者を確保出来ている事が分かる（資料1）。

更に本学看護学部の過去の入試実績を踏まえ（学則の変更の趣旨等を記載した書類の資料1）、今後、入学定員を80名から100名に増員した場合においても、入学定員を下回る程入学者が減少することは考えにくく、引き続き、入学定員を充足出来ると考える。

イ 定員充足の根拠となる客観的データの概要

【看護系分野の全国的な志願動向について】

文部科学省学校基本調査の関係学科別大学入学状況（平成26年度以前は関係学科別入学者数）によると、平成21年度の保健（看護学）の入学者は13,506名であった。その後、入学者数は年々増加し続けており、平成30年度においては23,071名となっている。平成21年度比較すると、約1.7倍と大幅に増加している事が分かる（資料2）。

また、入学志願者数についても、平成27年度においては110,695名となっており、平成30年度においては136,708名と約1.2倍増加している事が分かる（資料3）。このような状況から全国的な状況において、看護学分野のニーズは年々高まっていると言える。

【看護系分野の三重県・愛知県の志願動向について】

東海地区の看護系私立大学の過去3年間（平成28年度～平成30年度）の受験者数・合格者数・入学者数は（資料1）の通りである。三重県と愛知県の看護系私立大学においても、各大学、受験者数は入学定員を大幅に上回っており、入学者も順調に確保出来ていることがわかる。全国的な傾向と同様、三重県と愛知県においても看護学分野のニーズは年々高まっていると言える。

【本学看護学部の過去の入試状況について】

平成 26 年度開設以来、安定的に入学者が確保出来ている。平成 26 年度～平成 31 年度の受験者数及び入学者数等は（学則の変更の趣旨等を記載した書類の資料 1）の通りである。いずれの年も順調に受験者及び入学者を確保出来ている。

このような状況から、今後、入学定員を 80 名から 100 名に増員した場合においても、入学定員を下回る程入学者が減少することは考えにくく、引き続き、安定的に入学定員を充足出来ると考える。

②学生確保に向けた具体的な取組状況

ア. オープンキャンパスの開催

過去 3 年間（平成 28 年度～平成 30 年度）のオープンキャンパス参加者数は（資料 4）の通りである。

本学のオープンキャンパスは、毎年 6 月から 8 月の期間に 4 回開催しており、主に模擬授業や実習体験など高校生のニーズに合わせたメニューを用意し対応している。平成 30 年度の大学全体の合計参加者数は 2,732 人（付添者含む）であった。看護学部の説明会についても、過去 3 年間を見ると 500 人前後の参加者を集めている。

イ. 学外進学相談会への参加

三重県内の主要都市及び愛知県、岐阜県、静岡県、その他地区において、主に受験生とその保護者を対象とした進学相談会に積極的に参加している（資料 5）。教育内容、学生生活、入試情報に関する疑問や不安を解消するため、きめ細やかな対応を行っている。また、この機会を利用し、オープンキャンパスへの参加を促している。

ウ. 高校内進路ガイダンス等の実施

高等学校主催で行われる高校内進学ガイダンス・模擬授業を実施し保健・医療系大学の教育内容への理解を深める活動を継続的に行っている（資料 6）。

エ. 教職員による高校訪問

本学への入学、受験の実績がある高校への訪問を行い入学者の状況報告や次年度入試情報を正確に伝えることにより、高校との信頼関係を構築している（資料 7）。

オ. 広報活動の強化

看護学部の収容定員増加に伴い、広報活動を更に強化し、安定的に入学者を確保出来るように努める。広報活動の強化は事業計画でも定めており、令和元年度の具体的な活動計画は下記の通りである。

- ・ 大学紹介動画のリニューアル
- ・ 大学ホームページの充実化
- ・ 公式 SNS の運用強化（平成 30 年度より LINE@、インスタグラムの運用開始）

・積極的なプレスリリース

平成 30 年度より運用を開始した LINE@やインスタグラムは従前、活用した事のない手法であったが、主なターゲットである高校生のライフスタイルの変化に合わせ、今後も柔軟な広報活動を展開する。

(2) 人材需要の動向等社会の要請

①人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的 (概要)

看護学部看護学科の教育研究目的 (養成する人材像) は下記の通りである。

(看護学部)

本学建学の精神及び教育の理念に基づき、看護学部看護学科を設置し、確固たる医療人としての職業意識をもち、豊かな人間性と倫理観を培い、チーム医療の一員として地域・在宅医療に貢献できる専門的に高い資質をもった看護専門職者を育成することを目的とする。

(看護学科)

看護学科は、看護学部の教育研究目的に基づき、ケアリングマインドを基本に、看護の対象である人間、健康、環境、看護実践を広く理解できる基本的能力と問題解決能力を備え、少子高齢化社会における地域医療を中心に、倫理観に基づいた看護実践ができる看護師、保健師を育成することを目的とする。

②上記①が社会的、地域的な人材需要の動向等を踏まえたものであることの客観的な根拠 【我が国における疾病構造の変化と看護職人材育成について】

我が国における保健医療を取り巻く状況の変化は著しく、医療技術は飛躍的な進歩を遂げるとともに、超高齢社会を迎えて疾病構造は大きく変化している。疾病構造の変化を示す指標のひとつである死亡統計を見てみると、第二次世界大戦後の高度経済成長期における悪性新生物、心疾患、脳血管疾患といった生活習慣病による死亡があげられるが、最近では、高齢化の影響を受けた肺炎が第 4 位を占めるようになってきている。少子超高齢社会において、保健・医療・介護・福祉のあらゆる分野で、高度急性期から在宅医療、介護・福祉分野での切れ目のないケアが提供される必要があり、医療技術の高度化、患者の高齢化、在院日数の短縮化により、これらのケアが効率よく提供されるための地域包括ケアシステムを推進し、多職種連携・協働を進めていくことの出来る質の高い看護専門職者の育成は、喫緊の課題である。

三重県における 65 歳以上の老年人口の割合を示す高齢化率は、令和 7 (2025) 年に 30.8%、令和 17 (2035) 年には 33.5%と推計されている。特に 75 歳以上の後期高齢者の増加を見越した対策が具体化 (「医療介護総合確保推進法」2014 年制定) され、南北に長い三重県の地理的特徴を踏まえた三重県地域医療構想により、地域包括ケア推進に向けての活動が始まっており、このことの実現に向けての役割を担うことのできる看

護専門職者の育成が求められているといえる。三重県の看護師数は増加傾向にあるが、全国と比較すると低い水準にあること、令和 17（2035）年においても不足状況が改善されない見通しであることより、看護師確保のための看護師養成をさらに進める必要がある。そして、数の確保だけでなく、在宅医療を含む地域包括ケアシステムを推進し、多職種連携・協働を進めていくことの出来る質の高い看護専門職者の育成が求められていることを鑑み、看護学科において収容定員増加を図り、質の高い看護師を育成し確保することは、三重県における看護職人材育成の目的にも合致したものであるといえる。

【本学看護学部卒業生の就職状況について】

本学看護学部卒業生の就職状況について、上記に記載した通り、看護師が不足している事を背景とし、好調な状況が続いている。平成 29 年度及び 30 年度の卒業生の就職状況は（資料 8）の通り、卒業生のほぼ全員が就職出来ている。尚、（資料 8）には求人票受領件数を示しているが、一施設につき複数の求人がある場合もあるので、求人数は更に多くなる（求人数は未集計）。三重県において、看護学科卒業生の就職状況は良好な環境にあると考えられる。

資料目次（学生の確保の見通し等を記載した書類）

- 資料 1 看護師養成私立大学 受験者数・合格者数・入学者数
- 資料 2 文部科学省学校基本調査 保健（看護学）の年度別入学者数
- 資料 3 文部科学省学校基本調査 保健（看護学）の年度別入学志願者数
- 資料 4 オープンキャンパス来場者数
- 資料 5 進学相談会参加実施状況
- 資料 6 高校内進学ガイダンス（模擬授業含む）実施状況
- 資料 7 高校訪問
- 資料 8 本学 看護学部卒業生の状況及び求人状況

看護師養成私立大学 受験者数・合格者数・入学者数

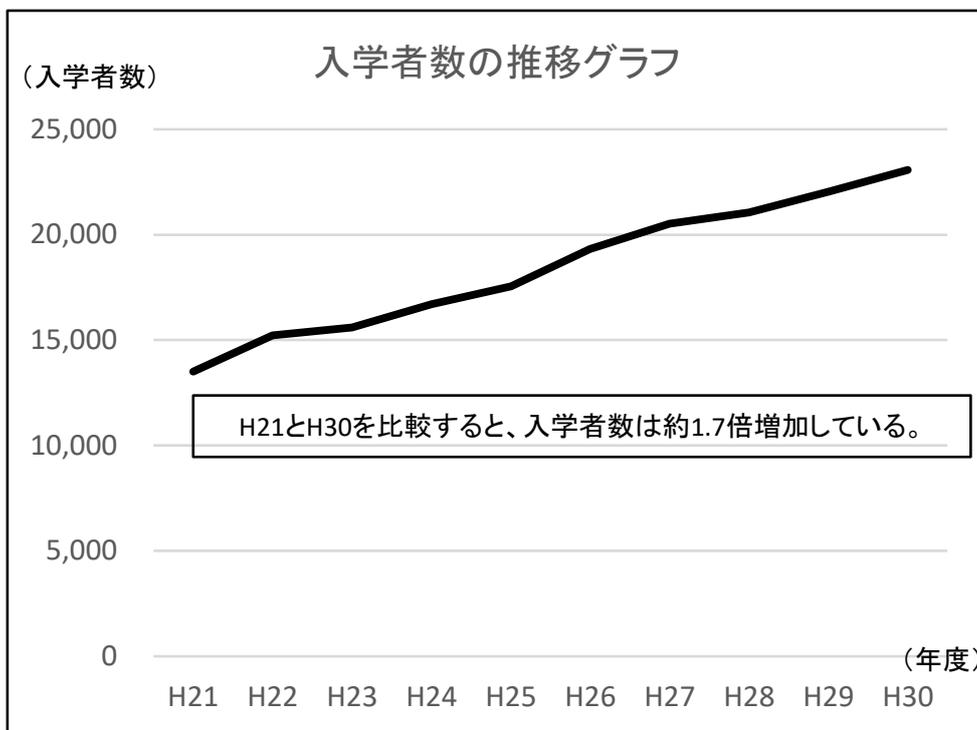
大学名	学部名	学科名	入学定員	H28年度		H29年度		H30年度		備考				
				受験者数	合格者数	受験者数	合格者数	受験者数	合格者数		入学者数			
四日市看護医療大学	看護学部	看護学科	100	691	278	121	701	251	112	618	252	113		
聖隷クリストファー大学	看護学部	看護学科	150	594	307	156	620	329	156	711	338	174		
常葉大学	健康科学部	看護学科	80	719	291	92	689	348	87	746	321	77		
愛知医科大学	看護学部	看護学科	100	1005	342	104	1026	345	105	1011	369	103		
一宮研伸大学	看護学部	看護学科	80	H29開設			217	166	97	235	152	98		
修文大学	看護学部	看護学科	100	328	246	108	557	283	102	772	302	105		
椋山女学園大学	看護学部	看護学科	100	不明	不明	117	不明	不明	113	不明	不明	103	指定校制推薦、併設校制推薦の数値が不明。	
中部大学	生命健康科学部	保健看護学科	100	1176	274	102	1250	260	110	1087	277	92		
豊橋創造大学	保健医療学部	看護学科	90	428	248	86	448	249	97	641	253	91	H29定員変更80⇒90。 H28.29の受験者数と合格者数はパスナビを参照。	
日本赤十字豊田看護大学	看護学部	看護学科	120	707	276	135	904	266	136	548	215	134		
日本福祉大学	看護学部	看護学科	100	1006	368	103	1021	304	112	1051	251	101		
人間環境大学	看護学部	看護学科	95	836	233	110	808	238	110	873	222	105	H28.29の受験者数と合格者数はパスナビを参照。	
藤田医科大学	医療科学部	看護学科	120	1335	528	137	1216	525	150	1307	503	131	H28.29は志願者数。	
名古屋学芸大学	看護学部	看護学科	100	H30開設							3507	149	106	

※各大学のホームページを参照して作成

※一部大学の受験者数と合格者数は大学受験パスナビ(<https://passnavi.evidus.com/>)を参照

文部科学省学校基本調査 保健(看護学)の年度別入学者数

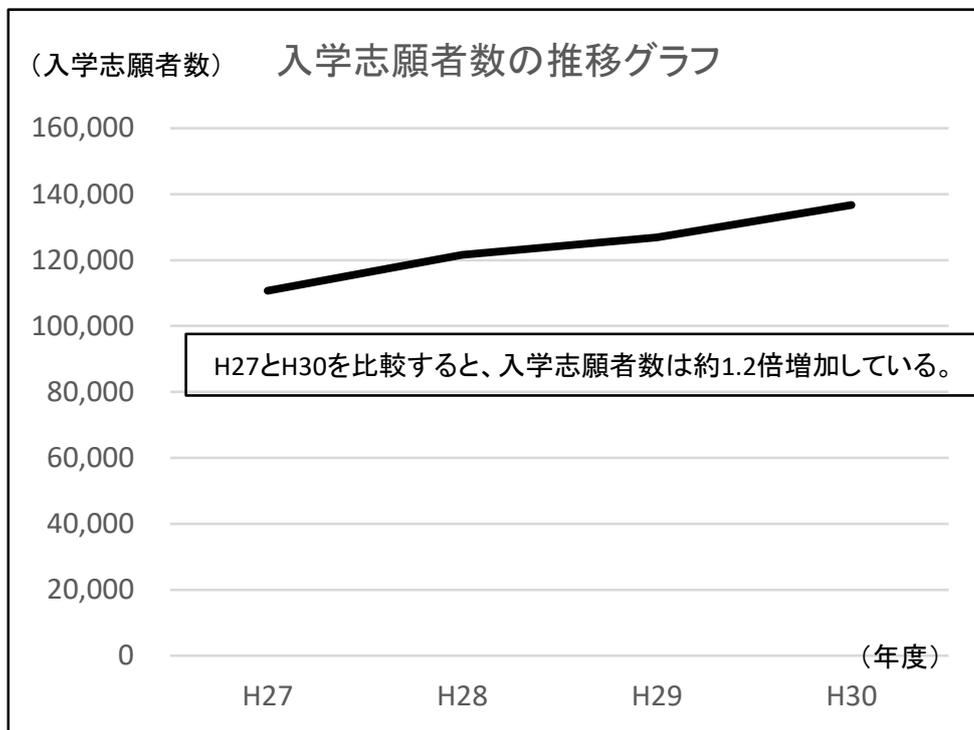
年度	H21	H22	H23	H24	H25
入学者数	13,506	15,219	15,591	16,702	17,544
年度	H26	H27	H28	H29	H30
入学者数	19,312	20,513	21,054	22,038	23,071



※平成21年度～30年度の文部科学省学校基本調査 関係学科別大学入学状況(平成26年度以前は関係学科別入学者数)の数値を元に作成

文部科学省学校基本調査 保健(看護学)の年度別入学志願者数

年度	H27	H28	H29	H30
入学者数	110,695	121,554	126,824	136,708



※平成27年度～30年度の文部科学省学校基本調査 関係学科別大学入学状況の数値を元に作成

オープンキャンパス来場者数

	年 度	平成28年度					平成29年度					平成30年度					
		開催日	6月18日 (土)	7月16日 (土)	8月11日 (木)	8月12日 (金)	累計	6月17日 (土)	7月15日 (土)	8月5日 (金)	8月6日 (土)	累計	6月16日 (土)	7月21日 (土)	8月10日 (土)	8月11日 (土)	累計
千代崎	放射線技術科学科	74	92	177	133	476	89	125	107	184	505	91	131	92	138	452	
	医療栄養学科	管理栄養学専攻	26	42	51	43	162	43	29	44	38	154	34	54	51	66	205
		臨床検査学専攻	57	78	142	65	342	54	79	76	84	293	42	78	72	96	288
	理学療法学科	39	63	107	69	278	62	55	92	100	309	106	82	112	155	455	
	医療福祉学科	医療福祉学専攻	24	26	19	8	77	18	11	14	21	64	23	40	21	14	98
		臨床心理学専攻	21	30	46	22	119	27	15	40	32	114	19	33	35	22	109
	鍼灸学科	16	21	18	13	68	13	8	26	26	73	30	38	19	40	127	
	臨床工学科	24	38	57	33	152	31	36	23	22	112	28	44	21	40	133	
	医用情報工学科	6	23	30	14	73	20	7	23	12	62	17	14	16	19	66	
千代崎キャンパス 小計		287	413	647	400	1747	357	365	445	519	1686	390	514	439	590	1933	
白子	薬学科	53	75	129	75	332	51	104	86	117	358	45	60	95	103	303	
	看護学科	54	80	226	111	471	117	114	124	192	547	52	101	186	157	496	
白子キャンパス 小計		107	155	355	186	803	168	218	210	309	905	97	161	281	260	799	
合 計		394	568	1002	586	2550	525	583	655	828	2591	487	675	720	850	2732	

※本学集計データ

進学相談会参加実施状況

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
三重県	17	18	23	23
愛知県	12	14	14	14
岐阜県	2	1	2	2
静岡県	5	5	9	10
その他	13	12	16	17
計	49	50	64	66

※本学集計データ

高校内進学ガイダンス(模擬授業含む)実施状況

	進学ガイダンス			模擬授業		
	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
三重県	41	52	55	25	31	38
愛知県	7	12	13	3	4	6
岐阜県	2	4	4	2	4	4
その他	2	3	3	6	5	6
計	52	71	75	36	44	54

※本学集計データ

高校訪問

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
三重県	53	56	54
愛知県	107	120	124
岐阜県	36	39	39
静岡県	29	41	44
長野県	18	15	14
滋賀県	12	8	9
その他	7	9	14
計	262	288	298

※本学集計データ

本学 看護学部卒業生の状況及び求人状況

年度	平成29年度	平成30年度
卒業者数	86	88
就職希望者数	85	87
就職者数	84	87
求人票受領件数	412	393

※本学集計データ

教 員 名 簿

学 長 の 氏 名 等						
調書 番号	役職名	フリガナ 氏名 <就任(予定)年月>	年齢	保有 学位等	月額基本給 (千円)	現 職 (就任年月)
-	学長	トヨダ カギヤス 豊田 長康 <平成25年4月>		医学博士		鈴鹿医療科学大学 学長 (2019.4~2021.3)

(注) 高等専門学校にあっては校長について記入すること。